

JP1 Version 9

JP1/Cm2/Network Element
Configuration **機能・構築ガイド**

解説・手引・文法書

3020-3-T05-30

対象製品

P-2442-E794 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Manager 09-50 (適用 OS : Windows Server 2003 , Windows Server 2003(x64) , Windows Server 2003 R2 , Windows Server 2003 R2(x64))

P-2442-E894 JP1/Cm2/Network Element Configuration - View 09-50(適用 OS : Windows XP , Windows Server 2003 , Windows Server 2003(x64) , Windows Server 2003 R2 , Windows Server 2003 R2(x64))

P-2442-E974 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for GS Series 07-50 (適用 OS : Windows 2000 , Windows Server 2003 , Windows Server 2003 R2)

P-2442-EA74 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal 07-50(適用 OS : Windows 2000 , Windows Server 2003 , Windows Server 2003 R2)

P-2442-EB94 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for BS Series 09-50 (適用 OS : Windows Server 2003 , Windows Server 2003(x64) , Windows Server 2003 R2 , Windows Server 2003 R2(x64))

P-2442-EC84 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for Cisco Switch 08-00 (適用 OS : Windows Server 2003 , Windows Server 2003 R2)

P-2442-ED84 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for AX Series 08-10 (適用 OS : Windows Server 2003 , Windows Server 2003 R2)

P-2442-EE84 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for F5 Load Balancer 08-00 (適用 OS : Windows Server 2003 , Windows Server 2003 R2)

P-2442-EF84 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for System Traffic Manager 08-00(適用 OS : Windows Server 2003 , Windows Server 2003 R2)

P-2A42-E794 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Manager 09-50 (適用 OS : Windows Server 2008 , Windows Server 2008(x64) , Windows Server 2008 R2)

P-2A42-E894 JP1/Cm2/Network Element Configuration - View 09-50 (適用 OS : Windows Vista , Windows Vista(x64) , Windows 7 , Windows 7(x64) , Windows Server 2008 , Windows Server 2008(x64) , Windows Server 2008 R2)

P-2A42-EB94 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for BS Series 09-50 (適用 OS : Windows Server 2008 , Windows Server 2008(x64) , Windows Server 2008 R2)

輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

商標類

Cisco は、米国 Cisco Systems, Inc. の米国および他の国々における登録商標です。

Ethernet は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

F5, F5 Networks, BIG-IP および iControl は、米国およびその他の国における F5 Networks, Inc. の商標または登録商標です。

Itanium は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

This product includes software developed by IAIK of Graz University of Technology.

HITACHI
Inspire the Next

株式会社 日立製作所



マイクロソフト製品の表記について

このマニュアルでは、マイクロソフト製品の名称を次のように表記しています。

表記			製品名
Windows	Windows 2000		Microsoft(R) Windows(R) 2000 Advanced Server Operating System
			Microsoft(R) Windows(R) 2000 Datacenter Server Operating System
			Microsoft(R) Windows(R) 2000 Professional Operating System
			Microsoft(R) Windows(R) 2000 Server Operating System
	Windows 7	Windows 7	Microsoft(R) Windows(R) 7 Professional
			Microsoft(R) Windows(R) 7 Enterprise
			Microsoft(R) Windows(R) 7 Ultimate
			Windows 7 (x64)
		Microsoft(R) Windows(R) 7 Enterprise x64	

表記			製品名
			Microsoft(R) Windows(R) 7 Ultimate x64
	Windows Server 2003	Windows Server 2003	Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise Edition
			Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard Edition
		Windows Server 2003 (x64)	Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise x64 Edition
			Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard x64 Edition
	Windows Server 2003 R2	Windows Server 2003 R2	Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise Edition
			Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard Edition
		Windows Server 2003 R2 (x64)	Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise x64 Edition
			Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard x64 Edition
	Windows Server 2008	Windows Server 2008	Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise Edition
			Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard Edition
		Windows Server 2008 (x64)	Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise x64 Edition
			Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard x64 Edition
	Windows Server 2008 R2		Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2, Datacenter Edition
			Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2, Enterprise Edition
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2, Standard Edition			
Windows Vista	Windows Vista	Microsoft(R) Windows Vista(R) Business	
		Microsoft(R) Windows Vista(R) Enterprise	
		Microsoft(R) Windows Vista(R) Ultimate	
	Windows Vista (x64)	Microsoft(R) Windows Vista(R) Business x64	
		Microsoft(R) Windows Vista(R) Enterprise x64	

表記			製品名
			Microsoft(R) Windows Vista(R) Ultimate x64
	Windows XP		Microsoft(R) Windows(R) XP Professional Operating System

発行

2012 年 4 月 3020-3-T05-30

著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2009, 2012, Hitachi, Ltd.

変更内容

変更内容（3020-3-T05-30）JP1/Cm2/Network Element Configuration 09-50

追加・変更内容	変更箇所
サポートする管理対象スイッチに BS500 および BS500 1Gbx40 を追加した。	1.2.5 , 1.3.1 , 1.3.2 , 1.4 , 2.1.1 , 2.1.8 , 2.1.11 , 2.1.12 , 3.1 , 3.3.1 , 5.2.8 , 付録 C.2 , 付録 I
バージョンの異なるマネージャーと各プログラムの互換性の一覧にバージョン 09-50 を追加した。	1.4.1
「スイッチ種別」の追加に伴って画面図を変更した。	2.2 , 2.2.1
サポートする OS に Windows 7 および Windows Server 2008 R2 を追加した。	3.2.2 , 3.3.6 , 4. コマンド使用時の注意事項 , 付録 F.2
運用上の注意事項に , JP1/Cm2/NC が管理する項目の制限値や推奨値を追加した。	3.5

単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

なお , 「はじめに」の記載の一部を「このマニュアルの参考情報」に移動しました。

はじめに

このマニュアルは JP1/Cm2/Network Element Configuration (以降 JP1/Cm2/NC と略します) の機能, セットアップ手順, セットアップに使用するコマンドおよび定義ファイルの文法について説明しています。

対象読者

JP1/Cm2/NC のマニュアルは, 次の方を対象にしています。

- JP1/Cm2/NC を使用して VLAN, サーバロードバランシング, アクセス制御, QoS 制御またはアップリンクフェイルオーバーを使用したネットワーク環境を構築および管理したい方
- JP1/AJS3 または JP1/SC などの運用管理プログラムと連携したシステムの自動運用に JP1/Cm2/NC を取り入れるために, CLI を使用したい方
- BladeSymphony の運用に JP1/Cm2/NC を使用したい方

なお, 対象読者は, VLAN, サーバロードバランシング, アクセス制御, QoS 制御またはアップリンクフェイルオーバーについて理解していることを前提にしています。CLI を使用する方は, XML について理解していることを前提にしています。

マニュアルの構成

このマニュアルは, 次に示す章から構成されています。

第 1 章 JP1/Cm2/NC の概要

JP1/Cm2/NC の製品概要および運用の流れについて説明しています。

第 2 章 JP1/Cm2/NC の機能

JP1/Cm2/NC の機能について説明しています。

第 3 章 インストールとセットアップ

JP1/Cm2/NC のインストール, アンインストール, およびセットアップについて説明しています。

第 4 章 セットアップ関連コマンド

JP1/Cm2/NC のセットアップで使用するコマンドについて説明しています。

第 5 章 定義ファイル

JP1/Cm2/NC のセットアップで使用する定義ファイルについて説明しています。

第 6 章 他製品との連携

JP1/Cm2/NC と他製品の連携に関する一連の情報を説明しています。

注

トラブルシューティングおよびメッセージの情報は含みません。トラブルシューティングおよびメッセージについてはマニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration トラブルシューティング」を参照してください。

読書手順

このマニュアルは、利用目的に合わせて章を選択して読むことができます。利用目的別にお読みいただくことをお勧めします。

マニュアルを読む目的	記述箇所
JP1/Cm2/NC の概要を知りたい。	1 章, 2 章
JP1/Cm2/NC をインストール, セットアップしたい。	3 章, 4 章, 5 章
JP1/Cm2/NC のセットアップ時に使用するコマンドの文法について知りたい。	4 章
JP1/Cm2/NC のセットアップ時に使用する定義ファイルの文法について知りたい。	5 章
JP1/Cm2/NC の連携機能について知りたい。	6 章

このマニュアルで使用している記号

このマニュアルで使用する記号を次に示します。

記号	意味
[]	メニュー項目, ダイアログボックス, ボタンなどを示します。
[] - []	メニュー項目を連続して選択することを示します。
太字	変数の値を示します。

コマンドで使用している記号

このマニュアルのコマンドおよび定義ファイルの説明で使用する記号を、次に示します。

記号	意味
(ストローク)	複数の項目に対して項目間の区切りを示し, 「または」の意味を示します。 (例) 「A B C」は, 「A, B, または C」を示します。
{ } (波括弧)	この記号で囲まれている複数の項目の中から, 一組の項目を必ず選択します。項目と項目の区切りは「 」で示します。 (例) 「{A B C}」は, 「A, B, または C のどれかを必ず指定する」ことを示します。
[] (角括弧)	この記号で囲まれている項目は, 任意に指定・省略できます。 (例) 「[A]」は, 「必要に応じて A を指定する」ことを示します。必要でない場合は, A を省略できます。 「[B C]」は, 「必要に応じて B, または C を指定する」ことを示します。必要でない場合は, B および C を省略できます。
... (点線)	この記号の直前に示された項目を繰り返して複数指定できます。なお, 項目を複数指定する場合は, 項目の区切りに 1 バイトの空白文字 (半角スペース) を使用します。 (例) 「A B...」は, 「A のあとに, B を複数指定できる」ことを示します。
《 》	デフォルト値を示します。
(())	指定できる値の範囲を示します。

図中で使用している記号

このマニュアルの図中で使用する記号を次のように定義します。

●端末



●サーバ



●入出力の動作



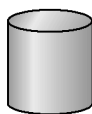
●画面の表示



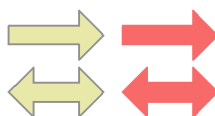
●プログラム



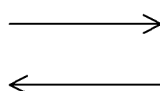
●DB



●データの流れ



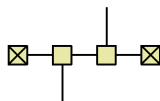
●制御、処理の流れ



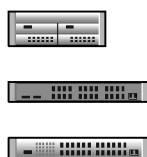
●工程、作業項目の流れ



●LAN



●管理対象スイッチ



●その他のスイッチ

●JP1/Cm2/NCの
ビュー画面●JP1/Cm2/NCの
ログイン画面

デフォルトのインストール先フォルダの表記

このマニュアルでは、JP1/Cm2/NC の各プログラムについて、デフォルトのインストール先フォルダを次のように表記しています。

製品名	デフォルトのインストール先フォルダ	このマニュアルでの表記
JP1/Cm2/NC	システムドライブ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC	JP1/Cm2/NC インストール先 フォルダ
JP1/Cm2/NC - Manager	システムドライブ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥manager	JP1/Cm2/NC - Manager イン ストール先フォルダ
JP1/Cm2/NC - View	システムドライブ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥view	JP1/Cm2/NC - View インス トール先フォルダ
JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorax	JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX インストール先フォルダ

製品名	デフォルトのインストール先フォルダ	このマニュアルでの表記
JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorbs	JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS インストール先フォルダ
JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorcs	JP1/Cm2/NC - Adaptor for CS インストール先フォルダ
JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorbi	JP1/Cm2/NC - Adaptor for BI インストール先フォルダ
JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adptorgs	JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS インストール先フォルダ
JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/ Loadflowbal	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorlf	JP1/Cm2/NC - Adaptor for LF インストール先フォルダ
JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorst	JP1/Cm2/NC - Adaptor for ST インストール先フォルダ

注 32bit アプリケーションとして動作する JP1/Cm2/NC を 64bit カーネルモードの OS 上で動作させた場合、デフォルトのインストールフォルダ「システムドライブ ¥Program Files」は「システムドライブ ¥Program Files (x86)」になります。

目次

1	JP1/Cm2/NC の概要	1
1.1	JP1/Cm2/NC とは	2
1.2	JP1/Cm2/NC の特長	3
1.2.1	共通のインターフェースでスイッチを設定できます	3
1.2.2	スイッチの設定状況を、VLAN や SLB などの設定内容によって整理して一元管理 できます	4
1.2.3	他製品と連携して機能を拡張できます	4
1.2.4	CLI を使用して、運用管理プログラムと連携できます	5
1.2.5	BladeSymphony の内蔵スイッチモジュールの設定および管理に使用できます	5
1.3	JP1/Cm2/NC の管理対象スイッチと設定できる情報	6
1.3.1	JP1/Cm2/NC の管理対象スイッチおよびサポート機能	6
1.3.2	JP1/Cm2/NC を使用して設定または表示できる管理対象スイッチの情報	7
1.4	JP1/Cm2/NC のプログラム構成	14
1.4.1	バージョンの異なるプログラム間の互換性	15
1.5	JP1/Cm2/NC のシステム構成例	18
1.5.1	VLAN を管理する場合のシステム構成例	18
1.5.2	SLB を管理する場合のシステム構成例	23
1.6	JP1/Cm2/NC を取り入れた運用の流れ	24

2	JP1/Cm2/NC の機能	29
2.1	ネットワーク構成情報	30
2.1.1	VLAN 情報 (AX2400S ・ AX3600S ・ BS2000 ・ BS320 ・ BS500 ・ BS500 1Gbx40)	30
2.1.2	VLAN 情報 (AX5400S ・ AX7800S ・ GS3000 ・ GS4000)	32
2.1.3	VLAN 情報 (BS1000)	33
2.1.4	VLAN 情報 (Cisco Catalyst)	34
2.1.5	SLB 情報 (BIG-IP)	36
2.1.6	SLB 情報 (HA8000-ie/Loadflowbal)	37
2.1.7	SLB 情報 (STM)	39
2.1.8	アクセス制御情報 (AX2400S ・ AX3600S ・ BS2000 ・ BS320 ・ BS500 ・ BS500 1Gbx40)	41
2.1.9	アクセス制御情報 (BS1000)	43
2.1.10	QoS 制御情報 (BS1000)	43
2.1.11	アップリンクフェイルオーバー情報 (BS2000 ・ BS320 ・ BS500 ・ BS500 1Gbx40)	44

2.1.12	スイッチの設定情報とネットワーク構成情報との対応	45
2.2	スイッチのネットワーク構成情報を表示する機能	55
2.2.1	管理対象ビュー	57
2.2.2	VLAN ビュー	58
2.2.3	SLB ビュー	58
2.2.4	スイッチ構成ビュー	59
2.3	スイッチにネットワーク構成情報を設定する機能	61

3

	インストールとセットアップ	63
3.1	インストールとセットアップの流れ	64
3.2	インストールとアンインストール	67
3.2.1	インストール	67
3.2.2	アンインストール	67
3.3	セットアップ	69
3.3.1	スイッチでの設定	69
3.3.2	JP1/Cm2/NC - Manager のセットアップ	72
3.3.3	JP1/Cm2/NC - View のセットアップ	73
3.3.4	JP1/Cm2/NC - Adaptor のセットアップ	74
3.3.5	統合トレースログファイルの設定	76
3.3.6	資料採取ツールのセットアップ	76
3.4	バックアップとリカバリー	81
3.4.1	バックアップ	81
3.4.2	リカバリー	81
3.5	運用上の注意事項	82

4

	セットアップ関連コマンド	85
	コマンドの記述形式	86
	コマンド使用時の注意事項	88
	コマンド一覧	89
	hntr2util	91
	ncaaxpwd	93
	ncabipwd	98
	ncabspwd	102
	ncacspwd	107
	ncagspwd	111

ncalfpwd	116
ncastpwd	121
ncmconvertdb	125
ncmuser	128

5

定義ファイル	131
--------	-----

5.1 定義ファイル一覧	132
5.2 定義ファイルの詳細	135
5.2.1 JP1/Cm2/NC - Manager 接続アダプター定義ファイル (ncmadpt.conf)	135
5.2.2 JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf)	135
5.2.3 JP1/Cm2/NC - View 接続先定義ファイル (ncvdest.conf)	137
5.2.4 JP1/Cm2/NC - View 動作条件定義ファイル (ncv.conf)	138
5.2.5 JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series 動作条件定義ファイル (nca.conf)	139
5.2.6 JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf)	141
5.2.7 JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series 動作条件定義ファイル (nca.conf)	142
5.2.8 JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf)	144
5.2.9 JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch 動作条件定義ファイル (nca.conf)	147
5.2.10 JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf)	148
5.2.11 JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer 動作条件定義ファイル (nca.conf)	150
5.2.12 JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf)	151
5.2.13 JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series 動作条件定義ファイル (nca.conf)	153
5.2.14 JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf)	154
5.2.15 JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal 動作条件定義ファイル (nca.conf)	156
5.2.16 JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf)	157
5.2.17 JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager 動作条件定義ファイル (nca.conf)	158
5.2.18 JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf)	160

6

他製品との連携	163
---------	-----

6.1 JP1/IM 連携オプション	164
6.1.1 JP1/IM への JP1 イベントの通知	164
6.1.2 システム構成例	165

6.1.3 セットアップ	166
--------------	-----

付録 169

付録 A ファイルおよびディレクトリー一覧	170
付録 B JP1 イベント	176
付録 C ポート番号一覧	177
付録 C.1 JP1/Cm2/NC が使用するポート番号	177
付録 C.2 ファイアウォールの通過方向	177
付録 D 制限値一覧	179
付録 D.1 文字の制限	179
付録 E コマンド一覧および文法記載先マニュアル	182
付録 F クラスタシステムでの運用	186
付録 F.1 クラスタシステムに対応するプログラム	186
付録 F.2 対象とするクラスタシステム	186
付録 F.3 インストールとセットアップ	187
付録 F.4 クラスタシステムで運用する場合の注意事項	189
付録 G 各バージョンの変更内容	190
付録 H このマニュアルの参考情報	197
付録 H.1 関連マニュアル	197
付録 H.2 JP1/Cm2/NC の運用サイクルと JP1/Cm2/NC 関連マニュアルの対応	198
付録 H.3 JP1/Cm2/NC 関連マニュアルの記載内容	199
付録 H.4 このマニュアルでの表記	200
付録 H.5 英略語	202
付録 H.6 KB（キロバイト）などの単位表記について	203
付録 I 用語解説	204

索引 211

1

JP1/Cm2/NC の概要

JP1/Cm2/NC とは、スイッチの設定、管理をサポートし、スイッチを利用したネットワークを運用しやすくするプログラムです。JP1/Cm2/NC が提供する共通のインターフェースから、スイッチに対して一括操作できるので、各スイッチのインターフェースの差を意識することなくスイッチを設定できます。また、ネットワークの構成状況を、設定内容によって整理して表示できるので、ネットワーク構成を理解しやすくなります。この章では、JP1/Cm2/NC の概要について説明します。

-
- 1.1 JP1/Cm2/NC とは
 - 1.2 JP1/Cm2/NC の特長
 - 1.3 JP1/Cm2/NC の管理対象スイッチと設定できる情報
 - 1.4 JP1/Cm2/NC のプログラム構成
 - 1.5 JP1/Cm2/NC のシステム構成例
 - 1.6 JP1/Cm2/NC を取り入れた運用の流れ
-

1.1 JP1/Cm2/NC とは

JP1/Cm2/NC とは、スイッチの設定、管理をサポートするプログラムです。

近年 VLAN 機能、サーバロードバランシング（以降 SLB と略します）機能などをサポートしたスイッチの普及によって、多くの企業がそれらの機能を利用したネットワークを導入するようになりました。しかし、ネットワークの規模が大きくなればなるほど、スイッチへの設定・管理作業は、大変な手間と労力を必要とします。その理由として、次のような要因が挙げられます。

スイッチごとに仕様を理解する必要がある。

スイッチの設定は、スイッチに付属しているコンソール端末、またはリモート端末から telnet などを使って、物理的なネットワークを構成しているそれぞれのスイッチに、直接コマンド入力で設定するのが一般的です。しかし、スイッチの仕様はメーカーごとに大きく異なります。また、同一メーカーのスイッチであっても、異なる場合があります。したがって、スイッチを設定するためには、各スイッチの仕様を理解しておく必要があります。

ネットワークが現在どのような構成になっているか理解するために、スイッチから取得したデータを整理する必要がある。

スイッチの設定状況を知るために、通常はスイッチからデータを直接取得します。しかし、スイッチから取得できるデータは、スイッチに設定されている各情報の設定値を示すだけの情報です。表示も英数値の羅列で、読み取りやすい情報として整理されていません。ネットワークが現在どのような構成になっているか理解するためには、各スイッチから取得したデータを改めて整理する必要があります。

ネットワークの規模が大きくなり、管理するスイッチが増加すれば、スイッチの数だけ仕様を理解したり、スイッチから取得したデータを整理したりする必要があります。これらの作業に掛かる手間は膨大になり、スムーズなネットワークの運用が難しくなってしまいます。

JP1/Cm2/NC を使用すると、このような問題を解決し、スイッチを使ったネットワーク管理がスムーズになります。次の節では JP1/Cm2/NC の特長について説明します。

1.2 JP1/Cm2/NC の特長

JP1/Cm2/NC の特長は次のとおりです。

- 共通のインターフェース（GUI）でスイッチを設定できる。
- スwitchの設定状況を，設定内容によって整理して一元管理できる。
- 他製品と連携して機能を拡張できる。
- CLI（Command Line Interface）を使用して，運用管理プログラムと連携できる。
- BladeSymphony の内蔵スイッチモジュールの設定および管理に使用できる。

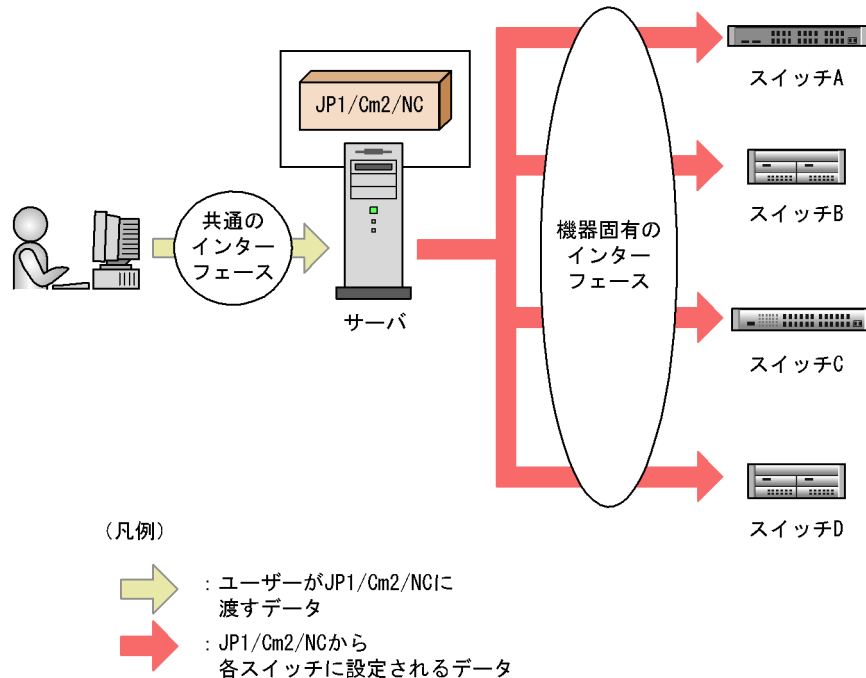
次にそれぞれの特長について，詳しく説明します。

1.2.1 共通のインターフェースでスイッチを設定できます

スイッチに VLAN や SLB など直接設定する場合，それぞれのスイッチの仕様を理解して設定する必要があります。JP1/Cm2/NC を使うと，仕様の異なるスイッチでも，すべて共通のインターフェースで設定できます。これによって，各スイッチの差異を意識しないでスイッチに設定できるようになります。

JP1/Cm2/NC を利用したスイッチの設定について，次の図に示します。

図 1-1 JP1/Cm2/NC を利用したスイッチの設定



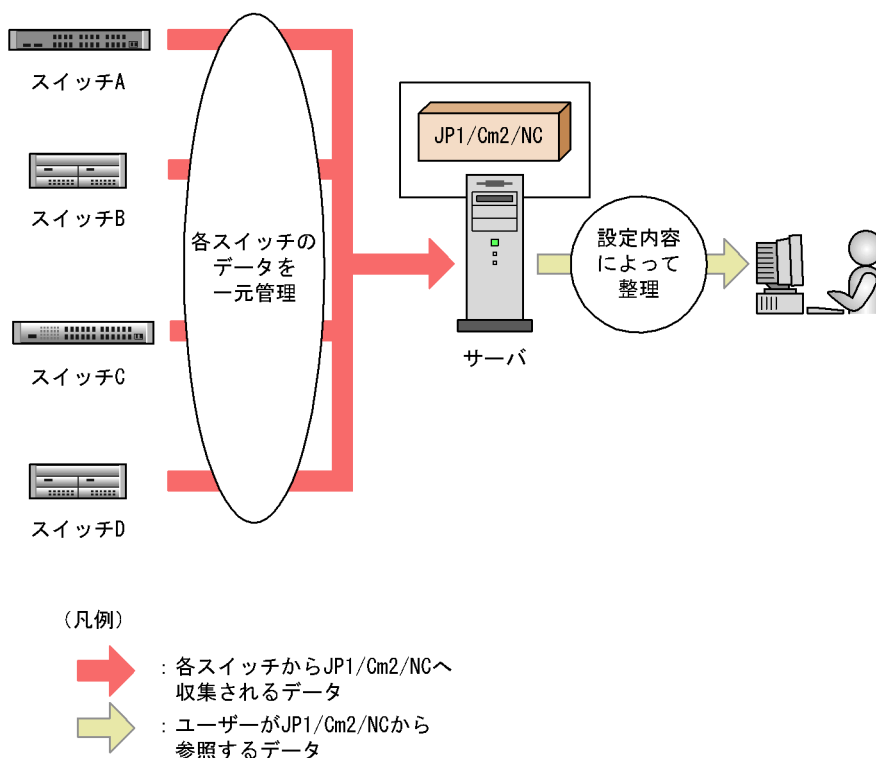
1.2.2 スイッチの設定状況を，VLAN や SLB などの設定内容によって整理して一元管理できます

スイッチから直接取得できる情報は，スイッチに設定されている各情報の設定値です。英数字の羅列で，読み取りやすい情報として整理されていません。スイッチから直接取得した情報を見ただけで，実際にどのような VLAN や SLB が構成されているのかなどを理解するのは困難です。

JP1/Cm2/NC では，各スイッチから構成情報を取得し，それを DB にまとめて格納します。そのあと，DB に格納した情報を，VLAN や SLB などの設定内容によって整理し，アイコンなどを使用して，視覚的に画面へ表示します。これによって，ネットワークの全体構成をより簡単に理解でき，管理もしやすくなります。

JP1/Cm2/NC を利用したスイッチの表示について，次の図に示します。

図 1-2 JP1/Cm2/NC を利用したスイッチの表示



1.2.3 他製品と連携して機能を拡張できます

JP1/Cm2/NC は，他製品と連携して使用できます。他製品と連携することによって，JP1/Cm2/NC ではサポートしていない機能を拡張できます。

JP1/Cm2/NC の連携機能について、次の表に示します。

表 1-1 JP1/Cm2/NC の連携機能

連携機能	連携製品	機能
JP1/IM 連携オプション	JP1/IM	JP1/IM を使用してシステムを一元的に管理できます。JP1/Cm2/NC は、JP1 イベントを通知します。

1.2.4 CLI を使用して、運用管理プログラムと連携できます

JP1/Cm2/NC は、CLI によってスイッチを設定する機能を提供しています。JP1/AJS3 または JP1/SC などの運用管理プログラムと連携し、システムの自動運用に JP1/Cm2/NC を組み込みめます。

CLI については、マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration CLI 運用ガイド」で説明しています。

1.2.5 BladeSymphony の内蔵スイッチモジュールの設定および管理に使用できます

JP1/Cm2/NC は、IT プラットフォーム「BladeSymphony」をシームレスに統合管理するソフトウェア群「BladeSymphony Manage Suite」の一製品です。BladeSymphony の内蔵スイッチモジュールである BS1000、BS2000、BS320、BS500、および BS500 1Gbx40 の設定をサポートしています。

BladeSymphony を運用するとき、JP1/Cm2/NC を VLAN の設定および一元管理に使用できます。

1.3 JP1/Cm2/NC の管理対象スイッチと設定できる情報

JP1/Cm2/NC では、スイッチの次の機能について、設定および管理をサポートしています。

- VLAN
- SLB
- アクセス制御
- QoS 制御
- アップリンクフェイルオーバー

JP1/Cm2/NC の管理対象スイッチと、各スイッチに対して JP1/Cm2/NC を使用して設定できる情報について説明します。

1.3.1 JP1/Cm2/NC の管理対象スイッチおよびサポート機能

JP1/Cm2/NC の管理対象スイッチおよびサポート機能を次に示します。

表 1-2 JP1/Cm2/NC の管理対象スイッチおよびサポート機能

管理対象スイッチ	詳細機種	サポート機能
AX2400S	<ul style="list-style-type: none"> • AX2430S-24T • AX2430S-24TD • AX2430S-48T • AX2430S-48TD • AX2430S-24T2X • AX2430S-24T2XD 	<ul style="list-style-type: none"> • VLAN • アクセス制御
AX3600S	<ul style="list-style-type: none"> • AX3630S-24T • AX3630S-24TD • AX3630S-24T2X • AX3630S-24T2XD • AX3630S-24P 	<ul style="list-style-type: none"> • VLAN • アクセス制御
AX5400S	<ul style="list-style-type: none"> • AX5402S • AX5404S 	VLAN
AX7800S	<ul style="list-style-type: none"> • AX7804S • AX7808S • AX7816S 	VLAN
BIG-IP	<ul style="list-style-type: none"> • BIG-IP 1500 • BIG-IP 6400 	SLB
BS1000	BladeSymphony (BS1000) スイッチモジュール	<ul style="list-style-type: none"> • VLAN • アクセス制御 • QoS 制御

管理対象スイッチ	詳細機種	サポート機能
BS2000	BladeSymphony (BS2000) スイッチモジュール	<ul style="list-style-type: none"> • VLAN • アクセス制御 • アップリンクフェイルオーバー
BS320	BladeSymphony (BS320) スイッチモジュール	<ul style="list-style-type: none"> • VLAN • アクセス制御 • アップリンクフェイルオーバー
BS500	BladeSymphony (BS500) スイッチモジュール	<ul style="list-style-type: none"> • VLAN • アクセス制御 • アップリンクフェイルオーバー
BS500 1Gbx40	BladeSymphony (BS500 1Gbx40) スイッチモジュール	<ul style="list-style-type: none"> • VLAN • アクセス制御 • アップリンクフェイルオーバー
Cisco Catalyst	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Catalyst 3550 • Cisco Catalyst 3750 	VLAN
GS3000	<ul style="list-style-type: none"> • GS3000-20E • GS3000-40E 	VLAN
GS4000	<ul style="list-style-type: none"> • GS4000-80E • GS4000-160E • GS4000-320E 	VLAN
HA8000-ie/Loadflowbal	<ul style="list-style-type: none"> • HA8000-ie/Loadflowbal 16 ポート • HA8000-ie/Loadflowbal 24 ポート 	SLB
STM	<ul style="list-style-type: none"> • S1000 • S2000 • S3000 	SLB

1.3.2 JP1/Cm2/NC を使用して設定または表示できる管理対象スイッチの情報

JP1/Cm2/NC の管理対象スイッチがサポートしている設定情報で、JP1/Cm2/NC を使用して設定できる情報を次に示します。また、JP1/Cm2/NC から表示できる情報についても示します。

なお、次のスイッチについては、それぞれサポート内容が同じなのでまとめて説明します。

- AX2400S および AX3600S
- BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40
- AX5400S, AX7800S, GS3000, および GS4000

(1) AX2400S および AX3600S

JP1/Cm2/NC を使用して設定または表示できる AX2400S および AX3600S の設定情報を次の表に示します。

表 1-3 JP1/Cm2/NC を使用して設定または表示できる AX2400S および AX3600S の設定情報

機能分類	JP1/Cm2/NC を使用して設定または表示できる情報	
VLAN	VLAN 情報 (ポート VLAN)	状態
		VLAN 名
		VLAN ごとの MAC アドレス使用有無
	ポート設定関連	ポートの種類 (モード)
		ポートごとの TPID
		アクセスポートの設定
		トランクポートの設定
	VLAN インターフェース	VLAN インターフェースの設定
		IPv4 アドレスの設定
		IPv6 アドレスの設定
アクセス制御	VLAN TPID 情報	
	VLAN ごとの MAC アドレス情報	
	フロー検出モード	
	アクセス制御情報	MAC フィルターの設定
		MAC フィルターの適用
		IPv4 フィルターの設定
		IPv4 アドレスフィルターの設定
		IPv4 パケットフィルターの設定
		IPv4 フィルターの適用
		IPv6 フィルターの設定
		IPv6 フィルターの適用
		アクセスを許可する条件の設定
		アクセスを拒否する条件の設定
		アクセスリストの補足説明

(2) BS2000 , BS320 , BS500 , および BS500 1Gbx40

JP1/Cm2/NC を使用して設定または表示できる BS2000 , BS320 , BS500 , および

BS500 1Gbx40 の設定情報を次の表に示します。

表 1-4 JP1/Cm2/NC を使用して設定または表示できる BS2000 , BS320 , BS500 , および BS500 1Gbx40 の設定情報

機能分類	JP1/Cm2/NC を使用して設定または表示できる情報	
VLAN	VLAN 情報 (ポート VLAN)	状態
		VLAN 名
		VLAN ごとの MAC アドレス使用有無
	ポート設定関連	ポートの種類 (モード)
		ポートごとの TPID
		アクセスポートの設定
		トランクポートの設定
	VLAN インターフェース	VLAN インターフェースの設定
		IPv4 アドレスの設定
		IPv6 アドレスの設定
アクセス制御	VLAN TPID 情報	
	VLAN ごとの MAC アドレス情報	
	フロー検出モード	
	アクセス制御情報	MAC フィルターの設定
		MAC フィルターの適用
		IPv4 フィルターの設定
		IPv4 アドレスフィルターの設定
		IPv4 パケットフィルターの設定
		IPv4 フィルターの適用
		IPv6 フィルターの設定
		IPv6 フィルターの適用
		アクセスを許可する条件の設定
		アクセスを拒否する条件の設定
		アクセスリストの補足説明
アップリンクフェイルオーバー	拡張機能の設定	
	外部装置接続用ポートの設定	
	サーバ接続ポートのアップリンクフェイルオーバーグループの設定	

(3) AX5400S , AX7800S , GS3000 , および GS4000

JP1/Cm2/NC を使用して設定または表示できる AX5400S , AX7800S , GS3000 および

1. JP1/Cm2/NC の概要

GS4000 の設定情報を次の表に示します。

表 1-5 JP1/Cm2/NC を使用して設定または表示できる AX5400S , AX7800S , GS3000 および GS4000 の設定情報

機能分類	JP1/Cm2/NC を使用して設定または表示できる情報	
VLAN	VLAN 情報 (ポート VLAN)	Tagged ポート
		Untagged ポート
		該当する VLAN の説明
		状態 (全フレームの送受信開始 / 停止指定)
		vlan コマンドの router-interface サブコマンドで使用する VLAN 名
		VLAN ごとの MAC アドレス使用有無
	IP ルーティング情報	
	VLAN TPID 情報	
	VLAN ごとの MAC アドレス情報	
	未定義フレーム廃棄機能情報	

注

JP1/Cm2/NC では IP マルチホームには対応していません。

(4) BIG-IP

JP1/Cm2/NC を使用して設定または表示できる BIG-IP の設定情報を次の表に示します。

表 1-6 JP1/Cm2/NC を使用して設定または表示できる BIG-IP の設定情報

機能分類	JP1/Cm2/NC を使用して設定または表示できる情報	
SLB	プール	プールの追加, 変更, および削除
		プールに対するノードの追加, 変更, および削除
		ロードバランシング方法
	バーチャルサーバ, バーチャルアドレス	バーチャルサーバの追加, 変更, および削除
		バーチャルサーバで使用するプールの指定
		バーチャルサーバおよびバーチャルアドレスの有効化および無効化

(5) BS1000

JP1/Cm2/NC を使用して設定または表示できる BS1000 の設定情報を次の表に示します。

表 1-7 JP1/Cm2/NC を使用して設定または表示できる BS1000 の設定情報

機能分類	JP1/Cm2/NC を使用して設定または表示できる情報	
VLAN	VLAN 情報（ポート VLAN）	Tagged ポート
		Untagged ポート
		該当する VLAN の説明
		状態（全フレームの送受信開始 / 停止指定）
アクセス制御および QoS 制御	フロー制御情報	
	アクセス制御情報	アクセス制御ポート
		フィルター条件
	QoS 制御情報	QoS 制御ポート
		優先条件

(6) Cisco Catalyst

JP1/Cm2/NC を使用して設定または表示できる Cisco Catalyst の設定情報を次の表に示します。

表 1-8 JP1/Cm2/NC を使用して設定または表示できる Cisco Catalyst の設定情報

機能分類	JP1/Cm2/NC を使用して設定または表示できる情報	
VLAN	VLAN 情報（ポート VLAN）	VLAN メディアタイプ
		該当する VLAN の名称
		該当する VLAN の状態
		SAID
		SVI
	ポート関連情報	VLAN ポートメンバーシップモード
		カプセル化フォーマット
		トランクポートの設定
		アクセスポートの設定

JP1/Cm2/NC から表示できる Cisco Catalyst の設定情報を次の表に示します。

表 1-9 JP1/Cm2/NC から表示できる Cisco Catalyst の設定情報

機能分類	JP1/Cm2/NC を使用して表示できる情報
VLAN	VTP 設定関連

(7) HA8000-ie/Loadflowbal

JP1/Cm2/NC を使用して設定または表示できる HA8000-ie/Loadflowbal の設定情報を次の表に示します。

表 1-10 JP1/Cm2/NC を使用して設定または表示できる HA8000-ie/Loadflowbal の設定情報

機能分類	JP1/Cm2/NC を使用して設定または表示できる情報	
SLB	グローバル情報	ロードバランシング方法
		ポートプロファイル
	論理サーバ	論理サーバの追加，変更，および削除
		バインド
		ロードバランシング方法
	論理サーバポート	ポートの追加，変更，および削除
		状態
	物理サーバ	物理サーバの追加，変更，および削除
		ウェイト
	物理サーバポート	ポートの追加，変更，および削除
		状態

注

JP1/Cm2/NC でサポートしている情報は「タイプ」だけです。

(8) STM

JP1/Cm2/NC を使用して設定または表示できる STM の設定情報を次の表に示します。

表 1-11 JP1/Cm2/NC を使用して設定または表示できる STM の設定情報

機能分類	JP1/Cm2/NC を使用して設定または表示できる情報		
SLB	コンポーネント管理	物理サーバ	物理サーバの追加・変更・削除
			P/S タイプ
			IP アドレス
	ゾーン管理	include/exclude	

JP1/Cm2/NC から表示できる STM の設定情報を次の表に示します。

表 1-12 JP1/Cm2/NC から表示できる STM の設定情報

機能分類	JP1/Cm2/NC を使用して表示できる情報		
SLB	Company 情報	会社名	
	コンポーネント 管理	ゾーン情報	ゾーン名
			Sticky
			Full Notice IP
			Accept ポリシー
			POP グループポリシー
			ロードバランシング方法
		グループ情報	グループ名
			P/S タイプ
			グループタイプ
			POP 名
			VIP

1.4 JP1/Cm2/NC のプログラム構成

JP1/Cm2/NC のプログラム構成について説明します。JP1/Cm2/NC は次の三つのプログラムから構成されています。

JP1/Cm2/NC - Manager

JP1/Cm2/NC のマネージャープログラムです。JP1/Cm2/NC - Manager をインストールしたマシンに DB を構築し、JP1/Cm2/NC - Adaptor がスイッチから取得した構成情報を格納し、管理します。なお、DB には ISAM を使用しています。「ISAM」とはデータに索引（キー）を付けて管理する方法です。

JP1/Cm2/NC - Manager には、複数の JP1/Cm2/NC - Adaptor を接続できます。また、複数の JP1/Cm2/NC - View から、同時に JP1/Cm2/NC - Manager に接続できます。ただし、運用上の負荷を考慮してシステムを構築してください。

JP1/Cm2/NC - View

JP1/Cm2/NC の GUI を提供するプログラムです。JP1/Cm2/NC - Manager に接続して、GUI でスイッチの構成情報を設定したり、スイッチの構成状況を表示したりします。また、CLI 機能を提供します。

JP1/Cm2/NC - View は複数の JP1/Cm2/NC - Manager に接続できますが、同時には接続できません。

JP1/Cm2/NC - Adaptor

スイッチに構成情報を設定したり、スイッチから構成情報を取得して JP1/Cm2/NC - Manager に渡したりします。

JP1/Cm2/NC - Adaptor が接続できる JP1/Cm2/NC - Manager は 1 台だけです。JP1/Cm2/NC - Adaptor は、接続するスイッチの機種ごとにプログラムが分かれています。JP1/Cm2/NC - Adaptor の種類と管理するスイッチの対応を次の表に示します。

表 1-13 JP1/Cm2/NC - Adaptor の種類と管理対象スイッチの対応

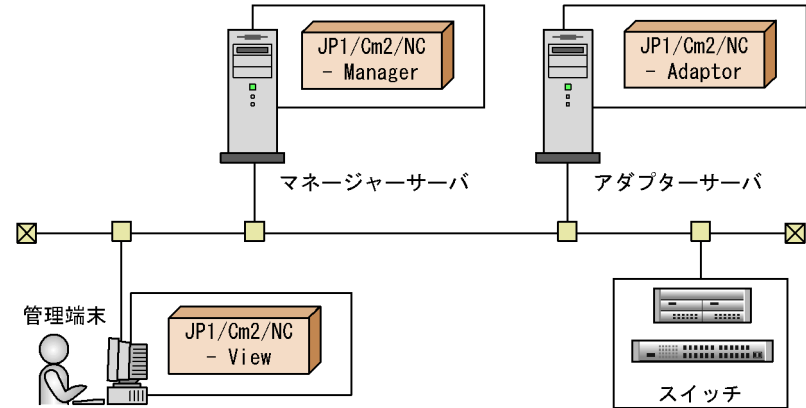
JP1/Cm2/NC - Adaptor の種類	管理対象スイッチ
JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series	AX2400S, AX3600S, AX5400S および AX7800S
JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series	BS1000, BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40
JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch	Cisco Catalyst
JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer	BIG-IP
JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series	GS3000 および GS4000
JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal	HA8000-ie/Loadflowbal

JP1/Cm2/NC - Adaptor の種類	管理対象スイッチ
JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager	STM

このマニュアルでは、JP1/Cm2/NC - Manager をインストールしたマシンを「マネージャーサーバ」、JP1/Cm2/NC - View をインストールしたマシンを「管理端末」、JP1/Cm2/NC - Adaptor をインストールしたマシンを「アダプターサーバ」と呼びます。

JP1/Cm2/NC を使用したシステムの基本構成を次の図に示します。

図 1-3 JP1/Cm2/NC の基本構成



1.4.1 バージョンの異なるプログラム間の互換性

バージョンの異なるプログラムを使用して JP1/Cm2/NC を運用する場合の、プログラム間の互換性について次の表に示します。

表 1-14 バージョンの異なるマネージャーと各プログラムの互換性

プログラム名	バージョン	JP1/Cm2/NC - Manager のバージョン										
		07-10	07-11	07-12	07-50	07-51	07-52	08-00	08-10	09-00	09-01	09-50
JP1/Cm2/NC - View	07-10		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	07-11	x		x	x	x	x	x	x	x	x	x
	07-12	x	x		x	x	x	x	x	x	x	x
	07-50	x	x	x		x	x	x	x	x	x	x
	07-51	x	x	x	x		x	x	x	x	x	x
	07-52	x	x	x	x	x		x	x	x	x	x

1. JP1/Cm2/NC の概要

プログラム名	バージョン	JP1/Cm2/NC - Manager のバージョン										
		07-10	07-11	07-12	07-50	07-51	07-52	08-00	08-10	09-00	09-01	09-50
	08-00	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x
	08-10	x	x	x	x	x	x	x		x	x	x
	08-11	x	x	x	x	x	x	x		x	x	x
	09-00	x	x	x	x	x	x	x	x		x	x
	09-01	x	x	x	x	x	x	x	x	x		x
	09-50	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series	07-51	x	x	x	x			x	x	x	x	x
	08-00	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x
	08-10	x	x	x	x	x	x	x				
JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS1000	07-12	x	x		x	x	x	x	x	x	x	x
	07-50	x	x	x				x	x	x	x	x
	08-00	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x
	08-10	x	x	x	x	x	x	x		x	x	x
JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series	09-00	x	x	x	x	x	x	x	x		x	x
	09-01	x	x	x	x	x	x	x	x	x		x
	09-50	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch	07-51	x	x	x	x							
	08-00	x	x	x	x	x	x					
JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer	07-51	x	x	x	x							
	08-00	x	x	x	x	x	x					
JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series	07-10			x	x	x	x	x	x	x	x	x
	07-12	x	x		x	x	x	x	x	x	x	x
	07-50	x	x	x								

プログラム名	バージョン	JP1/Cm2/NC - Manager のバージョン										
		07-10	07-11	07-12	07-50	07-51	07-52	08-00	08-10	09-00	09-01	09-50
JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/ Loadflowbal	07-11	×			×	×	×	×	×	×	×	×
	07-50	×	×	×								
JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager	07-52	×	×	×	×	×						
	08-00	×	×	×	×	×	×					

（凡例）

：接続できる。

×：接続できない。

注 09-00 以降のバージョンでは、JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS1000 の後継製品として JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series が提供されています。

1.5 JP1/Cm2/NC のシステム構成例

この節では、JP1/Cm2/NC を取り入れたシステムの構成例について説明します。

システム構成は、JP1/Cm2/NC を使用してどのようなネットワークを管理するかによって異なります。次のシステム構成例を示します。

- JP1/Cm2/NC を使用して VLAN を管理する場合
- JP1/Cm2/NC を使用して SLB を管理する場合

! 注意事項

- JP1/Cm2/NC - Manager, JP1/Cm2/NC - View, JP1/Cm2/NC - Adaptor は、1 台のマシンにインストールして運用することもできますが、負荷を分散させるために、別々のマシンにインストールすることをお勧めします。
- JP1/Cm2/NC は管理端末、マネージャーサーバ、アダプターサーバ、および管理対象スイッチ間で TCP/IP による通信を使ってスイッチの構成を管理しています。そのため、スイッチの構成を変更する際、各装置間で通信できない構成に変更しないでください。個別に管理用のネットワークを用意することをお勧めします。

1.5.1 VLAN を管理する場合のシステム構成例

JP1/Cm2/NC を使用して VLAN を管理する場合のシステム構成例について説明します。VLAN の管理では、VLAN 環境を構築するためにまず VLAN 管理ドメインを設定します。「VLAN 管理ドメイン」とは、複数の VLAN をまとめて管理する単位です。VLAN を管理する場合のシステム構成例を説明する前に、まず VLAN 管理ドメインについて説明します。

(1) VLAN 管理ドメイン

VLAN を管理するとき、同じ VLAN-ID を共有し、相互接続された一つまたは複数のスイッチを単位に、複数の VLAN をまとめて管理することがあります。JP1/Cm2/NC では、この単位を「VLAN 管理ドメイン」と呼びます。VLAN 管理ドメインは、レイヤー 2 ネットワーク（ブロードキャストパケットが中継される範囲）です。一つのスイッチが所属できる VLAN 管理ドメインは一つだけです。VLAN 管理ドメインが異なると、同じ VLAN-ID を持つ VLAN でも別々の VLAN として認識されます。JP1/Cm2/NC では、1 台の JP1/Cm2/NC - Manager で複数の VLAN 管理ドメインを管理できます。

VLAN 管理ドメインは、JP1/Cm2/NC のデフォルトで一つ用意されています。これをデフォルトドメインといいます。VLAN 管理ドメインが一つしかない場合は、デフォルトドメインを使用することをお勧めします。

VLAN 管理ドメインについて次の図に示します。

図 1-4 VLAN 管理ドメインが一つの場合

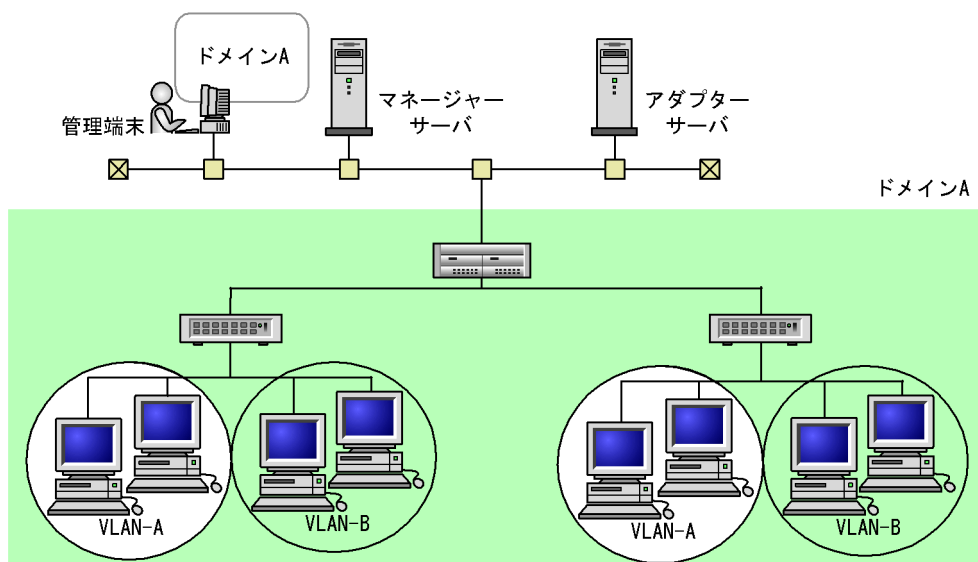


図 1-5 VLAN 管理ドメインが複数の場合

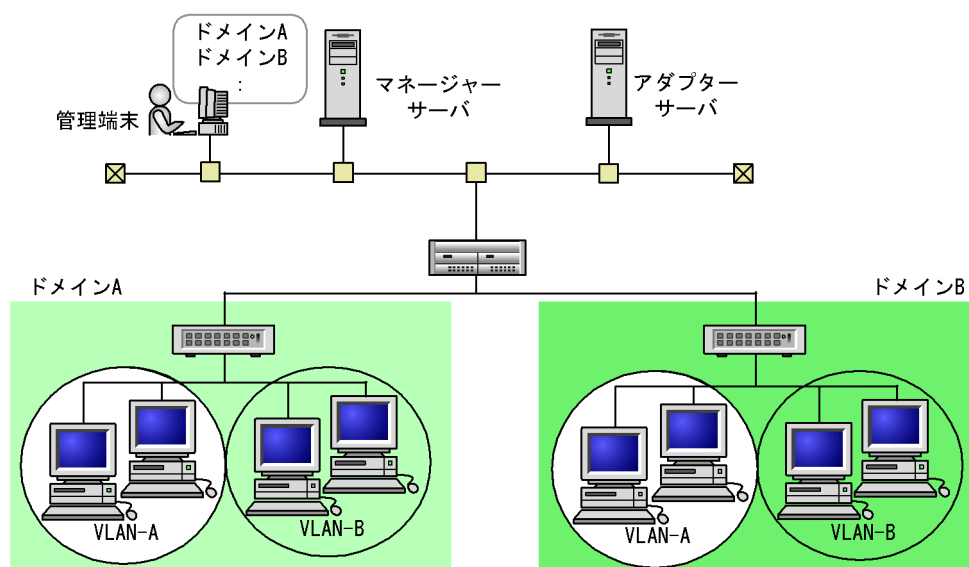


図 1-4 では、同じ VLAN-ID を持つ VLAN が同じ VLAN 管理ドメインに所属しているので、同じ VLAN と認識されます。したがって、ブロードキャストパケットが中継されます。しかし、図 1-5 では、同じ VLAN-ID を持つ VLAN が異なる VLAN 管理ドメインに所属しているので、同じ VLAN-ID を持つ VLAN でも異なる VLAN と認識されます。したがって、ブロードキャストパケットは中継されません。

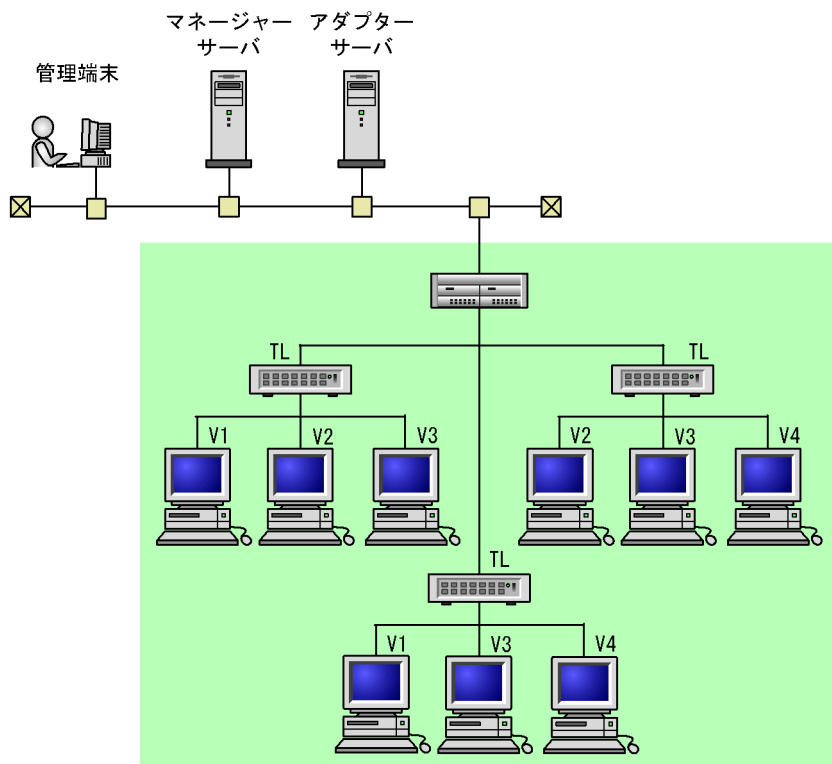
1. JP1/Cm2/NC の概要

次に、JP1/Cm2/NC を使用して VLAN を管理するシステム構成例を示します。

(2) 基本的な構成例

JP1/Cm2/NC を使用して VLAN を管理する基本的なシステム構成例を次の図に示します。

図 1-6 システム構成例 (VLAN 管理・基本)



(凡例)

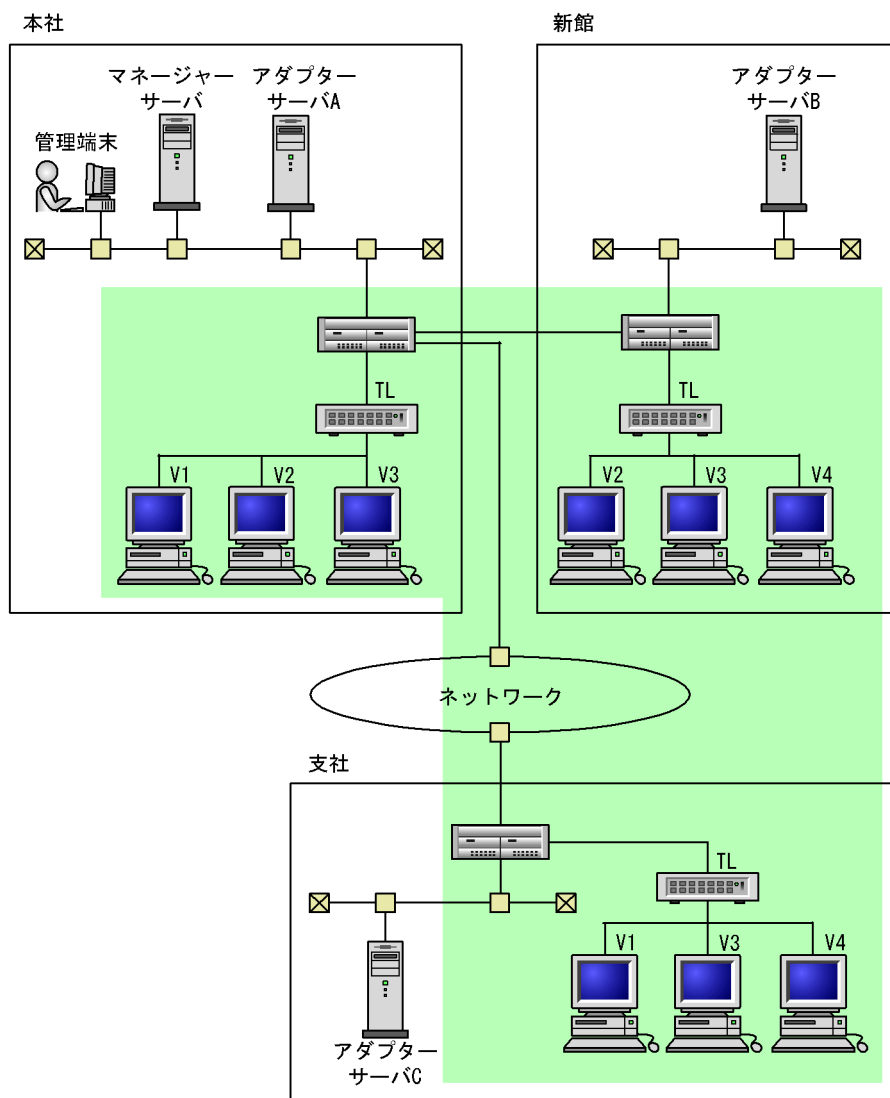
- : VLAN 管理ドメイン
- Vn : VLAN
- TL : トランクリンク

図 1-6 では、JP1/Cm2/NC の基本構成どおり、管理端末、マネージャーサーバ、およびアダプターサーバを各 1 台ずつ使用して VLAN を管理しています。アダプターサーバが 1 台でも負荷に問題がない場合に、この構成例を使用できます。

(3) 各拠点にアダプターサーバを配置した構成例

各拠点にアダプターサーバを配置したシステム構成例を次の図に示します。

図 1-7 システム構成例 (VLAN 管理・各拠点にアダプターサーバを配置した場合)



(凡例)

■ : VLAN管理ドメイン

Vn : VLAN

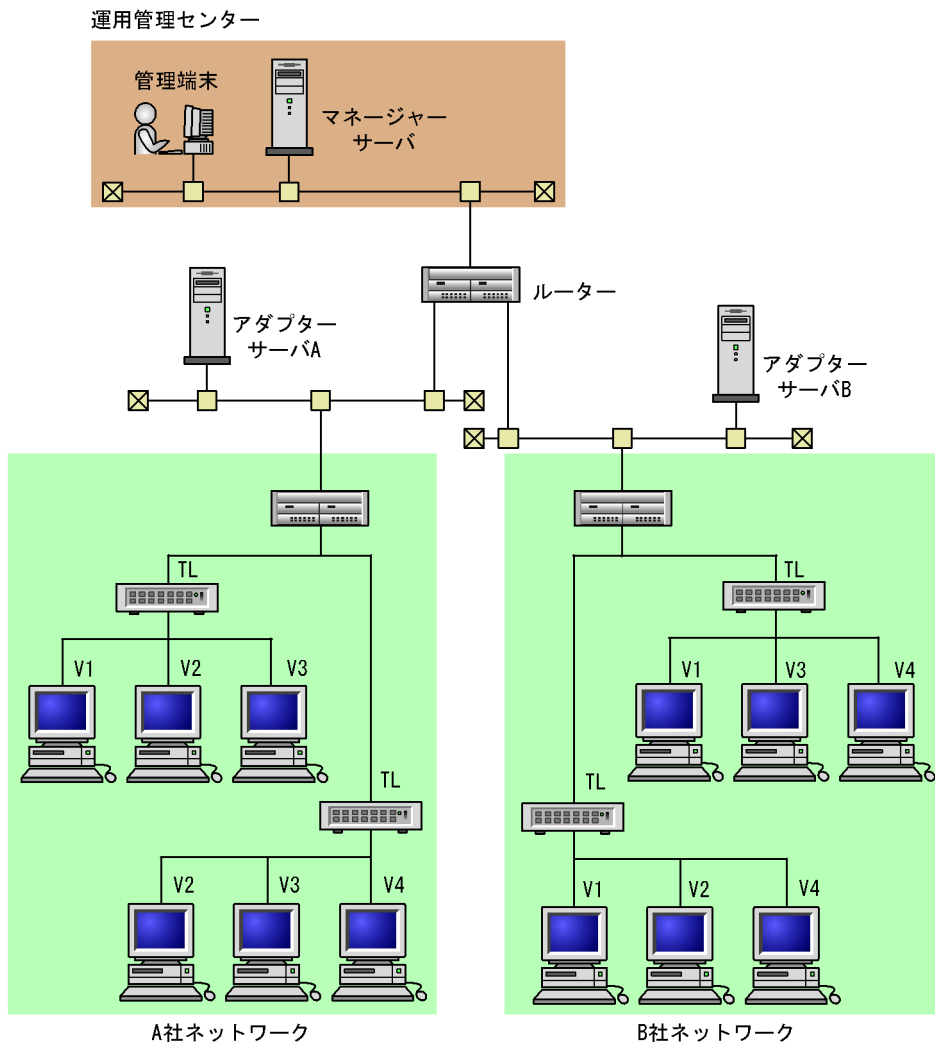
TL : トランクリンク

図 1-7 では、各拠点にアダプターサーバを配置し、各拠点でスイッチの情報を収集および反映させています。拠点が複数ある場合、各拠点を単位にアダプターサーバを配置すると、各アダプターサーバの負担を軽減できます。

(4) 複数の VLAN 管理ドメインを管理する場合の構成例

複数の VLAN 管理ドメインを管理する場合の構成例を次の図に示します。

図 1-8 システム構成例 (VLAN 管理・複数の VLAN 管理ドメインを管理する場合)



(凡例)

■ : VLAN管理ドメイン

Vn : VLAN

TL : トランクリンク

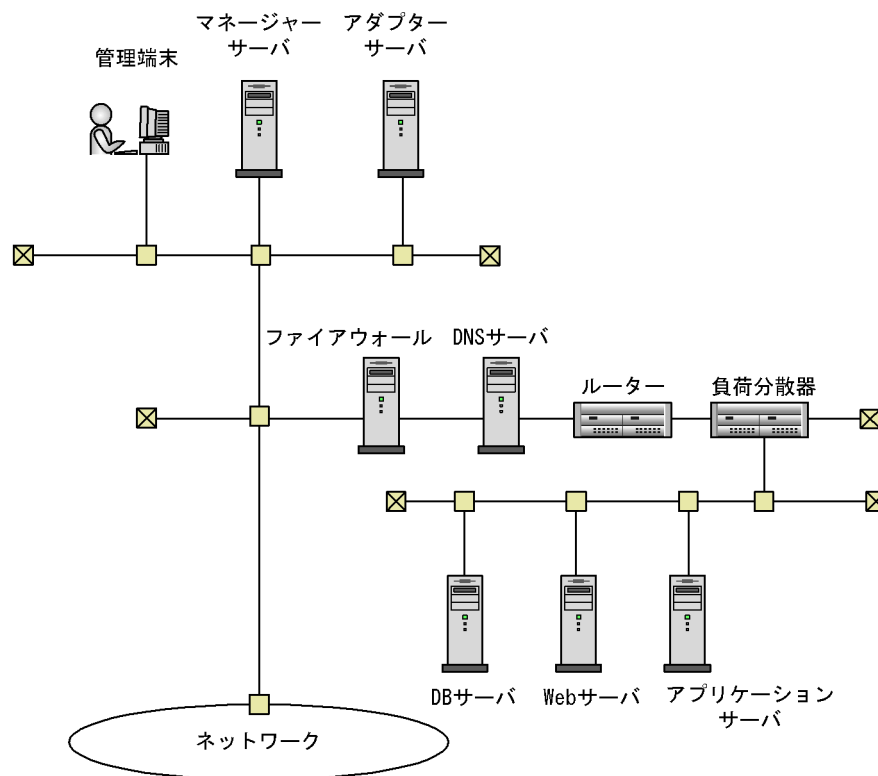
図 1-8 では、VLAN 管理ドメインを単位にアダプターサーバを配置し、各 VLAN 管理ドメインでスイッチの情報を収集および反映させています。複数の VLAN 管理ドメインを管理する場合、VLAN 管理ドメインを単位にアダプターサーバを配置すると VLAN を管

理しやすく、また各アダプターサーバの負荷を軽減できます。

1.5.2 SLB を管理する場合のシステム構成例

JP1/Cm2/NC を使用して SLB を管理する場合のシステム構成例について、次の図に示します。

図 1-9 システム構成例（SLB 管理）



負荷分散器として機能するスイッチに対して、管理端末、マネージャーサーバ、およびアダプターサーバを配置しています。

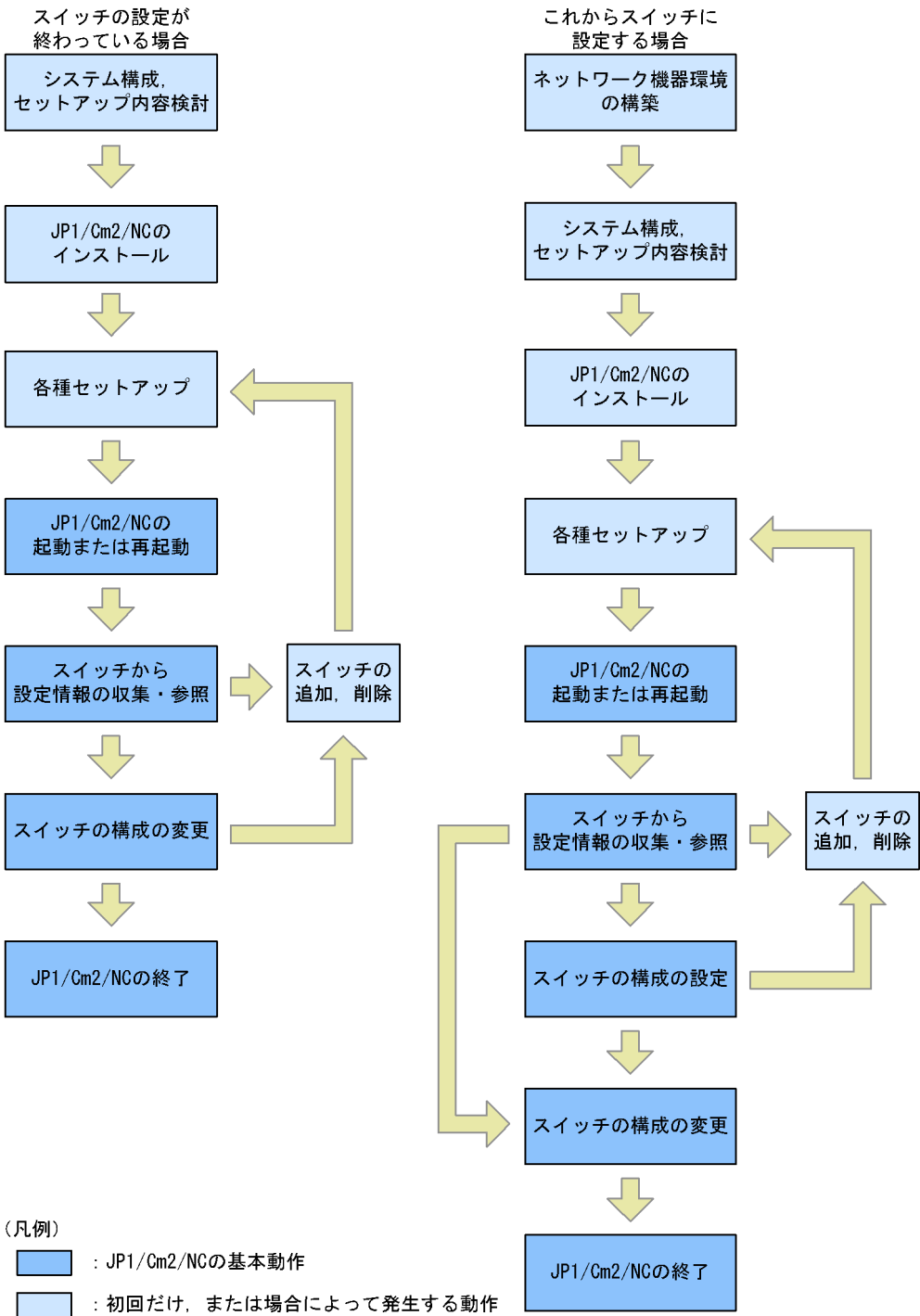
1.6 JP1/Cm2/NC を取り入れた運用の流れ

JP1/Cm2/NC を導入するタイミングは次の 2 種類が考えられます。

- すでにスイッチの設定が終わっている環境の場合
VLAN, SLB などが、すでにスイッチへ設定され、運用を開始している環境の場合、構築されている VLAN, SLB などの構成情報を管理したり、設定されている構成を変更したりするために JP1/Cm2/NC を使用します。
- これからスイッチに設定する環境の場合
新規にスイッチを追加するなど、これからスイッチを設定する環境の場合、JP1/Cm2/NC で、スイッチに VLAN, SLB などの設定をしてからネットワークの運用を開始します。

それぞれの運用の流れを次の図に示します。

図 1-10 JP1/Cm2/NC を取り入れた運用の流れ



1. ネットワーク機器の環境を構築する。

1. JP1/Cm2/NC の概要

JP1/Cm2/NC をインストールする前に、ネットワーク機器の物理環境を構築します。
すでに構築してある場合は、JP1/Cm2/NC をインストールします。

2. JP1/Cm2/NC のシステム構成、およびセットアップ内容を検討する。

JP1/Cm2/NC のシステム構成については、「1.5 JP1/Cm2/NC のシステム構成例」を参照してください。

また、JP1/Cm2/NC の各プログラムをインストールしたあと、運用に必要なセットアップをします。セットアップには、JP1/Cm2/NC - View でログインするユーザー名や、VLAN 管理ドメイン名など、ユーザーが検討して設定する項目があります。あらかじめセットアップの内容を確認し、定義内容を検討しておく、スムーズにセットアップできます。セットアップの内容については、「3.3 セットアップ」を参照してください。

3. JP1/Cm2/NC をインストールする。

JP1/Cm2/NC の各プログラムをインストールします。インストール、セットアップに必要な作業の流れについては、「3.1 インストールとセットアップの流れ」を参照してください。インストール方法については、「3.2.1 インストール」を参照してください。

4. 各種セットアップをする。

JP1/Cm2/NC をインストールしたあと、コマンドを使用したり、定義ファイルの内容を定義したりして、運用に必要なセットアップをします。また、すでに JP1/Cm2/NC を運用している場合で、管理するスイッチを追加・削除したときも、定義ファイルの設定を変更する必要があります。コマンドの使用方法や定義ファイルの定義方法については、「4. セットアップ関連コマンド」、「5. 定義ファイル」を参照してください。また、定義ファイルを定義する際に、文字に制限がある場合があります。入力文字の制限値については、「付録 D.1 文字の制限」を参照してください。

5. JP1/Cm2/NC を起動、または再起動する。

セットアップ終了後、JP1/Cm2/NC の各プログラムを起動します。JP1/Cm2/NC の運用中に各プログラムの定義ファイルを変更した場合も、対応するプログラムを再起動する必要があります。

JP1/Cm2/NC - Manager、JP1/Cm2/NC - Adaptor は、サービスから起動します。

JP1/Cm2/NC - View は、スタートメニューから起動します。JP1/Cm2/NC の起動方法については、マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 運用・操作ガイド」を参照してください。

6. スwitchの構成情報を参照、設定、または変更する。

JP1/Cm2/NC - View を起動すると、現時点のネットワークの状態が取得・表示されます。JP1/Cm2/NC を起動した目的に応じて、スイッチの構成情報を参照、設定、または変更します。

JP1/Cm2/NC - View の操作手順、および画面の詳細については、マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 運用・操作ガイド」の各章を参照してください。

7. 必要に応じてスイッチを追加，削除する。
ネットワーク機器の環境を変更した場合は，必要な定義ファイルを変更して，セットアップし直します。
8. JP1/Cm2/NC を終了する。
JP1/Cm2/NC の終了方法については，マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 運用・操作ガイド」を参照してください。

2

JP1/Cm2/NC の機能

JP1/Cm2/NC には、スイッチから VLAN や SLB などの設定情報を取得して一覧表示する機能と、スイッチに対して VLAN や SLB などを設定する機能があります。JP1/Cm2/NC では、スイッチから取得した情報は「ネットワーク構成情報」として管理します。このネットワーク構成情報を基に VLAN や SLB などを設定します。

この章では、まずネットワーク構成情報について説明したあと、JP1/Cm2/NC の機能について説明します。

2.1 ネットワーク構成情報

2.2 スwitchのネットワーク構成情報を表示する機能

2.3 スwitchにネットワーク構成情報を設定する機能

2.1 ネットワーク構成情報

JP1/Cm2/NC には、スイッチから VLAN や SLB などの設定情報を取得して一覧表示する機能と、スイッチに VLAN や SLB などを設定する機能があります。JP1/Cm2/NC では、スイッチから取得した情報は「ネットワーク構成情報」として管理します。「ネットワーク構成情報」とは、JP1/Cm2/NC でスイッチを管理するときに使われる概念で、JP1/Cm2/NC が管理しているネットワークに関する情報の総称です。このネットワーク構成情報を基に VLAN や SLB などを設定します。

ネットワーク構成情報は次の情報から成り立っています。

- VLAN 情報
VLAN の構成状況を管理するネットワーク構成情報です。
- SLB 情報
SLB の構成状況を管理するネットワーク構成情報です。
- アクセス制御情報
アクセス制御の設定を管理するネットワーク構成情報です。
- QoS 制御情報
QoS 制御の設定を管理するネットワーク構成情報です。
- アップリンクフェイルオーバー情報
アップリンクフェイルオーバーの設定を管理するネットワーク構成情報です。

各ネットワーク構成情報は、管理対象スイッチによって内容が異なります。各ネットワーク構成情報について、管理対象スイッチごとに内容を説明します。

2.1.1 VLAN 情報 (AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40)

AX2400S, AX3600S, BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 の VLAN 情報は、次の情報から成り立っています。

- VLAN 定義情報
- スイッチ構成情報
- VLAN 構成情報

それぞれの情報について次に説明します。

(1) VLAN 定義情報

VLAN 定義情報は、VLAN-ID と、JP1/Cm2/NC 内で使用する VLAN 名および VLAN のタイプの対応を定義した情報で、VLAN 管理ドメイン内でユニークな情報です。

VLAN 定義情報は、JP1/Cm2/NC の製品内で管理している情報です。スイッチには設定されません。

AX2400S, AX3600S, BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 の VLAN 定義情報の内容を次の表に示します。

表 2-1 AX2400S, AX3600S, BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 の VLAN 定義情報の内容

情報	説明
VLAN-ID	VLAN 番号
VLAN 名	JP1/Cm2/NC で使用する, 該当する VLAN-ID の VLAN 名称
タイプ	該当する VLAN のタイプ
備考	該当する VLAN についてのコメント

(2) スイッチ構成情報

VLAN 情報のスイッチ構成情報は, 実際にスイッチに設定されている情報で, スイッチ内の VLAN すべてに関係する構成情報です。

AX2400S, AX3600S, BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 のスイッチ構成情報の内容を次の表に示します。

表 2-2 AX2400S, AX3600S, BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 のスイッチ構成情報の内容

情報		説明
TPID		スイッチが与える VLAN-Tag の TPID
VLAN ごとの MAC アドレス		VLAN 単位で使用する MAC アドレスのプレフィックス
ポート情報	モード	ポートのモード
	TPID	ポートの TPID

(3) VLAN 構成情報

VLAN 構成情報は, 実際にスイッチに設定されている情報で, VLAN ごとに設定されている構成情報です。

AX2400S, AX3600S, BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 の VLAN 構成情報の内容を次の表に示します。

表 2-3 AX2400S , AX3600S , BS2000 , BS320 , BS500 , および BS500 1Gbx40 の VLAN 構成情報

情報		説明
ポート指定種別	アクセスポート	タグなしフレームを送受信するポート
	トランクポート	タグ付きフレームを送受信するポート
	ネイティブ指定トランクポート	ネイティブ指定トランクポート
状態		該当する VLAN の状態
VLAN 名		該当する VLAN の , スイッチに設定されている VLAN 名
VLAN インターフェース	IP アドレス	該当する VLAN の VLAN インターフェースで使用する IP アドレス
	MAC アドレス	VLAN ごとの MAC アドレスの使用有無

2.1.2 VLAN 情報 (AX5400S ・ AX7800S ・ GS3000 ・ GS4000)

AX5400S , AX7800S , GS3000 , および GS4000 の VLAN 情報は , 次の情報から成り立っています。

- VLAN 定義情報
- スイッチ構成情報
- VLAN 構成情報

それぞれの情報について次に説明します。

(1) VLAN 定義情報

VLAN 定義情報は , VLAN-ID と , JP1/Cm2/NC 内で使用する VLAN 名および VLAN のタイプの対応を定義した情報で , VLAN 管理ドメイン内でユニークな情報です。VLAN 定義情報は , JP1/Cm2/NC の製品内で管理している情報です。スイッチには設定されません。

AX5400S , AX7800S , GS3000 , および GS4000 の VLAN 定義情報の内容を次の表に示します。

表 2-4 AX5400S , AX7800S , GS3000 , および GS4000 の VLAN 定義情報の内容

情報	説明
VLAN-ID	VLAN 番号
VLAN 名	JP1/Cm2/NC で使用する , 該当する VLAN-ID の VLAN 名称
タイプ	該当する VLAN のタイプ
備考	該当する VLAN についてのコメント

(2) スイッチ構成情報

VLAN 情報のスイッチ構成情報は、実際にスイッチに設定されている情報で、スイッチ内の VLAN すべてに関する構成情報です。

AX5400S, AX7800S, GS3000, および GS4000 のスイッチ構成情報の内容を次の表に示します。

表 2-5 AX5400S, AX7800S, GS3000, および GS4000 のスイッチ構成情報の内容

情報	説明
TPID	スイッチが与える VLAN-Tag の TPID
VLAN ごとの MAC アドレス	VLAN 単位で使用する MAC アドレスのプレフィックス
未定義フレーム破棄ポート	未定義の VLAN-Tag を持つフレームを破棄するポート

(3) VLAN 構成情報

VLAN 構成情報は、実際にスイッチに設定されている情報で、VLAN ごとに設定されている構成情報です。

AX5400S, AX7800S, GS3000, および GS4000 の VLAN 構成情報の内容を次の表に示します。

表 2-6 AX5400S, AX7800S, GS3000, および GS4000 の VLAN 構成情報

情報	説明
Tagged ポート	タグ付きフレームを送受信するポート
Untagged ポート	タグなしフレームを送受信するポート
説明	該当する VLAN の説明
状態	該当する VLAN の状態
VLAN 名	該当する VLAN の Router インターフェースで使用する VLAN 名
IP アドレス	該当する VLAN の Router インターフェースで使用する IP アドレス
MAC アドレス	VLAN ごとの MAC アドレスの使用有無

注

マルチホームには対応していません。デュアルスタックには対応しています。

2.1.3 VLAN 情報 (BS1000)

BS1000 の VLAN 情報は、次の情報から成り立っています。

- VLAN 定義情報

- VLAN 構成情報

それぞれの情報について次に説明します。

(1) VLAN 定義情報

VLAN 定義情報は、VLAN-ID と、JP1/Cm2/NC 内で使用する VLAN 名および VLAN のタイプの対応を定義した情報で、VLAN 管理ドメイン内でユニークな情報です。VLAN 定義情報は、JP1/Cm2/NC の製品内で管理している情報です。スイッチには設定されません。

BS1000 の VLAN 定義情報の内容を次の表に示します。

表 2-7 BS1000 の VLAN 定義情報の内容

情報	説明
VLAN-ID	VLAN 番号
VLAN 名	JP1/Cm2/NC で使用する、該当する VLAN-ID の VLAN 名称
タイプ	該当する VLAN のタイプ
備考	該当する VLAN についてのコメント

(2) VLAN 構成情報

VLAN 構成情報は、実際にスイッチに設定されている情報で、VLAN ごとに設定されている構成情報です。

BS1000 の VLAN 構成情報の内容を次の表に示します。

表 2-8 BS1000 の VLAN 構成情報

情報	説明
Tagged ポート	タグ付きフレームを送受信するポート
Untagged ポート	タグなしフレームを送受信するポート
説明	該当する VLAN の説明
状態	該当する VLAN の状態

2.1.4 VLAN 情報 (Cisco Catalyst)

Cisco Catalyst の VLAN 情報は、次の情報から成り立っています。

- VLAN 定義情報
- スイッチ構成情報
- VLAN 構成情報

それぞれの情報について次に説明します。

(1) VLAN 定義情報

VLAN 定義情報は、VLAN-ID と、JP1/Cm2/NC 内で使用する VLAN 名および VLAN のタイプの対応を定義した情報で、VLAN 管理ドメイン内でユニークな情報です。VLAN 定義情報は、JP1/Cm2/NC の製品内で管理している情報です。スイッチには設定されません。

Cisco Catalyst の VLAN 定義情報の内容を次の表に示します。

表 2-9 Cisco Catalyst の VLAN 定義情報の内容

情報	説明
VLAN-ID	VLAN 番号
VLAN 名	JP1/Cm2/NC で使用する、該当する VLAN-ID の VLAN 名称
タイプ	該当する VLAN のタイプ
備考	該当する VLAN についてのコメント

(2) スイッチ構成情報

VLAN 情報のスイッチ構成情報は、実際にスイッチに設定されている情報で、スイッチ内の VLAN すべてに関係する構成情報です。

Cisco Catalyst のスイッチ構成情報の内容を次の表に示します。

表 2-10 Cisco Catalyst のスイッチ構成情報の内容

情報		説明
VTP 情報		VTP の情報
ポート情報	モード	ポートの VLAN メンバーシップモード
	カプセル化フォーマット	ポートのカプセル化フォーマット

注

JP1/Cm2/NC では表示だけサポートしています。

(3) VLAN 構成情報

VLAN 構成情報は、実際にスイッチに設定されている情報で、VLAN ごとに設定されている構成情報です。

Cisco Catalyst の VLAN 構成情報の内容を次の表に示します。

表 2-11 Cisco Catalyst の VLAN 構成情報

情報	説明
ポート指定種別	アクセスポート
	タグなしフレームを送受信するポート

情報		説明
	トランクポート	タグ付きフレームを送受信するポート
	ネイティブ指定トランクポート	ネイティブ指定トランクポート
	ブルーニング適用トランクポート	ブルーニング適用トランクポート
VLAN メディアタイプ		該当する VLAN のメディアタイプ
VLAN 名		該当する VLAN の、スイッチに設定されている VLAN 名
状態		該当する VLAN の状態
SAID		該当する VLAN の SAID (Security Association Identifier)
SVI	SVI 使用有無	SVI (Switched Virtual Interface) の使用有無
	IP アドレス	SVI に設定する IP アドレス

注

JP1/Cm2/NC ではイーサネットだけサポートしています。

2.1.5 SLB 情報 (BIG-IP)

BIG-IP の SLB 情報は、次の情報から成り立っています。

- 論理サーバ構成情報
- 物理サーバ構成情報
- バインド構成情報

それぞれの情報について次に説明します。

(1) 論理サーバ構成情報

論理サーバ構成情報は、実際にスイッチに設定されている情報で、スイッチ内の論理サーバごとに設定されている構成情報です。

BIG-IP の論理サーバ構成情報の内容を次の表に示します。

表 2-12 BIG-IP の論理サーバ構成情報の内容

情報		説明
論理サーバ名		論理サーバ名
状態		該当する論理サーバの状態
論理サーバポート	論理サーバポート名	該当する論理サーバに定義する TCP/UDP ポートの名称
	ポート番号	該当する論理サーバに定義する TCP/UDP ポートの番号
	状態	該当するポートの状態

(2) 物理サーバ構成情報

物理サーバ構成情報は、実際にスイッチに設定されている情報で、スイッチ内の物理サーバごとに設定されている構成情報です。

BIG-IP の物理サーバ構成情報の内容を次の表に示します。

表 2-13 BIG-IP の物理サーバ構成情報の内容

情報		説明
プール名		該当する物理サーバが所属するプール名
ロードバランシング方法		該当する物理サーバが所属するプールのロードバランシング方法
IP アドレス		該当する物理サーバの IP アドレス
物理サーバポート	ポート	該当する物理サーバに定義する TCP/UDP ポート
	ウェイト	クライアント要求を振り分けるときの重みづけ
	状態	該当するポートの状態

(3) バインド構成情報

バインド構成情報は、実際にスイッチに設定されている情報で、論理サーバとプールを対応づける構成情報です。

BIG-IP のバインド構成情報の内容を次の表に示します。

表 2-14 BIG-IP のバインド構成情報の内容

情報	説明
論理サーバ	プールをバインドする論理サーバ
論理サーバポート名	プールをバインドする論理サーバポート
バインド対象プール名	バインドするプール

2.1.6 SLB 情報 (HA8000-ie/Loadflowbal)

HA8000-ie/Loadflowbal の SLB 情報は、次の情報から成り立っています。

- スイッチ構成情報
- 論理サーバ構成情報
- 物理サーバ構成情報
- バインド構成情報

それぞれの情報について次に説明します。

(1) スイッチ構成情報

SLB 情報のスイッチ構成情報は、実際にスイッチに設定されている情報で、スイッチ内

の論理サーバおよび物理サーバすべてに関係する構成情報です。

HA8000-ie/Loadflowbal のスイッチ構成情報の内容を次の表に示します。

表 2-15 HA8000-ie/Loadflowbal のスイッチ構成情報の内容

情報		説明
ロードバランシング方法		ロードバランシングの方法
ポートプロファイル	ポート	論理サーバポートおよび物理サーバポートで使用するポートの定義
	タイプ	該当するポートのタイプ (TCP/UDP)

(2) 論理サーバ構成情報

論理サーバ構成情報は、実際にスイッチに設定されている情報で、スイッチ内の論理サーバごとに設定されている構成情報です。

HA8000-ie/Loadflowbal の論理サーバ構成情報の内容を次の表に示します。

表 2-16 HA8000-ie/Loadflowbal の論理サーバ構成情報の内容

情報		説明
論理サーバ名		論理サーバ名
IP アドレス		該当する論理サーバの IP アドレス
ロードバランシング方法		該当する論理サーバのロードバランシング方法
論理サーバポート	ポート	該当する論理サーバに定義する TCP/UDP ポート
	状態	該当するポートの状態

(3) 物理サーバ構成情報

物理サーバ構成情報は、実際にスイッチに設定されている情報で、スイッチ内の物理サーバごとに設定されている構成情報です。

HA8000-ie/Loadflowbal の物理サーバ構成情報の内容を次の表に示します。

表 2-17 HA8000-ie/Loadflowbal の物理サーバ構成情報の内容

情報		説明
物理サーバ名		物理サーバ名
IP アドレス		該当する物理サーバの IP アドレス
ウェイト		クライアント要求を振り分けるときの重みづけ
物理サーバポート	ポート	該当する物理サーバに定義する TCP/UDP ポート
	状態	該当するポートの状態

(4) バインド構成情報

バインド構成情報は、実際にスイッチに設定されている情報で、論理サーバと物理サーバを対応づける構成情報です。

HA8000-ie/Loadflowbal のバインド構成情報の内容を次の表に示します。

表 2-18 HA8000-ie/Loadflowbal のバインド構成情報の内容

情報	説明
論理サーバ名	物理サーバをバインドする論理サーバ
論理サーバポート	物理サーバをバインドする論理サーバポート
物理サーバ名	バインドする物理サーバ
物理サーバポート	バインドする物理サーバポート

2.1.7 SLB 情報 (STM)

STM の SLB 情報は、次の情報から成り立っています。

- 会社情報
- ゾーン構成情報
- グループ構成情報
- 物理サーバ構成情報
- バインド構成情報

それぞれの情報について次に説明します。

(1) 会社情報

会社情報は、スイッチに登録されている会社の情報です。

JP1/Cm2/NC では、会社情報について表示だけサポートしています。

会社情報の内容を次の表に示します。

表 2-19 会社情報の内容

情報	説明
会社名	会社名

(2) ゾーン構成情報

ゾーン構成情報は、実際にスイッチに設定されている情報で、スイッチ内のゾーンごとに設定されている構成情報です。

JP1/Cm2/NC では、ゾーン構成情報について表示だけサポートしています。

ゾーン構成情報の内容を次の表に示します。

表 2-20 ゾーン構成情報の内容

情報	説明
ゾーン名	ゾーン名
Sticky	該当するゾーンの「Sticky」の使用有無
Full Notice IP	該当するゾーンで「Full Notice IP」に設定されている IP アドレス
Accept ポリシー	ユーザーからのドメイン参照要求に対するアクセス制御の情報
POP グループポリシー	該当するゾーンの POP グループポリシー情報
ロードバランシング方法	該当するゾーンに設定されているロードバランシング方法

(3) グループ構成情報

グループ構成情報は、実際にスイッチに設定されている情報で、スイッチ内のグループごとに設定されている構成情報です。

JP1/Cm2/NC では、グループ構成情報について表示だけサポートしています。

グループ構成情報の内容を次の表に示します。

表 2-21 グループ構成情報の内容

情報	説明
グループ名	グループ名
P/S タイプ	該当するグループの動作モード
グループタイプ	該当するグループの種別
POP 名	該当するグループが POP グループのとき、その POP 名
論理 IP アドレス	該当するグループが VIP グループのとき、その論理 IP アドレス

(4) 物理サーバ構成情報

物理サーバ構成情報は、実際にスイッチに設定されている情報で、スイッチ内の物理サーバごとに設定されている構成情報です。

STM の物理サーバ構成情報の内容を次の表に示します。

表 2-22 STM の物理サーバ構成情報の内容

情報	説明
物理サーバ名	物理サーバ名
P/S タイプ	該当する物理サーバのタイプ (Primary/Secondary)

情報	説明
IP アドレス	該当する物理サーバの IP アドレス

(5) バインド構成情報

バインド構成情報は、実際にスイッチに設定されている情報で、ゾーンにグループまたは物理サーバを対応づける構成情報です。

STM のバインド構成情報の内容を次の表に示します。

表 2-23 STM のバインド構成情報の内容

情報	説明
ゾーン名	グループまたは物理サーバをバインドするゾーン
グループ名	バインドするグループ
物理サーバ名	バインドする物理サーバ

2.1.8 アクセス制御情報 (AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40)

(1) アクセス制御リスト情報

アクセス制御リスト情報は、実際にスイッチに設定されている情報で、アクセス制御を行うためのフィルター条件を定義します。

AX2400S, AX3600S, BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 のアクセス制御リスト情報の内容を次の表に示します。

表 2-24 AX2400S, AX3600S, BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 のアクセス制御リスト情報の内容

情報		説明
MAC フィルター	フィルター名	該当する MAC フィルターのフィルター名
	説明	該当する MAC フィルターの説明
	フィルター条件	該当する MAC フィルターのフィルター条件
IPv4 アドレス フィルター	フィルター名	該当する IPv4 アドレスフィルターのフィルター名
	説明	該当する IPv4 アドレスフィルターの説明
	フィルター条件	該当する IPv4 アドレスフィルターのフィルター条件
IPv4 パケット フィルター	フィルター名	該当する IPv4 パケットフィルターのフィルター名
	説明	該当する IPv4 パケットフィルターの説明
	フィルター条件	該当する IPv4 パケットフィルターのフィルター条件

情報		説明
IPv6 フィルター	フィルター名	該当する IPv6 フィルターのフィルター名
	説明	該当する IPv6 フィルターの説明
	フィルター条件	該当する IPv6 フィルターのフィルター条件

(2) アクセス制御情報

アクセス制御情報は、実際にスイッチに設定されている情報で、スイッチ内のインターフェース（物理ポートまたは VLAN インターフェース）ごとに適用されるフィルター情報です。

AX2400S, AX3600S, BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 のアクセス制御情報の内容を次の表に示します。

表 2-25 AX2400S, AX3600S, BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 のアクセス制御情報の内容

情報		説明
ポート	MAC フィルター	該当するポートに適用する MAC フィルター
	IPv4 フィルター	該当するポートに適用する IPv4 アドレスフィルターまたは IPv4 パケットフィルター
	IPv6 フィルター	該当するポートに適用する IPv6 フィルター
VLAN インターフェース	MAC フィルター	該当する VLAN インターフェースに適用する MAC フィルター
	IPv4 フィルター	該当する VLAN インターフェースに適用する IPv4 アドレスフィルターまたは IPv4 パケットフィルター

(3) スイッチ構成情報

スイッチ構成情報は、実際にスイッチに設定されている、スイッチ内のすべてのフロー情報に関係する構成情報です。

AX2400S, AX3600S, BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 のスイッチ構成情報の内容を次の表に示します。

表 2-26 AX2400S, AX3600S, BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 のスイッチ構成情報の内容

情報	説明
フロー検出モード	フローを検出するモード

2.1.9 アクセス制御情報（BS1000）

（１）アクセス制御情報

アクセス制御情報は、実際にスイッチに設定されている情報で、スイッチ内のポートごとに設定されている構成情報です。

BS1000 のアクセス制御情報の内容を次の表に示します。

表 2-27 BS1000 のアクセス制御情報の内容

情報		説明
ポート		アクセス制御を実施するポート
状態		該当するポートへのアクセス制御の有効 / 無効
フィルター条件	優先番号	フィルター条件の優先番号
	動作	フィルター条件に一致したときの動作
	フィルター条件	フィルターを掛ける条件

なお、BS1000 の設定では、アクセス制御情報で設定した情報を、さらにスイッチ構成情報で制御しています。

BS1000 のスイッチ構成情報の内容を次に示します。

（２）スイッチ構成情報

スイッチ構成情報は、実際にスイッチに設定されている、スイッチ内のすべてのフロー情報に関係する構成情報です。アクセス制御の有効 / 無効を制御します。

なお、BS1000 のスイッチ構成情報は、QoS 制御の有効 / 無効についても同様に制御します。スイッチ構成情報は、アクセス制御および QoS 制御で共通の情報です。

BS1000 のスイッチ構成情報の内容を次の表に示します。

表 2-28 BS1000 のスイッチ構成情報の内容

情報	説明
フロー制御	アクセス制御情報および QoS 制御情報の定義の有効 / 無効

2.1.10 QoS 制御情報（BS1000）

（１）QoS 制御情報

QoS 制御情報は、実際にスイッチに設定されている情報で、スイッチ内のポートごとに設定されている構成情報です。

BS1000 の QoS 制御情報の内容を次の表に示します。

表 2-29 BS1000 の QoS 制御情報の内容

情報		説明
ポート		QoS 制御を実施するポート
状態		該当するポートへの QoS 制御の有効 / 無効
優先条件	QoS 番号	該当する優先条件の QoS 番号
	VLAN ID	優先度を割り当てる VLAN ID
	優先度	VLAN ID の優先度

なお、BS1000 の設定では、アクセス制御情報で設定した情報を、さらにスイッチ構成情報で制御しています。

BS1000 のスイッチ構成情報の内容を次に示します。

(2) スイッチ構成情報

スイッチ構成情報は、実際にスイッチに設定されている、スイッチ内のすべてのフロー情報に関係する構成情報です。

なお、BS1000 のスイッチ構成情報は、アクセス制御の有効 / 無効についても同様に制御します。スイッチ構成情報は、アクセス制御および QoS 制御で共通の情報です。

BS1000 のスイッチ構成情報の内容を次の表に示します。

表 2-30 BS1000 のスイッチ構成情報の内容

情報	説明
フロー制御	アクセス制御情報および QoS 制御情報の定義の有効 / 無効

2.1.11 アップリンクフェイルオーバー情報 (BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40)

(1) スイッチ構成情報

スイッチ構成情報は、実際にスイッチに設定されている情報で、アップリンクフェイルオーバー拡張機能やスイッチ内のポートごとに設定する構成情報です。

BS2000、BS320、BS500、および BS500 1Gbx40 のスイッチ構成情報の内容を次の表に示します。

表 2-31 BS2000、BS320、BS500、および BS500 1Gbx40 のスイッチ構成情報の内容

情報	説明
拡張機能	拡張機能の使用状況および拡張機能の種別

情報	説明
uplink-failover	外部装置接続用ポートにおけるアップリンクフェイルオーバー機能の使用状況，およびアップリンクフェイルオーバーグループ
uplink-failover-group	サーバ接続ポートにおけるアップリンクフェイルオーバーグループ

2.1.12 スイッチの設定情報とネットワーク構成情報との対応

JP1/Cm2/NC の管理対象スイッチがサポートしている設定情報と，ネットワーク構成情報との対応を，管理対象スイッチごとに説明します。

(1) AX2400S および AX3600S

JP1/Cm2/NC で設定をサポートしている AX2400S および AX3600S の情報と，ネットワーク構成情報の対応を次の表に示します。

表 2-32 AX2400S および AX3600S の設定情報とネットワーク構成情報の対応

機能分類	スイッチの設定情報		対応するネットワーク構成情報		
VLAN	VLAN 情報（ポート VLAN）	状態	VLAN 情報	VLAN 構成情報	状態
		VLAN 名			VLAN 名
		VLAN ごとの MAC アドレス使用有無			VLAN インターフェースの「MAC アドレス」
	ポート設定関連	ポートの種類（モード）		スイッチ構成情報	ポート情報の「モード」
		ポートごとの TPID			ポート情報の「TPID」
		アクセスポートの設定		VLAN 構成情報	ポート指定種別
		トランクポートの設定			
	VLAN インターフェース	VLAN インターフェースの設定			VLAN インターフェースの「IP アドレス」
		IPv4 アドレスの設定			
		IPv6 アドレスの設定			
	VLAN TPID 情報			スイッチ構成情報	TPID

2. JP1/Cm2/NC の機能

機能分類	スイッチの設定情報		対応するネットワーク構成情報	
	VLAN ごとの MAC アドレス情報			VLAN ごとの MAC アドレス
アクセス制御	フロー検出モード		アクセス制御情報	フロー検出モード
	アクセス制御情報	MAC フィルターの設定		MAC フィルターの「フィルター名」
		MAC フィルターの適用		ポートの「MAC フィルター」
				VLAN インターフェースの「MAC フィルター」
		IPv4 フィルターの設定		IPv4 アドレスフィルターの「フィルター名」
				IPv4 パケットフィルターの「フィルター名」
		IPv4 アドレスフィルターの設定		IPv4 アドレスフィルターの「フィルター名」
		IPv4 パケットフィルターの設定		IPv4 パケットフィルターの「フィルター名」
		IPv4 フィルターの適用		ポートの「IPv4 フィルター」
				VLAN インターフェースの「IPv4 フィルター」
		IPv6 フィルターの設定		IPv6 フィルターの「フィルター名」
		IPv6 フィルターの適用		ポートの「IPv6 フィルター」
	アクセスを許可する条件の設定		アクセス制御リスト情報	MAC フィルターの「フィルター条件」
				IPv4 アドレスフィルターの「フィルター条件」
				IPv4 パケットフィルターの「フィルター条件」

機能分類	スイッチの設定情報		対応するネットワーク構成情報				
		アクセスを拒否する条件の設定			IPv6 フィルターの「フィルター条件」		
					MAC フィルターの「フィルター条件」		
					IPv4 アドレスフィルターの「フィルター条件」		
					IPv4 パケットフィルターの「フィルター条件」		
		アクセスリストの補足説明			IPv6 フィルターの「フィルター条件」		
					MAC フィルターの「説明」		
					IPv4 アドレスフィルターの「説明」		
					IPv4 パケットフィルターの「説明」		
					IPv6 フィルターの「説明」		

(2) BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40

JP1/Cm2/NC で設定をサポートしている BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 の情報と、ネットワーク構成情報の対応を次の表に示します。

表 2-33 BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 の設定情報とネットワーク構成情報の対応

機能分類	スイッチの設定情報		対応するネットワーク構成情報		
VLAN	VLAN 情報 (ポート VLAN)	状態	VLAN 情報	VLAN 構成情報	状態
		VLAN 名			VLAN 名
		VLAN ごとの MAC アドレス使用有無			VLAN インターフェースの「MAC アドレス」
	ポート設定関連	ポートの種類 (モード)		スイッチ構成情報	ポート情報の「モード」

2. JP1/Cm2/NC の機能

機能分類	スイッチの設定情報		対応するネットワーク構成情報		
		ポートごとの TPID	VLAN 構成情報	ポート情報の「TPID」	
		アクセスポートの設定		ポート指定種別	
		トランクポートの設定			
	VLAN インターフェース	VLAN インターフェースの設定		VLAN インターフェースの「IP アドレス」	
		IPv4 アドレスの設定			
		IPv6 アドレスの設定			
	VLAN TPID 情報		スイッチ構成情報	TPID	
	VLAN ごとの MAC アドレス情報			VLAN ごとの MAC アドレス	
アクセス制御	フロー検出モード		アクセス制御情報	スイッチ構成情報	フロー検出モード
アクセス制御情報	MAC フィルターの設定			アクセス制御リスト情報	MAC フィルターの「フィルター名」
	MAC フィルターの適用			アクセス制御情報	ポートの「MAC フィルター」
					VLAN インターフェースの「MAC フィルター」
	IPv4 フィルターの設定			アクセス制御リスト情報	IPv4 アドレスフィルターの「フィルター名」
					IPv4 パケットフィルターの「フィルター名」
	IPv4 アドレスフィルターの設定				IPv4 アドレスフィルターの「フィルター名」
	IPv4 パケットフィルターの設定				IPv4 パケットフィルターの「フィルター名」
	IPv4 フィルターの適用			アクセス制御情報	ポートの「IPv4 フィルター」
		VLAN インターフェースの「IPv4 フィルター」			

機能分類	スイッチの設定情報		対応するネットワーク構成情報		
		IPv6 フィルターの設定		アクセス制御リスト情報	IPv6 フィルターの「フィルター名」
		IPv6 フィルターの適用		アクセス制御情報	ポートの「IPv6 フィルター」
		アクセスを許可する条件の設定		アクセス制御リスト情報	MAC フィルターの「フィルター条件」
					IPv4 アドレスフィルターの「フィルター条件」
					IPv4 パケットフィルターの「フィルター条件」
					IPv6 フィルターの「フィルター条件」
		アクセスを拒否する条件の設定			MAC フィルターの「フィルター条件」
					IPv4 アドレスフィルターの「フィルター条件」
					IPv4 パケットフィルターの「フィルター条件」
					IPv6 フィルターの「フィルター条件」
		アクセスリストの補足説明			MAC フィルターの「説明」
					IPv4 アドレスフィルターの「説明」
					IPv4 パケットフィルターの「説明」
					IPv6 フィルターの「説明」
アップリンクフェイルオーバー	拡張機能の設定		アップリンクフェイルオーバー情報	拡張機能	
	外部装置接続用ポートの設定			uplink-failover	
	サーバ接続ポートのアップリンクフェイルオーバーグループの設定			uplink-failover-group	

(3) AX5400S, AX7800S, GS3000, および GS4000

JP1/Cm2/NC で設定をサポートしている AX5400S, AX7800S, GS3000, および GS4000 の情報と、ネットワーク構成情報の対応を次の表に示します。

表 2-34 AX5400S, AX7800S, GS3000, および GS4000 の設定情報とネットワーク構成情報の対応

機能分類	スイッチの設定情報		対応するネットワーク構成情報		
VLAN	VLAN 情報 (ポート VLAN)	Tagged ポート	VLAN 情報	VLAN 構成情報	Tagged ポート
		Untagged ポート			Untagged ポート
		該当する VLAN の説明			説明
		状態 (全フレームの送受信開始 / 停止指定)			状態
		VLAN 名			VLAN 名
		VLAN ごとの MAC アドレス 使用有無			MAC アドレス
	IP ルーティング情報				IP アドレス
	VLAN TPID 情報			スイッチ 構成情報	TPID
	VLAN ごとの MAC アドレス情報				VLAN ごとの MAC アドレス
	未定義フレーム廃棄機能情報				未定義フレーム破 棄ポート

(4) BS1000

JP1/Cm2/NC で設定をサポートしている BS1000 の設定情報と、ネットワーク構成情報の対応を次の表に示します。

表 2-35 BS1000 の設定情報とネットワーク構成情報の対応

機能分類	スイッチの設定情報		対応するネットワーク構成情報		
VLAN	VLAN 情報 (ポート VLAN)	Tagged ポート	VLAN 情報	VLAN 構成情報	Tagged ポート
		Untagged ポート			Untagged ポート
		該当する VLAN の説明			説明

機能分類	スイッチの設定情報		対応するネットワーク構成情報		
		状態（全フレームの送受信開始 / 停止指定）			状態
アクセス制御および QoS 制御	フロー制御情報		アクセス制御情報および QoS 制御情報共通	スイッチ構成情報	フロー制御
	アクセス制御情報	アクセス制御ポート	アクセス制御情報		ポート
					状態
		フィルター条件			フィルター条件
	QoS 制御情報	QoS 制御ポート	QoS 制御情報		ポート
					状態
		優先条件			優先条件

（5）Cisco Catalyst

JP1/Cm2/NC で設定または表示をサポートしている Cisco Catalyst の設定情報と、ネットワーク構成情報の対応を次の表に示します。

表 2-36 Cisco Catalyst の設定情報とネットワーク構成情報の対応

機能分類	スイッチの設定情報		対応するネットワーク構成情報		
VLAN	VTP 設定関連		VLAN 情報	スイッチ構成情報	VTP 情報
	VLAN 情報（ポート VLAN）	VLAN メディアタイプ		VLAN 構成情報	VLAN メディアタイプ
		VLAN 名			VLAN 名
		VLAN の状態			状態
		SAID			SAID
		SVI			SVI
	ポート設定関連	VLAN ポートメンバーシップモード	スイッチ構成情報		ポート情報の「モード」
		カプセル化フォーマット			ポート情報の「カプセル化フォーマット」
		トランクポートの設定	VLAN 構成情報		ポート指定種別
		アクセスポートの設定			

注

JP1/Cm2/NC では表示だけサポートしています。

(6) BIG-IP

JP1/Cm2/NC で設定をサポートしている BIG-IP の設定情報と、ネットワーク構成情報の対応を次の表に示します。

表 2-37 BIG-IP の設定情報とネットワーク構成情報の対応

機能分類	スイッチの設定情報		対応するネットワーク構成情報		
SLB	プール	プールの追加, 変更, および削除	SLB 情報	物理サーバ構成情報	プール名
		ロードバランシング方法			ロードバランシング方法
		プールに対するノードの追加, 変更, および削除			<ul style="list-style-type: none"> 物理サーバ (IP アドレス) 物理サーバポート
	論理サーバ	論理サーバの追加, 変更, および削除	論理サーバ構成情報	論理サーバ構成情報	<ul style="list-style-type: none"> 論理サーバ (IP アドレス) 論理サーバポート
		論理サーバおよび論理アドレスの有効化および無効化			論理サーバの「状態」
		論理サーバで使用するプールの指定			バインド構成情報

(7) HA8000-ie/Loadflowbal

JP1/Cm2/NC で設定をサポートしている HA8000-ie/Loadflowbal の設定情報と、ネットワーク構成情報の対応を次の表に示します。

表 2-38 HA8000-ie/Loadflowbal の設定情報とネットワーク構成情報の対応

機能分類	スイッチの設定情報		対応するネットワーク構成情報		
SLB	グローバル情報	ロードバランシング方法	SLB 情報	スイッチ構成情報	ロードバランシング方法
		ポートプロファイル (ただし「タイプ」だけ)			ポートプロファイル
	論理サーバ	論理サーバの追加・変更・削除	論理サーバ構成情報	論理サーバ構成情報	論理サーバ名
					IP アドレス

機能分類	スイッチの設定情報		対応するネットワーク構成情報		
		ロードバランシング方法			ロードバランシング方法
		バインド		バインド構成情報	
	論理サーバポート	ポートの追加・変更・削除		論理サーバ構成情報	論理サーバポートの「ポート」
		状態			論理サーバポートの「状態」
	物理サーバ	物理サーバの追加・変更・削除		物理サーバ構成情報	物理サーバ名
		ウェイト			IP アドレス
	物理サーバポート	ポートの追加・変更・削除			ウェイト
		状態			物理サーバポートの「ポート」
			物理サーバポートの「状態」		

(8) STM

JP1/Cm2/NC で設定または表示をサポートしている STM の設定情報と、ネットワーク構成情報の対応を次の表に示します。

表 2-39 STM の設定情報とネットワーク構成情報の対応

機能分類	スイッチの設定情報			対応するネットワーク構成情報		
SLB	Company 情報	会社名の追加・変更・削除		SLB 情報	会社情報	会社名
	コンポーネント管理	ゾーン情報	ゾーンの追加・変更・削除		ゾーン構成情報	ゾーン名
			Sticky			Sticky
			Full Notice IP			Full Notice IP
			Accept ポリシー			Accept ポリシー
			POP グループポリシー			POP グループポリシー
			ロードバランシング方法			ロードバランシング方法

2. JP1/Cm2/NC の機能

機能分類	スイッチの設定情報			対応するネットワーク構成情報		
		グループ情報	グループの追加・変更・削除		グループ構成情報	グループ名
			P/S タイプ			P/S タイプ
			グループタイプ			グループタイプ
			POP 名			POP 名
			VIP			論理 IP アドレス
		物理サーバ	物理サーバの追加・変更・削除		物理サーバ構成情報	物理サーバ名
			P/S タイプ			P/S タイプ
			IP アドレス			IP アドレス
	ゾーン管理	include/exclude			バインド構成情報	ゾーン名
						グループ名
						物理サーバ名

注

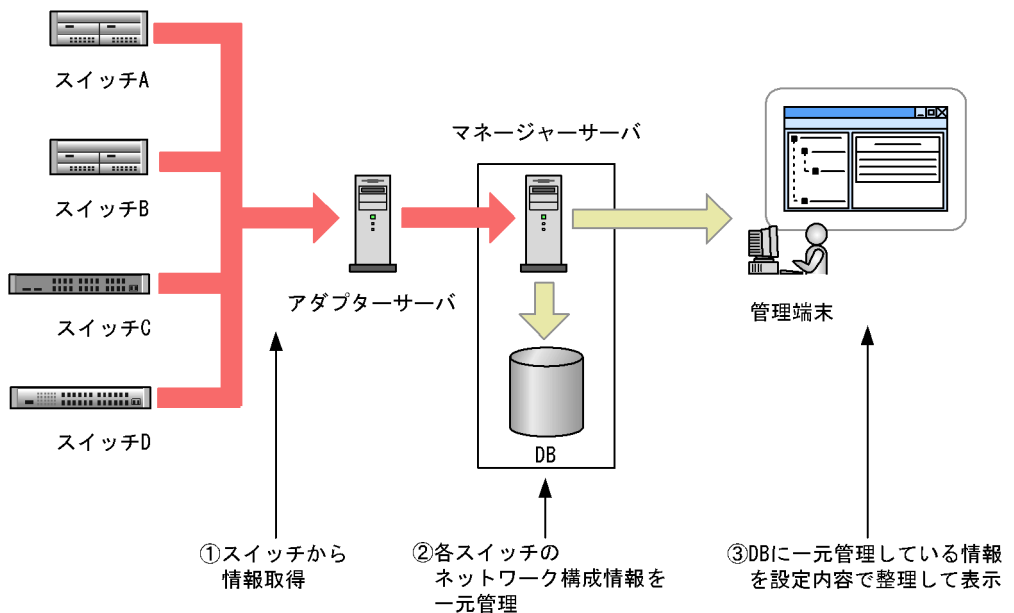
JP1/Cm2/NC では表示だけサポートしています。

2.2 スイッチのネットワーク構成情報を表示する機能

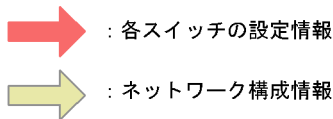
JP1/Cm2/NC を使用すると、JP1/Cm2/NC・Manager によってネットワークに散在するスイッチの設定情報を取得し、画面に一覧で表示できます。各スイッチから取得した情報は、ネットワーク構成情報として JP1/Cm2/NC・Manager の DB に一括管理されます。ネットワーク構成情報については「2.1 ネットワーク構成情報」を参照してください。

JP1/Cm2/NC を使用してスイッチのネットワーク構成情報を表示する流れを次の図に示します。

図 2-1 JP1/Cm2/NC を使用してスイッチのネットワーク構成情報を表示する流れ



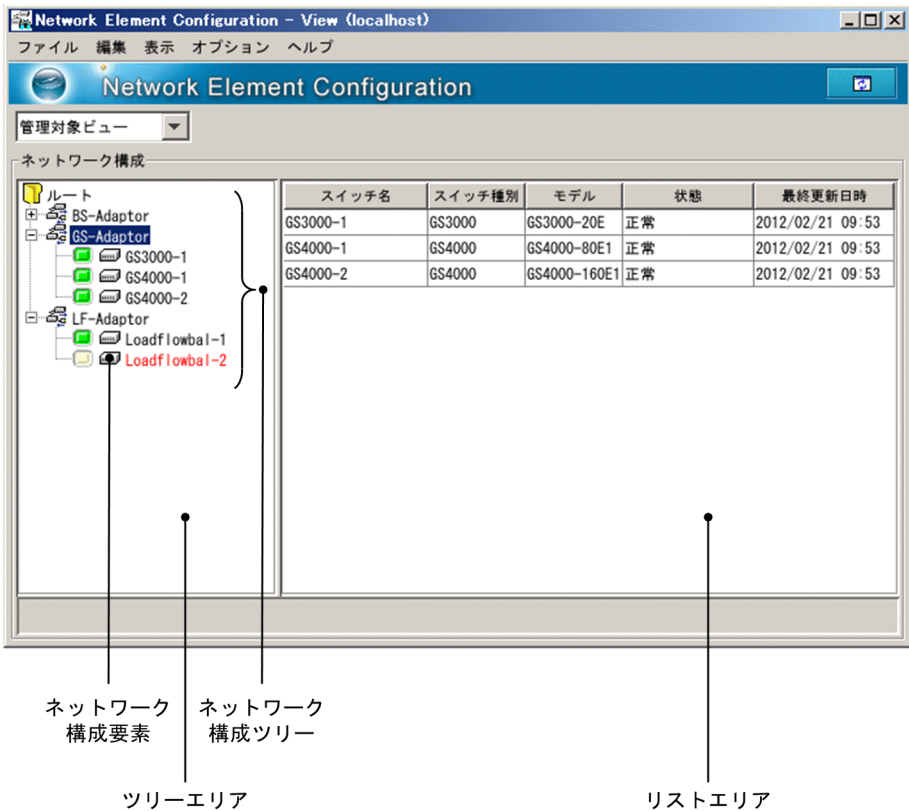
(凡例)



スイッチから取得した設定情報は、JP1/Cm2/NC・View のメイン画面である [Network Element Configuration・View] ウィンドウから確認できます。

[Network Element Configuration・View] ウィンドウの表示イメージを次に示します。

図 2-2 [Network Element Configuration - View] ウィンドウ



[Network Element Configuration - View] ウィンドウは「ツリーエリア」と「リストエリア」から構成されています。ツリーエリアには、スイッチの構成状況がツリー形式で表示されます。これを「ネットワーク構成ツリー」といいます。ネットワーク構成ツリーを構成している要素を「ネットワーク構成要素」といいます。リストエリアには、ネットワーク構成ツリーの構成要素を選択したときに、その構成要素の詳細情報が表示されます。

スイッチのネットワーク構成情報を JP1/Cm2/NC - View から変更すると、ネットワーク構成ツリーは、自動的に最新のネットワーク構成情報を反映して再構成されます。

[Network Element Configuration - View] ウィンドウは、用途に合わせてビューが分かれています。[Network Element Configuration - View] ウィンドウで表示できるビューと表示用途について次の表に示します。

表 2-40 [Network Element Configuration - View] ウィンドウで表示できるビューと表示用途

表示ビュー名	用途
管理対象ビュー	JP1/Cm2/NC が管理しているスイッチを参照するために使用します。

表示ビュー名	用途
VLAN ビュー	JP1/Cm2/NC が管理しているスイッチの VLAN の設定状況を参照するために使用します。
SLB ビュー	JP1/Cm2/NC が管理しているスイッチの SLB の設定状況を参照するために使用します。
スイッチ構成ビュー	JP1/Cm2/NC が管理しているスイッチの VLAN および SLB 以外（アクセス制御，QoS 制御またはアップリンクフェイルオーバー）の設定状況を参照するために使用します。

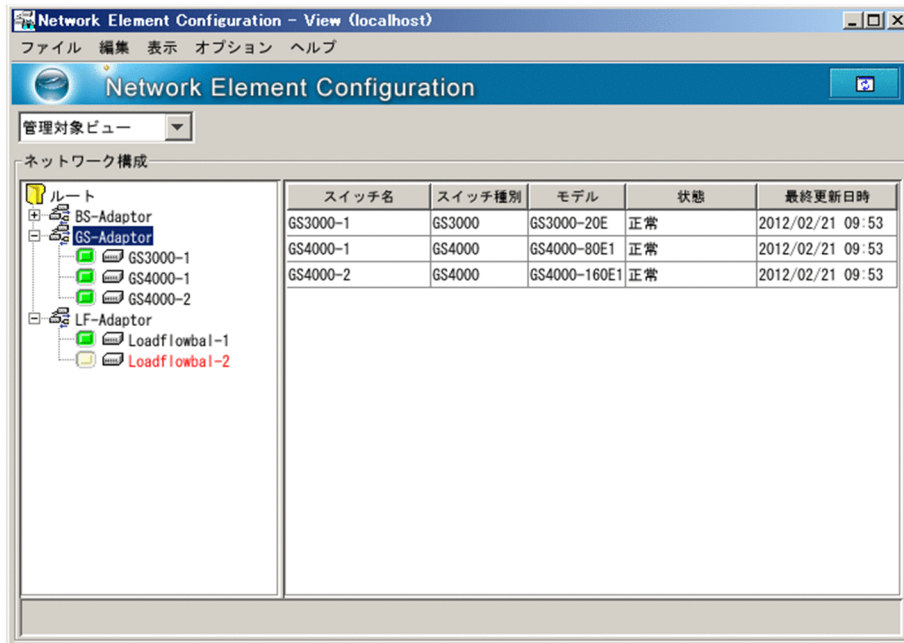
各ビューの概要について次に説明します。

2.2.1 管理対象ビュー

管理対象ビューは、JP1/Cm2/NC が管理しているスイッチの物理的な構成を表示できます。ログイン時に管理対象ビューを指定すると、管理対象ビューに関する最新情報が JP1/Cm2/NC - Manager の DB から取得され、一覧表示されます。また、別のビューから表示を切り替えることもできます。別のビューから表示を切り替えるときにも、管理対象ビューに関する最新情報が JP1/Cm2/NC - Manager の DB から取得されます。

管理対象ビューを次の図に示します。

図 2-3 管理対象ビュー

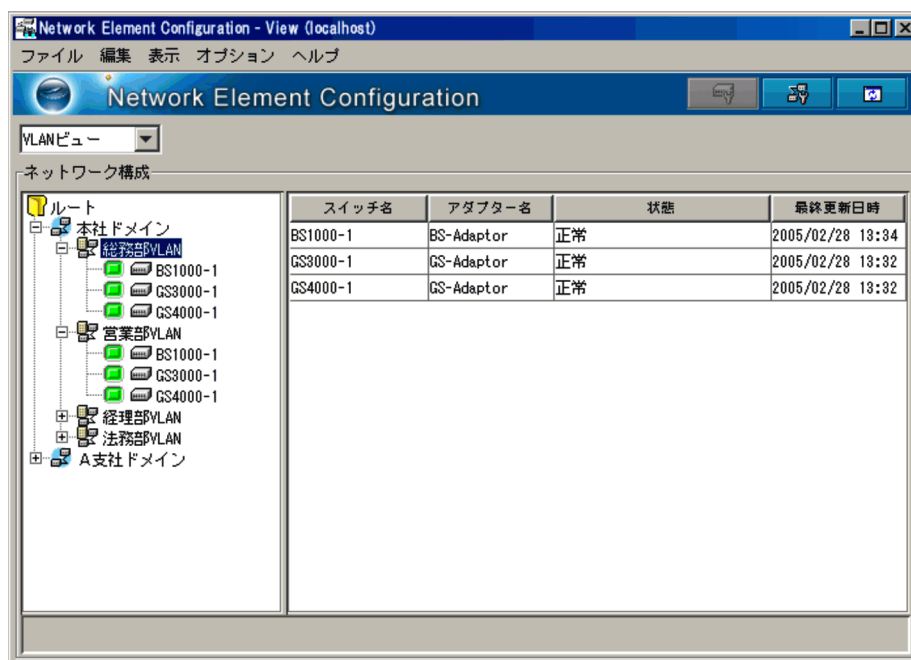


2.2.2 VLAN ビュー

VLAN ビューでは、VLAN を構成しているスイッチを VLAN の設定内容によって整理して表示できます。ログイン時に VLAN ビューを指定すると、VLAN ビューに関する最新情報が DB から取得され、一覧表示されます。また、別のビューから表示を切り替えることもできます。別のビューから表示を切り替えるときにも、VLAN ビューに関する最新情報が DB から取得されます。

VLAN ビューを次の図に示します。

図 2-4 VLAN ビュー

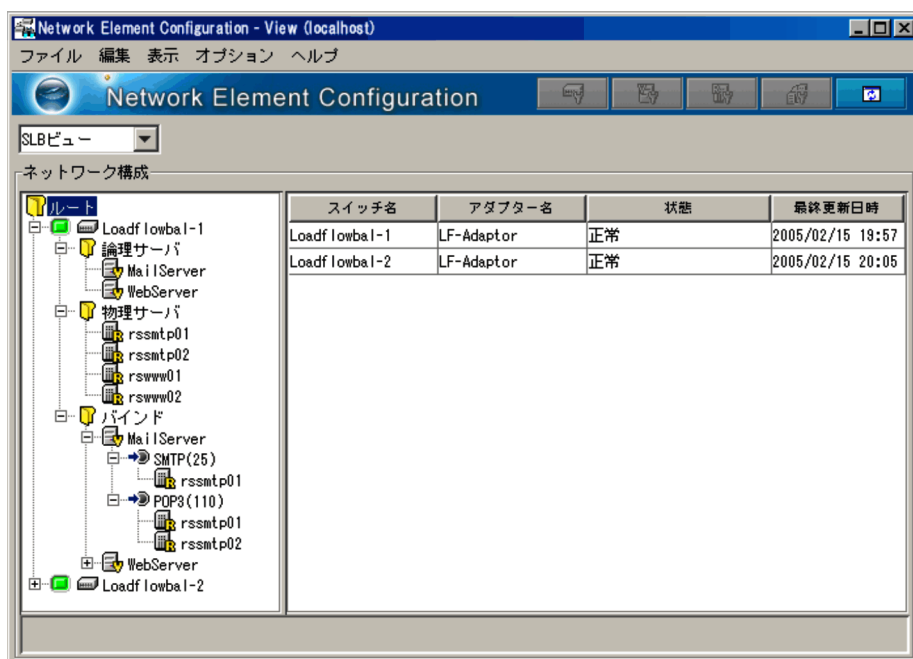


2.2.3 SLB ビュー

SLB ビューでは、SLB が設定されているスイッチを SLB の設定内容によって整理して表示できます。ログイン時に SLB ビューを指定すると、SLB ビューに関する最新情報が DB から取得され、一覧表示されます。また、別のビューから表示を切り替えることもできます。別のビューから表示を切り替えるときにも、SLB ビューに関する最新情報が DB から取得されます。

SLB ビューを次の図に示します。

図 2-5 SLB ビュー



2.2.4 スイッチ構成ビュー

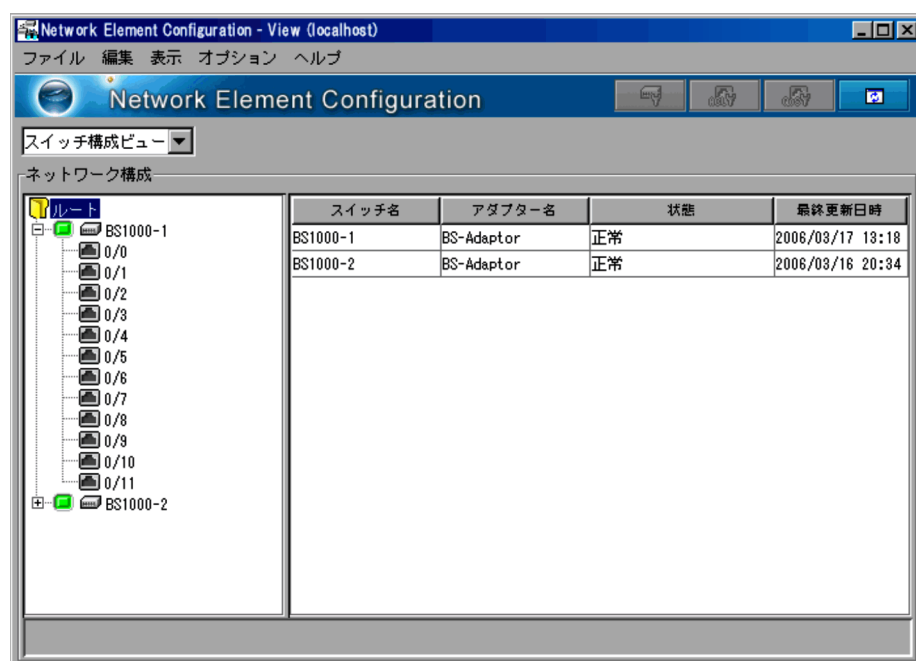
スイッチ構成ビューでは、JP1/Cm2/NC が管理しているスイッチの次の設定状況を表示できます。

- アクセス制御
- QoS 制御
- アップリンクフェイルオーバー

ログイン時にスイッチ構成ビューを指定すると、スイッチ構成ビューに関する最新情報が DB から取得され、一覧表示されます。また、別のビューから表示を切り替えることもできます。別のビューから表示を切り替えるときにも、スイッチ構成ビューに関する最新情報が DB から取得されます。

スイッチ構成ビューを次の図に示します。

図 2-6 スイッチ構成ビュー

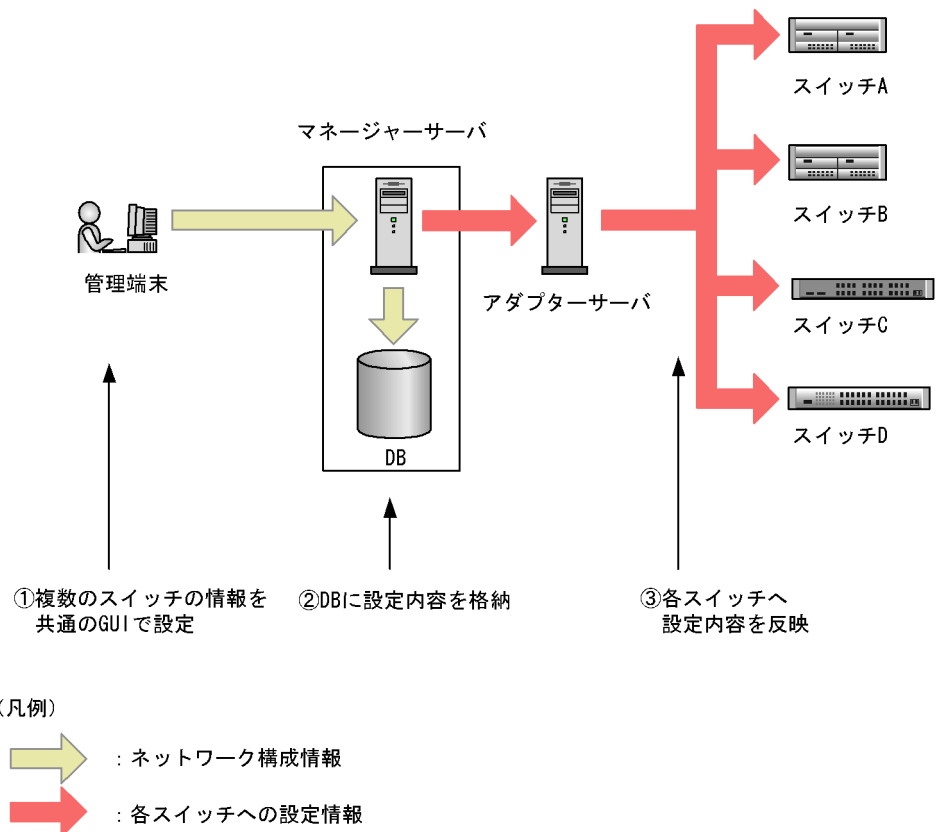


2.3 スイッチにネットワーク構成情報を設定する機能

JP1/Cm2/NC では、JP1/Cm2/NC - View の GUI を使用して、複数のスイッチにネットワーク構成情報を設定できます。設定内容は、ネットワーク構成情報単位に定義します。ネットワーク構成情報については「2.1 ネットワーク構成情報」を参照してください。JP1/Cm2/NC - View の GUI を用いて設定した内容は、いったん JP1/Cm2/NC - Manager の DB に格納され、そこから各スイッチに反映されます。

JP1/Cm2/NC を使用してスイッチにネットワーク構成情報を設定する流れを次の図に示します。

図 2-7 JP1/Cm2/NC を使用してスイッチにネットワーク構成情報を設定する流れ



スイッチのネットワーク構成情報の設定は、JP1/Cm2/NC - View のメイン画面である [Network Element Configuration - View] ウィンドウから操作します。[Network Element Configuration - View] ウィンドウは、用途によってビューが分かれています。[Network Element Configuration - View] ウィンドウで表示できるビューと設定用途に

ついて次の表に示します。

表 2-41 [Network Element Configuration - View] ウィンドウで表示できるビューと設定用途

表示ビュー名	用途
管理対象ビュー	-
VLAN ビュー	JP1/Cm2/NC が管理しているスイッチに VLAN を設定するために使用します。
SLB ビュー	JP1/Cm2/NC が管理しているスイッチに SLB を設定するために使用します。
スイッチ構成ビュー	JP1/Cm2/NC が管理しているスイッチに VLAN および SLB 以外（アクセス制御，QoS 制御またはアップリンクフェイルオーバー）を設定するために使用します。

（凡例）

- ：設定では使用しない。

各ビューは，ログイン時に選択できます。また，別のビューから表示を切り替えることもできます。目的のビューを表示したあと，各ビューからスイッチのネットワーク構成情報を設定します。

3

インストールとセットアップ

この章では、JP1/Cm2/NC の各プログラムのインストールとセットアップについて説明します。初めに、作業の全体像を示す流れを示したあと、インストールとアンインストールについて説明しています。インストール手順とアンインストール手順は、各プログラム共通です。そのあと、スイッチ側の設定、プログラムごとのセットアップ、および各マシン共通の設定について説明します。

バックアップとリカバリーについてもこの章で説明しています。運用中のバックアップを検討されている場合は参照してください。

また、システムの運用に関する注意事項も説明しています。JP1/Cm2/NC をインストールおよびセットアップする前に内容を確認し、運用中のトラブルを回避するようにしてください。

3.1 インストールとセットアップの流れ

3.2 インストールとアンインストール

3.3 セットアップ

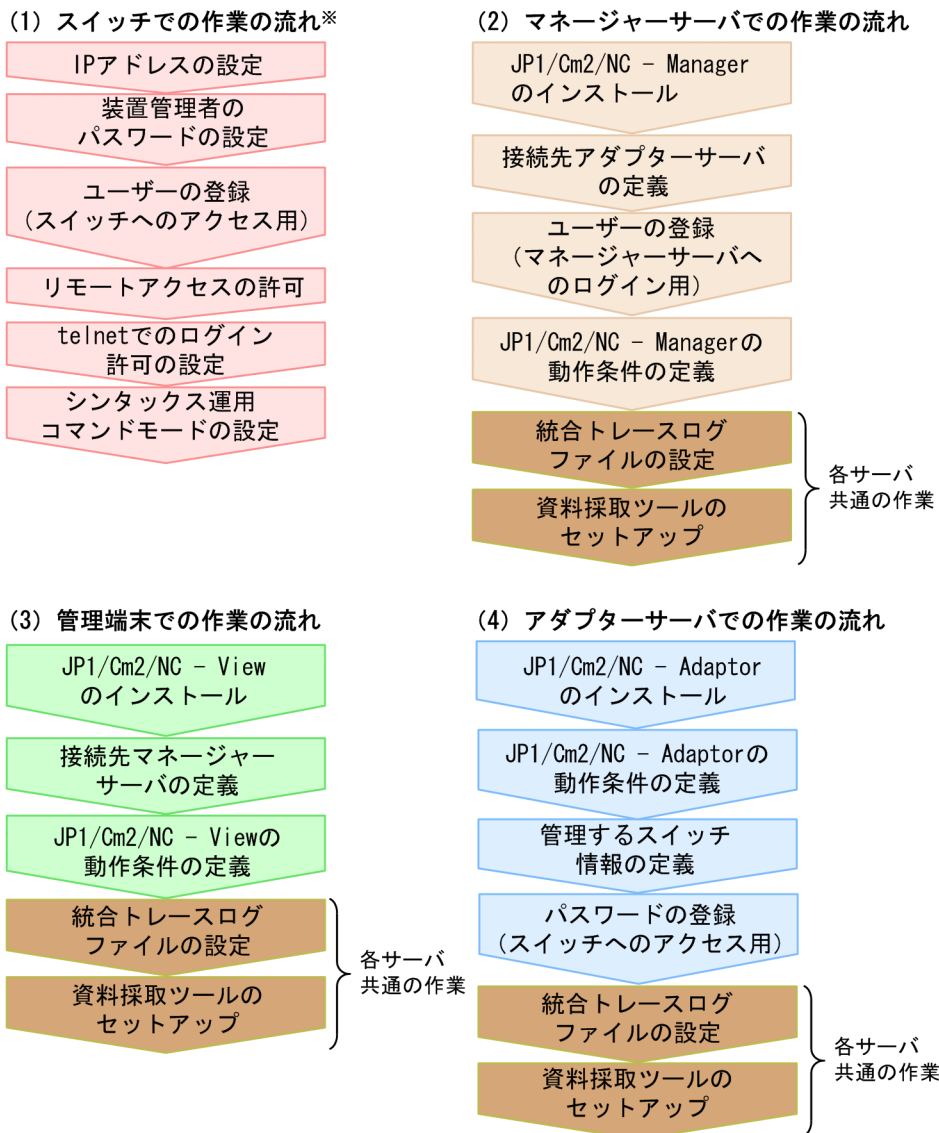
3.4 バックアップとリカバリー

3.5 運用上の注意事項

3.1 インストールとセットアップの流れ

JP1/Cm2/NC のインストールとセットアップの作業の流れを、次の図に示します。インストールとセットアップの順序は、図中に示す番号の順番に沿って作業してください。

図 3-1 JP1/Cm2/NC のインストールとセットアップの作業の流れ



注※ スイッチによっては、不要な工程もあります。

アダプターサーバの作業は、次の JP1/Cm2/NC - Adaptor に対する作業になります。

- JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager

インストールとセットアップの作業項目とマニュアルの参照先を、次の表に示します。
なお、次に示す作業については、各サーバで共通です。そのため、このマニュアルではまとめて記載しています。

- 統合トレースログファイルの設定
- 資料採取ツールのセットアップ

表 3-1 インストールとセットアップの作業項目とマニュアルの参照先

図 3-1 と の対応	作業項目	参照先
(1)	スイッチでの作業	「3.3.1 (1) IP アドレスの設定」
		「3.3.1 (2) 装置管理者のパスワードの設定」
		「3.3.1 (3) ユーザーの登録 (スイッチへのアクセス用)」
		「3.3.1 (4) リモートアクセスの許可」
		「3.3.1 (5) telnet でのログイン許可の設定」
		「3.3.1 (6) シンタックス運用コマンドモードの設定」
(2)	マネージャーサーバでの作業	「3.2.1 インストール」
		「3.3.2 (1) 接続先アダプターサーバの定義」
		「3.3.2 (2) ユーザーの登録 (マネージャーサーバへのログイン用)」
		「3.3.2 (3) JP1/Cm2/NC - Manager の動作条件の定義」
(3)	管理端末での作業	「3.2.1 インストール」
		「3.3.3 (1) 接続先マネージャーサーバの定義」
		「3.3.3 (2) JP1/Cm2/NC - View の動作条件の定義」
(4)	アダプターサーバでの作業	「3.2.1 インストール」
		「3.3.4 (1) JP1/Cm2/NC - Adaptor の動作条件の定義」

3. インストールとセットアップ

図 3-1 と の対応	作業項目	参照先
		「3.3.4 (2) JP1/Cm2/NC - Adaptor で管理する スイッチの情報の定義」
		「3.3.4 (3) JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワー ドの登録 (スイッチへのアクセス用)」
共通	各サーバ共通の作業	「3.3.5 統合トレースログファイルの設定」
		「3.3.6 資料採取ツールのセットアップ」

注

スイッチによって設定項目が異なります。各スイッチに必要な設定項目を次の表に示します。
必要な項目だけ参照してください。

表 3-2 各スイッチに必要な設定項目

設定項目	対象スイッチ						
	AX2400S・ AX3600S・ BS2000・ BS320・ BS500・ BS500 1Gbx40	AX5400S・ AX7800S・ GS3000・ GS4000	BIG-IP	BS1000	Cisco Catalys t	HA8000-ie/ Loadflowba l	ST M
IP アドレスの設 定							-
装置管理者のバ スワードの設定			-	-	-		-
ユーザーの登録 (スイッチへのア クセス用)							
リモートアクセ スの許可			-	-	-	-	-
telnet でのログ イン許可の設定			-	-	-		-
シンタックス運 用コマンドモー ドの設定	-		-	-	-	-	-

(凡例)

: 設定が必要である。

- : 該当しない。

3.2 インストールとアンインストール

この節では、JP1/Cm2/NC のプログラムのインストール手順とアンインストール手順について説明します。インストール手順とアンインストール手順は、各プログラム共通です。

なお、JP1/Cm2/NC の各プログラムをインストールすると、統合トレース機能 (HNTRLib2) もインストールされます。

3.2.1 インストール

JP1/Cm2/NC のプログラムのインストール方法には、次の 2 種類があります。

- 提供媒体を使用してインストールする。
- JP1/NETM/DM を使用してリモートインストールする。

ここでは、提供媒体を使用してインストールする手順について説明します。JP1/NETM/DM を使用したリモートインストールについては、マニュアル「JP1/NETM/DM 運用ガイド 1(Windows(R) 用)」を参照してください。なお、リモートインストールに失敗した場合は、提供媒体を使用してインストールし直してください。

(1) インストールの手順

提供媒体を使用してインストールする手順を次に示します。

1. インストールするマシンに、Administrators 権限のユーザーでログオンする。
2. すべてのプログラムを終了する。
3. 提供媒体を CD-ROM ドライブに入れる。
起動したインストーラーの指示に従ってインストールを進めてください。
4. OS の再起動を要求された場合は、再起動する。

(2) バージョンアップについて

JP1/Cm2/NC - Manager をバージョンアップした場合、「4. セットアップ関連コマンド」の「ncmconvertldb」を実行して、以前のバージョンの DB 形式をバージョンアップ後の DB 形式に変換する必要があります。なお、定義ファイルは、以前のバージョンの定義ファイルが引き継がれます。

JP1/Cm2/NC - View または JP1/Cm2/NC - Adaptor をバージョンアップした場合、以前のバージョンの定義ファイルが引き継がれます。

3.2.2 アンインストール

JP1/Cm2/NC のプログラムのアンインストール手順を次に示します。

3. インストールとセットアップ

1. アンインストールするマシンに、Administrators 権限を持ったユーザーでログオンする。
2. アンインストールするプログラムを終了する。
JP1/Cm2/NC の各プログラムの終了方法については、マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 運用・操作ガイド」を参照してください。
3. Windows 2000 の場合、[コントロールパネル] - [アプリケーションの追加と削除] を選択する。Windows XP, Windows Server 2003, または Windows Server 2003 R2 の場合、[コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] を選択する。
Windows Vista, Windows 7, Windows Server 2008, および Windows Server 2008 R2 の場合、[コントロールパネル] - [プログラムと機能] を選択する。
[アプリケーションの追加と削除] ダイアログボックス、または [プログラムの追加と削除] ダイアログボックスが表示されます。
4. アンインストールするプログラムを選択し、[変更と削除] ボタンをクリックする。
指示に従ってアンインストールを進めると、プログラムがアンインストールされます。
なお、ログファイルやトレースファイルなど、JP1/Cm2/NC をインストールしたあとに、プログラムやユーザーによって作成・変更されたファイルは、アンインストール時に JP1/Cm2/NC によって削除されません (JP1/Cm2/NC がインストールしたファイルだけを削除します)。そのため、インストールフォルダの下に残ったファイルは、必要に応じてバックアップを取ったあと、手動で削除してください。

3.3 セットアップ

この節では、各プログラムに必要なセットアップについて説明します。なお、この節で説明する定義ファイルはテキストエディターで編集してください。

参考

セットアップが終了して運用を始める前に、各プログラムの定義ファイル格納フォルダ（conf フォルダ）以下にある定義ファイルをバックアップしてください。定義ファイルはエクスプローラやコマンドで、別媒体にコピーしておいてください。各プログラムのフォルダ構成については、「付録 A ファイルおよびディレクトリ一覧」を参照してください。

3.3.1 スイッチでの設定

JP1/Cm2/NC でスイッチの構成情報を定義・変更するにあたって、スイッチの設定をここで説明する設定にしておかないと、対応する JP1/Cm2/NC - Adaptor が正常に動作しません。JP1/Cm2/NC - Adaptor を正常に動作させるために、スイッチの設定を実施してください。なお、設定項目はスイッチによって異なります。各スイッチに必要な設定項目については、「表 3-2 各スイッチに必要な設定項目」を参照して確認してください。

設定方法の詳細については、スイッチのソフトウェアマニュアルを参照してください。

(1) IP アドレスの設定

リモートからスイッチを操作できるように、操作対象スイッチ（BS1000 の場合は SVP）に IP アドレスを設定してください。なお、JP1/Cm2/NC が使用できる IP アドレスは IPv4 形式のアドレスだけです。

AX2400S, AX3600S, BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 の場合
ip address コマンドで IP アドレスを設定します。

AX5400S, AX7800S, GS3000 および GS4000 の場合
ip コマンドで IP アドレスを設定します。

BIG-IP の場合
任意の方法で IP アドレスを設定します。

BS1000 の場合
SVP コマンドモードの LC コマンドで IP アドレスを設定します。

Cisco Catalyst の場合
setup コマンドまたは ip address コマンドで IP アドレスを設定します。

HA8000-ie/Loadflowbal の場合

3. インストールとセットアップ

ip コマンドで IP アドレスを設定します。

(2) 装置管理者のパスワードの設定

装置管理者のパスワードを必ず設定してください。

スイッチの初期導入時には、装置管理者のパスワードが設定されていません。装置管理者のパスワードが設定されていない場合、セキュリティ上の危険を避けるため、対応する JP1/Cm2/NC - Adaptor は動作しません。

AX2400S, AX3600S, BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 の場合
password コマンドを使用して装置管理者のパスワードを設定します。

AX5400S, AX7800S, GS3000 および GS4000 の場合
enable コマンドを使用して装置管理者のパスワードを設定します。

HA8000-ie/Loadflowbal の場合
enable super-user-password コマンドを使用して装置管理者のパスワードを設定します。

(3) ユーザーの登録 (スイッチへのアクセス用)

JP1/Cm2/NC で使用するためのユーザー ID を登録してください。新しく作成したアカウントを使用して JP1/Cm2/NC - Adaptor を運用してください。

スイッチの初期導入時には、デフォルトでログインユーザー名が設定されていなかったり、設定されていてもパスワードが設定されていなかったりする場合があります。セキュリティ上の危険を避けるため、そのようなスイッチに対し JP1/Cm2/NC - Adaptor は動作しません。

パスワード付きのユーザー ID が設定されている場合でも、JP1/Cm2/NC 用に別途ユーザー ID を登録することをお勧めします。

なお、ここで登録したユーザー ID を、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) の telnet_id に指定してください。

AX2400S, AX3600S, BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 の場合
adduser コマンドを使用してユーザーを登録します。

AX5400S, AX7800S, GS3000 および GS4000 の場合
adduser コマンドを使用してユーザーを登録します。

BIG-IP の場合

任意の方法でユーザーを登録します。このとき、権限レベルは Administrator 権限で登録してください。

BS1000 の場合

SVP コマンドモードの SO コマンドを使用してユーザーを登録します。このとき、

権限レベルは ad 権限以上で登録してください。

Cisco Catalyst の場合

username コマンドを使用してユーザーを登録します。このとき、権限レベルはレベル 15 (イネーブル EXEC モードでアクセスできるレベル) で登録してください。

HA8000-ie/Loadflowbal の場合

username コマンドを使用してユーザーを登録します。

STM の場合

ESTM Admin を使用してユーザーを登録します。このとき、権限レベルは Root 権限で登録してください。

(4) リモートアクセスの許可

アダプターサーバからスイッチへリモートアクセスできるように、アダプターサーバの IP アドレスを登録し、アクセス許可を設定してください。

AX2400S, AX3600S, BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 の場合

デフォルトでは、telnet プロトコルであればすべてのリモート端末からスイッチへログインできるようになっています。スイッチの初期設定を変更していない場合は、設定する必要はありません。

リモートアクセスの許可を設定する場合の手順は次のとおりです。

1. transport input コマンドで telnet プロトコルでのリモートアクセスを許可する。
2. ip access-group コマンドでアダプターサーバの IP アドレスを登録する。

AX5400S, AX7800S, GS3000 および GS4000 の場合

デフォルトでは、リモート運用端末からスイッチへのログインはできないようになっています。

system remote_access コマンドでアダプターサーバの IP アドレスを登録し、リモートアクセスの許可を設定します。

(5) telnet でのログイン許可の設定

telnet でスイッチにログインできるように設定してください。

JP1/Cm2/NC - Adaptor は、telnet を使ってスイッチと通信します。telnet でスイッチに接続できない状態になっている場合、JP1/Cm2/NC - Adaptor は動作しません。

AX2400S, AX3600S, BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 の場合

デフォルトでは telnet で接続 (通信) できないようになっています。

line vty コマンドを使用して telnet で接続できるように設定します。

AX5400S, AX7800S, GS3000 および GS4000 の場合

デフォルトでは telnet で接続 (通信) できるようになっています。スイッチの初期設定を変更していない場合は、設定する必要はありません。

3. インストールとセットアップ

telnet でのログイン許可を設定する場合は、system telnet enable コマンドを使用します。

HA8000-ie/Loadflowbal の場合

デフォルトでは telnet で接続（通信）できるようになっています。スイッチの初期設定を変更していない場合は、設定する必要はありません。

telnet でのログイン許可を設定する場合は、telnet-server コマンドを使用します。

(6) シンタックス運用コマンドモードの設定

スイッチのコマンドモードを新シンタックス運用コマンドモードに設定してください。

JP1/Cm2/NC - Adaptor はスイッチが新シンタックス運用コマンドモードのときだけ動作します。旧シンタックス運用コマンドモードの場合、JP1/Cm2/NC - Adaptor は動作しません。

新シンタックス運用コマンドモードにするには、set terminal command-literal new-format コマンドを実行します。なお、デフォルトでは、スイッチは新シンタックス運用コマンドモードになっています。

3.3.2 JP1/Cm2/NC - Manager のセットアップ

JP1/Cm2/NC - Manager のセットアップには、次に示す作業があります。

- 接続先アダプターサーバの定義
- ユーザーの登録
- JP1/Cm2/NC - Manager の動作条件の定義

接続先アダプターサーバの定義とユーザーの登録は、必ず実施してください。JP1/Cm2/NC - Manager の動作条件の定義は、以降の説明を参考にして、必要に応じて作業を実施してください。

(1) 接続先アダプターサーバの定義

マネージャーサーバと接続するアダプターサーバを定義します。ここで定義したアダプターサーバだけに接続できます。定義内容の詳細については、「5.2.1 JP1/Cm2/NC - Manager 接続アダプター定義ファイル (ncmadpt.conf)」を参照してください。

(2) ユーザーの登録 (マネージャーサーバへのログイン用)

管理端末からマネージャーサーバにログインするためのユーザーを登録します。ncmuser コマンドを使用してユーザーを登録します。コマンドの詳細については、「4. セットアップ関連コマンド」の「ncmuser」を参照してください。

(3) JP1/Cm2/NC - Manager の動作条件の定義

マネージャーサーバのポート番号、デフォルトドメイン名、および共通メッセージログ

(Windows イベントログ) の出力指定などを、デフォルトから変更する場合に定義します。共通メッセージログは、JP1/Cm2/NC・Manager の運用中にトラブルが発生した場合に、採取して調査する必要があります。デフォルトでは、ログを出力しないようになっているため、ログを出力したい場合には、設定を変更する必要があります。定義内容の詳細については、「5.2.2 JP1/Cm2/NC・Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf)」を参照してください。

！ 注意事項

デフォルトドメイン名を変更したい場合は、必ず JP1/Cm2/NC・Manager サービスの初回起動前に JP1/Cm2/NC・Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf) を編集してください。一度 JP1/Cm2/NC・Manager サービスを起動すると、JP1/Cm2/NC・Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf) のデフォルトドメイン名を設定しても無効になります。

3.3.3 JP1/Cm2/NC - View のセットアップ

JP1/Cm2/NC・View のセットアップには、次に示す作業があります。

- 接続先マネージャーサーバの定義
- JP1/Cm2/NC・View の動作条件の定義

どちらの作業も任意の作業です。以降の説明を参考にして、必要に応じて作業を実施してください。

(1) 接続先マネージャーサーバの定義

管理端末の接続先となるマネージャーサーバのホスト名または IP アドレスとポート番号を定義します。ホスト名または IP アドレスを定義しておくで、JP1/Cm2/NC・View 起動時に表示される [ログイン] ダイアログボックスで、接続先のマネージャーサーバをプルダウンメニューから選択できるようになります。また、マネージャーサーバのポート番号をデフォルトから変更している場合は、定義する必要があります。定義内容の詳細については、「5.2.3 JP1/Cm2/NC・View 接続先定義ファイル (ncvdest.conf)」を参照してください。

(2) JP1/Cm2/NC - View の動作条件の定義

JavaVM のオプションを定義したり、共通メッセージログを出力するかどうかを定義したりします。共通メッセージログは、JP1/Cm2/NC・View の運用中にトラブルが発生した場合に、採取して調査する必要があります。デフォルトでは、ログを出力しないようになっているため、ログを出力したい場合には、設定を変更する必要があります。定義内容の詳細については、「5.2.4 JP1/Cm2/NC・View 動作条件定義ファイル (ncv.conf)」を参照してください。

3.3.4 JP1/Cm2/NC - Adaptor のセットアップ

JP1/Cm2/NC - Adaptor のセットアップには、次に示す作業があります。

- 動作条件の定義
- 管理するスイッチの情報の定義
- パスワードの登録

すべての作業を必ず実施してください。

(1) JP1/Cm2/NC - Adaptor の動作条件の定義

JP1/Cm2/NC - Adaptor 動作条件定義ファイル (nca.conf) に、アダプターサーバを識別するための名称、接続先となるマネージャーサーバのホスト名およびポート番号などを定義したり、共通メッセージログ (Windows イベントログ) の出力を指定したりします。共通メッセージログは、JP1/Cm2/NC - Adaptor の運用中にトラブルが発生した場合に、採取して調査する必要があります。デフォルトでは、ログを出力しないようになっているため、ログを出力したい場合には、設定を変更してください。

各 JP1/Cm2/NC - Adaptor に対応する動作条件定義ファイルの詳細について、参照先を次の表に示します。

表 3-3 動作条件定義ファイルの詳細参照先

使用する JP1/Cm2/NC - Adaptor	参照先
JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series	「5.2.5 JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series 動作条件定義ファイル (nca.conf)」
JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series	「5.2.7 JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series 動作条件定義ファイル (nca.conf)」
JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch	「5.2.9 JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch 動作条件定義ファイル (nca.conf)」
JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer	「5.2.11 JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer 動作条件定義ファイル (nca.conf)」
JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series	「5.2.13 JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series 動作条件定義ファイル (nca.conf)」
JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal	「5.2.15 JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal 動作条件定義ファイル (nca.conf)」
JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager	「5.2.17 JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager 動作条件定義ファイル (nca.conf)」

(2) JP1/Cm2/NC - Adaptor で管理するスイッチの情報の定義

JP1/Cm2/NC - Adaptor のスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に、JP1/Cm2/NC が管理するスイッチの情報を定義します。ここで定義した情報は、JP1/Cm2/NC - Adaptor がスイッチに接続するときに使用します。

各 JP1/Cm2/NC - Adaptor に対応するスイッチ定義ファイルの詳細について、参照先を次の表に示します。

表 3-4 スイッチ定義ファイルの詳細参照先

使用する JP1/Cm2/NC - Adaptor	参照先
JP1/Cm2/NC - Adaptor - for AX Series	「5.2.6 JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf)」
JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series	「5.2.8 JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf)」
JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch	「5.2.10 JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf)」
JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer	「5.2.12 JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf)」
JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series	「5.2.14 JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf)」
JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal	「5.2.16 JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf)」
JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager	「5.2.18 JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf)」

(3) JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワードの登録 (スイッチへのアクセス用)

JP1/Cm2/NC - Adaptor のスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチに対して、JP1/Cm2/NC - Adaptor がアクセスするときに使用するパスワードを登録します。

パスワードの設定には、JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンドを使用します。各 JP1/Cm2/NC - Adaptor に対応するパスワード設定用コマンドの詳細について、参照先を次の表に示します。

表 3-5 各 JP1/Cm2/NC - Adaptor に対応するパスワード設定用コマンドおよび詳細参照先

使用する JP1/Cm2/NC - Adaptor	パスワード設定用コマンド	参照先
JP1/Cm2/NC - Adaptor - for AX Series	neaaxpwd	「4. セットアップ関連コマンド」の「neaaxpwd」
JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series	ncabspwd	「4. セットアップ関連コマンド」の「ncabspwd」
JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch	ncacspwd	「4. セットアップ関連コマンド」の「ncacspwd」
JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer	ncabipwd	「4. セットアップ関連コマンド」の「ncabipwd」

3. インストールとセットアップ

使用する JP1/Cm2/NC - Adaptor	パスワード設定用コマンド	参照先
JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series	ncagspwd	「4. セットアップ関連コマンド」の「ncagspwd」
JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal	ncalfpwd	「4. セットアップ関連コマンド」の「ncalfpwd」
JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager	ncastpwd	「4. セットアップ関連コマンド」の「ncastpwd」

3.3.5 統合トレースログファイルの設定

JP1/Cm2/NC の各プログラムは、統合トレース機能（HNTRLib2）を使用してログをファイルに出力します。統合トレースログファイルのサイズや出力先などのデフォルト値を次の表に示します。JP1/Cm2/NC では、JP1/Cm2/NC だけを一つのマシンで使用する場合、ログファイルのサイズと数は特に変更する必要はありません。デフォルトのまま使用することをお勧めします。なお、出力先をユーザーの運用環境に合わせて変更したい場合は、hnr2util コマンドを実行してください。コマンドの詳細については、「4. セットアップ関連コマンド」の「hnr2util」を参照してください。

表 3-6 統合トレースログファイルのデフォルト値

項目	デフォルト値
ログファイルのサイズ	256 キロバイト
ログファイルの数	4
ログファイルの出力先	システムドライブ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool の下

3.3.6 資料採取ツールのセットアップ

資料採取ツールのセットアップについて説明します。JP1/Cm2/NC の各プログラムの使用中にトラブルが発生した場合、ログ情報などが必要になることがあります。

JP1/Cm2/NC では、トラブルの解決に必要な情報を一括して採取するための資料採取ツール（サンプルパッチファイル）を各プログラムで提供しています。ログ情報を採取したいプログラムに対応した資料採取ツールを使用すると、必要な資料を採取できます。

トラブル発生時に採取が必要な資料については、マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration トラブルシューティング」を参照してください。

（1）資料採取の準備

資料採取ツールは、JP1/Cm2/NC をインストールしたあと、別のフォルダにコピーして使用する必要があります。また、資料採取ツールの環境変数に設定されているパスを確認し、使用環境が異なる場合はパスを変更する必要があります。そのため、セットアップの時点で、トラブルの解決に必要な資料を採取できるように準備をしておいてくださ

い。

(2) 資料採取バッチファイルの設定

JP1/Cm2/NC の各プログラムは、トラブルの解決に必要な情報を採取するために、資料採取バッチファイルのサンプルを提供しています。資料採取バッチファイルを実行すると、統合トレースログファイル、hosts ファイル、services ファイル、ワトソン博士のログファイルなどを一括して採取します。資料採取バッチファイルを使用するための設定手順を次に示します。

1. 必要な資料採取バッチファイルのサンプルを、任意のフォルダにコピーする。
サンプルファイルのパスを次に示します。

JP1/Cm2/NC - Manager

JP1/Cm2/NC - Manager インストール先フォルダ ¥usertools¥ncmlog.bat
(32 ビット版 OS の場合)

JP1/Cm2/NC - Manager インストール先フォルダ
¥usertools¥ncmlog_x64.bat (64 ビット版 OS の場合)

JP1/Cm2/NC - View

JP1/Cm2/NC - View インストール先フォルダ ¥usertools¥ncvlog.bat (32
ビット版 OS の場合)

JP1/Cm2/NC - View インストール先フォルダ ¥usertools¥ncvlog_x64.bat
(64 ビット版 OS の場合)

JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series

JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX インストール先フォルダ
¥usertools¥ncaaxlog.bat

JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series

JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS インストール先フォルダ
¥usertools¥ncabslog.bat (32 ビット版 OS の場合)

JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS インストール先フォルダ
¥usertools¥ncabslog_x64.bat (64 ビット版 OS の場合)

JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch

JP1/Cm2/NC - Adaptor for CS インストール先フォルダ
¥usertools¥ncacslog.bat

JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer

JP1/Cm2/NC - Adaptor for BI インストール先フォルダ
¥usertools¥ncabilog.bat

JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series

JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS インストール先フォルダ
¥usertools¥ncagslog.bat

JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal

3. インストールとセットアップ

JP1/Cm2/NC - Adaptor for LF インストール先フォルダ

¥usertools¥ncalflog.bat

JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager

JP1/Cm2/NC - Adaptor for ST インストール先フォルダ

¥usertools¥ncastlog.bat

2. エディターなどを使用して、コピーしたバッチファイルを編集し、任意のファイル名に変更する。

バッチファイルには、次の表に示す値が環境変数のデフォルトとして設定されています。使用環境が異なる場合は変更してください。

表 3-7 資料採取バッチファイルの環境変数のデフォルト値

採取するログの種類	デフォルト値
JP1/Cm2/NC - Manager のログ	@set INST_DIR_NC_M=%SystemDrive%¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥manager
JP1/Cm2/NC - View のログ	@set INST_DIR_NC_V=%SystemDrive%¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥view
JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series のログ	@set INST_DIR_NC_A=%SystemDrive%¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorax
JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series のログ	@set INST_DIR_NC_A=%SystemDrive%¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorbs
JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch のログ	@set INST_DIR_NC_A=%SystemDrive%¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorcs
JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer のログ	@set INST_DIR_NC_A=%SystemDrive%¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorbi
JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series のログ	@set INST_DIR_NC_A=%SystemDrive%¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorgs
JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/ Loadflowbal のログ	@set INST_DIR_NC_A=%SystemDrive%¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorlf
JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager のログ	@set INST_DIR_NC_A=%SystemDrive%¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorst
HNTRLib2	@set INST_DIR_HNTRLIB2=%SystemDrive%¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2
ワトソン博士のログ	Windows 2000 の場合 @set LOG_DIR_DRWTSN=%ALLUSERSPROFILE%¥Documents¥DrWatson Windows XP , Windows Server 2003 , または Windows Server 2003 R2 の場合 @set LOG_DIR_DRWTSN=%ALLUSERSPROFILE%¥Application Data¥Microsoft¥DrWatson

注 Windows Vista, Windows 7, Windows Server 2008, および Windows Server 2008 R2 の場合, ワトソン博士のログは取得できません。

3. hosts ファイルまたは services ファイルを採取しない場合は, 次の行の行頭に「REM」を記述し, コメント行にする。

```
xcopy /C "%ETC_DIR%Hosts" "%sys_dir%" >> "%log_dir%¥NULL" 2>&1
xcopy /C "%ETC_DIR%Services" "%sys_dir%" >> "%log_dir%¥NULL" 2>&1
```

なお, ネットワークに関するトラブルの場合は, トラブル解析時に hosts ファイルまたは services ファイルが必要になることがあります。

また, トラブルが発生した場合にメモリーダンプおよびクラッシュダンプ (トラブル時のデバッグ情報を書き出したファイル) が必要となることがあります。トラブル発生時にこれらのダンプを採取する場合は, あらかじめメモリーダンプおよびクラッシュダンプが出力されるように, 次の設定をしてください。

(3) メモリーダンプおよびクラッシュダンプの設定

メモリーダンプおよびクラッシュダンプを出力するための設定を次に示します。

(a) メモリーダンプの出力設定

Windows 2000 の場合

1. コントロールパネルから [システム] をダブルクリックする。
[システムのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
2. [詳細] ページの [起動 / 回復] ボタンをクリックする。
[起動 / 回復] ダイアログボックスが表示されます。
3. [デバッグ情報の書き込み] で, プルダウンメニューから [完全メモリ ダンプ] を選択し, [ダンプファイル] に出力先のファイル名を指定する。

Windows XP, Windows Server 2003, または Windows Server 2003 R2 の場合

1. コントロールパネルから [システム] をダブルクリックする。
[システムのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
2. [詳細] ページの [起動と回復] の [設定] ボタンをクリックする。
[起動と回復] ダイアログボックスが表示されます。
3. [デバッグ情報の書き込み] で, [完全メモリ ダンプ] を選択する。
4. [ダンプファイル] に出力先のファイル名を指定する。

Windows Vista, Windows 7, Windows Server 2008, または Windows Server 2008 R2 の場合

1. コントロールパネルから [システム] をダブルクリックする。
[システム] ウィンドウが起動されます。
2. [タスク] フィールドの [システムの詳細設定] を選択する。
3. [詳細] ページの [起動と回復] の [設定] ボタンをクリックする。
[起動と回復] ダイアログボックスが表示されます。
4. [デバッグ情報の書き込み] で, [完全メモリ ダンプ] を選択する。
5. [ダンプファイル] に出力先のファイル名を指定する。

3. インストールとセットアップ

! 注意事項

メモリーダンプのサイズは、実メモリーのサイズによって異なります。搭載している物理メモリーが大きいと、メモリーダンプのサイズも大きくなります。メモリーダンプを採取できるだけのディスク領域を確保してください。詳細については、Windows のヘルプの「STOP エラー」の項目を参照してください。

(b) クラッシュダンプの出力設定 (Windows 2000, Windows XP, Windows Server 2003, または Windows Server 2003 R2 場合)

1. Windows の [スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] を選択する。
[ファイル名を指定して実行] ダイアログボックスが表示されます。
2. [名前] に「drwtsn32」を入力して、[OK] ボタンをクリックする。
Windows 2000 の場合、[Windows 2000 ワトソン博士] ダイアログボックスが、
Windows XP, Windows Server 2003, または Windows Server 2003 R2 の場合、
[Windows ワトソン博士] ダイアログボックスが表示されます。
3. [クラッシュ ダンプ] に出力先のファイルを指定する。
4. [オプション] の [クラッシュ ダンプ ファイルの作成] をチェックする。
5. [OK] ボタンをクリックする。

! 注意事項

クラッシュダンプには、JP1 だけでなくほかのアプリケーションプログラムのトラブル情報も出力されます。また、クラッシュダンプが出力されると、その分ディスク容量が圧迫されます。クラッシュダンプが出力されるように設定する場合は、十分なディスク領域を確保しておいてください。

(4) 問題レポートの採取 (Windows Vista, Windows 7, Windows Server 2008, または Windows Server 2008 R2 の場合)

JP1/Cm2/NC のプロセスがアプリケーションエラーで停止した場合、問題レポートを次の手順で採取してください。

1. Windows の [スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] を選択する。
[ファイル名を指定して実行] ダイアログボックスが表示されます。
2. [名前] に「wercon」を入力して、[OK] ボタンをクリックする。
[問題のレポートと解決策] ダイアログボックスが表示されます。
3. [問題の履歴の表示] をクリックする。
問題の履歴が一覧で表示されます。
4. 該当する問題をダブルクリックする。
問題レポートの詳細が表示されます。
5. [クリップボードにコピー] を選択する。
6. テキストエディタなどにコピーして保存する。

3.4 バックアップとリカバリー

バックアップとリカバリーについて説明します。

3.4.1 バックアップ

バックアップの手順を次に示します。

1. JP1/Cm2/NC のサービスおよび画面を停止する。
2. バックアップ対象ファイルを、エクスプローラなどを使用して任意の場所にコピーする。

バックアップ対象ファイルをプログラムごとに次に示します。

JP1/Cm2/NC - Manager

- JP1/Cm2/NC - Manager インストール先フォルダ ¥conf¥ 以下の全ファイル
- JP1/Cm2/NC - Manager インストール先フォルダ ¥db¥ 以下の全ファイル

JP1/Cm2/NC - View

- JP1/Cm2/NC - View インストール先フォルダ ¥conf¥ 以下の全ファイル

JP1/Cm2/NC - Adaptor

- JP1/Cm2/NC - Adaptor インストール先フォルダ ¥conf¥ 以下の全ファイル

3.4.2 リカバリー

リカバリーの手順を次に示します。

1. JP1/Cm2/NC のサービスおよび画面を停止する。
2. バックアップしたファイルをすべて上書きする。
3. JP1/Cm2/NC のサービスを起動する。

リカバリー後、必要に応じて全スイッチの構成情報の同期を取ってください。

3.5 運用上の注意事項

JP1/Cm2/NC の運用上の注意事項のうち、システムの運用に関する注意事項について説明します。JP1/Cm2/NC をインストールおよびセットアップする前に、この節で説明している内容を理解して、運用中のトラブルを回避するようにしてください。また、運用中もここで説明している内容を確認し、トラブルを回避するようにしてください。

(1) 管理用ネットワークの用意

業務用ネットワークに影響がないように、業務用のネットワークとは別に、この製品がスイッチに構成定義情報を設定するために使用する管理用ネットワークを用意することを強く推奨します。

この製品をインストールしたシステムは、用意した管理用ネットワークに接続するようにしてください。

(2) システム時刻の統一について

システム内で時刻を統一してください。少なくとも、次のホストの時刻は統一するようにしてください。システム時刻が不統一だと、JP1/Cm2/NC・View の DB 更新時刻に、誤った時刻が表示されてしまうおそれがあります。

- JP1/Cm2/NC・Manager が動作するホスト
- JP1/Cm2/NC・View が動作するホスト
- JP1/Cm2/NC・Adaptor が動作するホスト

時刻を統一する方法を次に示します。

(a) 手動で設定する

1. JP1/Cm2/NC のプログラムをすべて停止する。
時刻を戻す場合は、停止した時点のシステムの時刻を控えておいてください。
2. システムの時刻を変更する。
3. 時刻を戻す場合、変更後のシステムの時刻が、手順 1 で控えた時刻を過ぎるまで待つ。
4. JP1/Cm2/NC の各プログラムを起動する。

(b) 自動で設定する

時刻を調整する方法が、サーバ内のアプリケーションの動作に影響を与えないことを保証している場合は、JP1/Cm2/NC の各プログラムを停止させる必要はありません。アプリケーションの動作に影響を与えるおそれがある場合は、時刻を調整する際に JP1/Cm2/NC の各プログラムを停止させてください。

なお、SNTP は、システムの時刻を一度に調整しようとするため、JP1/Cm2/NC の動作中には実行しないでください。「3.5 (2) (a) 手動で設定する」を参照して、JP1/Cm2/

NC の各プログラムを停止してから実行してください。

(3) JP1/Cm2/NC が動作するホストのホスト名または IP アドレスの変更について

JP1/Cm2/NC が動作するホストのホスト名または IP アドレスを変更する場合は、JP1/Cm2/NC のプログラムをすべて停止させてから変更してください。

なお、JP1/Cm2/NC - Manager が動作するホストのホスト名または IP アドレスを変更した場合は、次に示す定義ファイルも変更してください。

- 接続先 JP1/Cm2/NC - View の JP1/Cm2/NC - View 接続先定義ファイル (ncvdest.conf)
- 接続先 JP1/Cm2/NC - Adaptor の JP1/Cm2/NC - Adaptor 動作条件定義ファイル (nca.conf) の [Dest Manager] セクション

JP1/Cm2/NC - View または JP1/Cm2/NC - Adaptor が動作するホストを変更した場合は、変更する定義ファイルはありません。

(4) 管理対象スイッチのホスト名または IP アドレスの変更について

管理対象スイッチのホスト名または IP アドレスを変更する場合は、必要に応じて、JP1/Cm2/NC - Adaptor スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) の設定も変更してください。なお、スイッチ定義ファイルの設定を変更した場合は、パスワードを再登録してください。

(5) スイッチに同時にログインできるユーザー数

JP1/Cm2/NC がスイッチへアクセスしているときに、JP1/Cm2/NC 以外のユーザーがスイッチへアクセスするのを制限するため、運用上の取り決めとして、スイッチに同時にログインできるユーザー数を 1 ユーザーにすることを強く推奨します。また、スイッチの設定でログインユーザー数を制限できるのであれば、スイッチに同時にログインできるユーザー数を 1 ユーザーに設定することを強く推奨します。

複数のユーザーが同時にスイッチにログインできる状態では、JP1/Cm2/NC で設定を変更中に、同時に別ユーザーからも設定を変更できるため、意図した設定結果にならないおそれがあります。

(6) JP1/Cm2/NC が管理する項目の制限値や推奨値

JP1/Cm2/NC が管理する項目の制限値や推奨値は、次のとおりです。

ただし、JP1/Cm2/NC がインストールされているマシンのスペックや、スイッチに設定されている構成情報の内容に依存します。

- JP1/Cm2/NC - Adaptor 1 台が管理できるスイッチ数：50 台（制限値）
- JP1/Cm2/NC - Manager 1 台に接続できる JP1/Cm2/NC - Adaptor の台数：30 台未満

3. インストールとセットアップ

（推奨値）

- JP1/Cm2/NC - Manager 1 台が管理できるスイッチ数：250 ～ 300 台程度（推奨値）

なお，JP1/Cm2/NC - Manager 1 台に接続する JP1/Cm2/NC - Adaptor の台数や，JP1/Cm2/NC - Manager 1 台が管理するスイッチ数が多い場合，OS 側のリソース制限（ソケット数，TCP コネクション数，スレッド数など）によって，JP1/Cm2/NC の動作に必要なリソースを確保できなくなるおそれがあります。

4

セッティング関連コマンド

この章では、JP1/Cm2/NC で使用できるコマンドのうち、セッティングに使用するコマンドについて説明します。このマニュアルでの記述形式を説明したあと、各コマンドの詳細について説明します。

コマンドの記述形式

コマンド使用時の注意事項

コマンド一覧

コマンドの記述形式

コマンドの説明で使用する見出し、およびコマンドの指定形式について説明します。

コマンドの説明で使用する見出し

このマニュアルでは、次の表に示す見出しを使ってコマンドの詳細を説明しています。

表 4-1 コマンドの説明で使用する見出し

見出し	説明
形式	コマンドの記述形式をまとめています。形式の説明で使用する記号の意味については、「はじめに」を参照してください。
機能	コマンドの機能を説明します。
実行権限	コマンドの実行に必要な権限を説明します。
格納場所	コマンドの格納場所を説明します。
引数	コマンドの引数を説明します。なお、引数にはオプションも含まれます。
注意事項	コマンドを使用する場合に注意することを説明します。また、条件によって制限を受けることがあれば説明します。
戻り値	コマンドの実行後に戻される値を示します。
使用例	オプションを選択したり、具体的な値を入力したりしたコマンドの使用例を示します。
補足事項	補足事項を説明します。出力があるコマンドについては出力形式を説明します。

コマンドの指定形式

コマンドの指定形式を次に示します。

```
ncxxxxx
[△-オプションA[△値a[,値b[,値c…]]]]    … (1)
[△-オプションB[△値a[,値b[,値c…]]]]    … (1)
[△任意名X[△任意名Y[△任意名Z…]]]      } … (2)
```

(凡例)

△: 1バイト以上の空白文字を必ず指定します。空白文字を省略できません。

(1) をオプションと呼びます。(2) を引数と呼びます。

次に、引数の指定方法を説明します。

- オプションを複数指定する場合、指定順序は任意です。
- 値を持たないオプションに値を指定した場合、システムはその値以降をすべて任意名として処理します。
- 指定できないオプションを指定した場合、エラーになります。

- 指定できる数以上の任意名を指定した場合，エラーになります。
- 引数に指定する文字は，大文字・小文字が区別されます。大文字・小文字の使い分けに注意してください。

コマンド使用時の注意事項

この節では、コマンド使用時の注意事項を説明します。

Windows Vista , Windows 7 , Windows Server 2008 , および Windows Server 2008 R2 で JP1/Cm2/NC が提供するコマンドの注意事項

JP1/Cm2/NC が提供するコマンドは、管理者権限で実行する必要があります。「管理者 : コマンドプロンプト」で実行してください。

「管理者 : コマンドプロンプト」は、Windows Vista , Windows 7 , Windows Server 2008 , および Windows Server 2008 R2 で提供されている機能を使用して起動してください。起動方法の例を次に示します。

1. [スタート] ボタンをクリックします。
2. [すべてのプログラム] - [アクセサリ] を選択します。
3. [コマンド プロンプト] を右クリックして , [管理者として実行] をクリックします。

管理者のパスワードまたは確認を求められた場合は、画面の指示に従って、パスワードを入力するか、または確認情報を設定してください。

コマンド一覧

JP1/Cm2/NC のマニュアルでは、コマンドを JP1/Cm2/NC の運用サイクルごとに分類し、各マニュアルに詳細説明を振り分けて記載しています。

この節では、セットアップ関連のコマンドについて説明します。そのほかのコマンドの説明については、「付録 E コマンド一覧および文法記載先マニュアル」を参照して、説明の記載先マニュアルを参照してください。

コマンド一覧は、次のグループに分けて記載します。

- JP1/Cm2/NC を制御するコマンド
- HNTRLib2 用コマンド

各コマンドの形式、機能などの詳細説明は、以降にアルファベット順に記載しています。

表 4-2 JP1/Cm2/NC を制御するコマンド一覧 (JP1/Cm2/NC - Manager 関連)

コマンド名	機能
nemuser	マネージャーサーバにログインを許可するユーザーを設定するためのコマンドです。ユーザーを新規に登録したり、パスワードを変更したり、ユーザー ID を削除したりするために使用します。また、登録済みのすべてのログインユーザー ID を表示するために使用します。
nemconvertdb	マネージャーサーバの DB を旧バージョン形式から新バージョン形式に変換するためのコマンドです。JP1/Cm2/NC - Manager をバージョンアップするときに使用します。

4. セットアップ関連コマンド コマンド一覧

表 4-3 JP1/Cm2/NC を制御するコマンド一覧 (JP1/Cm2/NC - Adaptor 関連)

コマンド名	対象製品	機能
ncaxpwd	JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series	JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンドです。管理対象スイッチへのアクセス用パスワードを登録します。また、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に設定したすべてのスイッチを一覧で表示するために使用します。 なお、このコマンドはスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) の内容を読み込みます。このコマンドを実行する前に、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に JP1/Cm2/NC で管理するスイッチを定義しておいてください。
ncabipwd	JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer	
ncabspwd	JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series	
ncacspwd	JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch	
ncagspwd	JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series	
ncalfpwd	JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/ Loadflowbal	
ncastpwd	JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager	

表 4-4 HNTRLib2 用コマンド一覧

コマンド名	機能
hntr2util	HNTRLib2 用コマンドです。統合トレース (HNTRLib2) が出力する統合トレースログファイルの設定を変更するためのコマンドです。統合トレースログファイルに保存されるログファイルの数、サイズ、または出力先を、運用環境に応じて変更するために使用します。

hntr2util

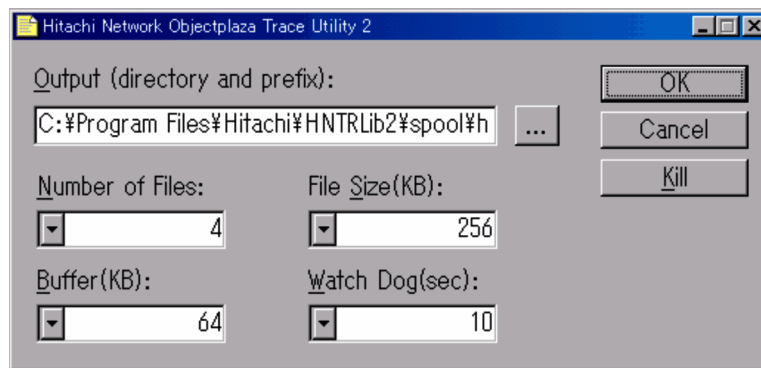
形式

hntr2util

機能

HNTRLib2 用コマンドです。統合トレース (HNTRLib2) が出力する統合トレースログファイルのサイズ、数、および出力先を変更するためのコマンドです。このコマンドを実行すると、次に示すダイアログボックスが表示されます。

図 4-1 [Hitachi Network Objectplaza Trace Utility 2] ダイアログボックス



表示項目について説明します。

[Output(directory and prefix):]

ログファイルの出力先およびログファイル名のプレフィックスを指定します。デフォルトの出力先を次に示します。

システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool¥hntr2[n].log

注

hntr2[n].log の [n] には、1 から [Number of Files:] で指定した数字の値が入ります。

[Number of Files:] ((1 ~ 16)) 《4》

ログファイル数を指定します。[Output] で指定した出力先に、指定した数のログファイルを作成します。

[File Size(KB):] ((8 ~ 4,096 キロバイト)) 《256 キロバイト》

ログファイルのサイズを指定します。

[Buffer(KB):] および [Watch Dog(sec):]

変更しないでください。

[Kill] ボタン

4. セットアップ関連コマンド hntr2util

実行中のモニタープロセスを終了します。統合トレースサービス（サービス名：Hitachi Network Objectplaza Trace Monitor 2）を停止できます。しかし、通常は、このボタンを利用しないで、Windows のコントロールパネルの [サービス] ダイアログボックスで操作してください。

実行権限

Administrators 権限

格納場所

システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥bin¥

ncaaxpwd

形式

```
ncaaxpwd  
    [-n|-c|-d]  
    [-s スイッチ名称]  
    [-ct 現パスワード (telnet用)]  
    [-nt 新パスワード (telnet用)]  
    [-ce 現パスワード (enable用)]  
    [-ne 新パスワード (enable用)]
```

機能

JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series 用コマンドです。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義した管理対象スイッチへのアクセス用パスワードを、JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series に登録するために使用します。このコマンドはスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) の内容を読み込み、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に設定したスイッチごとにパスワードを登録します。このコマンドを実行する前に、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に JP1/Cm2/NC で管理するスイッチを定義しておいてください。また、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に設定したスイッチを表示する場合にも、このコマンドを使用します。

なお、このコマンドで登録するパスワードは、JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series がスイッチにアクセスするためだけに使用します。このコマンドを使用してパスワードを登録したり変更したりしても、対象スイッチ内に設定しているパスワードは変更できません。スイッチに設定されているパスワードは、スイッチのコマンドで変更してください。

実行権限

Administrators 権限

格納場所

JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX インストール先フォルダ ¥bin¥

引数

オプション指定なし

スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に設定したすべてのスイッチを、一覧で表示します。表示されたスイッチから任意のスイッチを選択して、対話形式でパスワードを登録したり変更したりできます。

-n

新しいパスワードを登録します。このオプションを指定した場合、同時に -s オプションを指定してください。さらに、telnet 用のパスワードを登録する場合は -nt オプション

を、enable コマンド用のパスワードを登録する場合は `-ne` オプションを指定してください。

`-c`

パスワードを変更します。このオプションを指定した場合、同時に `-s` オプションを指定してください。さらに、telnet 用のパスワードを変更する場合は `-ct` オプションおよび `-nt` オプションを、enable コマンド用のパスワードを変更する場合は `-ce` オプションおよび `-ne` オプションを指定してください。

`-d`

登録済みパスワードを削除します。このオプションを指定した場合、同時に `-s` オプションを指定してください。さらに、telnet 用のパスワードを削除する場合は `-ct` オプションを、enable コマンド用のパスワードを削除する場合は `-ce` オプションを指定してください。

`-d` オプションでは、`-ct` オプションおよび `-ce` オプションを指定するときにパスワードの指定は不要です。

`-s` スイッチ名称

パスワードを登録・変更・削除したいスイッチ名称を指定します。スイッチ名称は、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名称を指定してください。

なお、`-n`、`-c`、または `-d` オプションを指定しないで、`-s` オプションだけを指定した場合は、指定したスイッチに対して対話形式でパスワードを登録したり変更したりできます。

`-ct` 現パスワード (telnet 用) ((128 バイト以内))

telnet で対象スイッチにアクセスするログインユーザーのパスワードを指定します。このオプションを指定した場合、同時に `-s` オプションを指定してください。

`-nt` 新パスワード (telnet 用) ((128 バイト以内))

telnet 用の変更後のパスワードを指定します。このオプションを指定した場合、同時に `-s` オプションを指定してください。

`-ce` 現パスワード (enable 用) ((128 バイト以内))

enable コマンドで対象スイッチにアクセスするときのパスワードを指定します。このオプションを指定した場合、同時に `-s` オプションを指定してください。

`-ne` 新パスワード (enable 用) ((128 バイト以内))

enable コマンド用の変更後のパスワードを指定します。このオプションを指定した場合、同時に `-s` オプションを指定してください。

注意事項

- このコマンドを使用して登録するパスワードは、接続するスイッチ内に設定したパスワードと一致させる必要があります。スイッチ内に設定したパスワードと一致していない場合、スイッチへのアクセスは失敗します。
- スイッチ定義ファイル（ncaswitch.conf）を変更した場合は、必ずこのコマンドを実行してください。例えば、スイッチ定義ファイル（ncaswitch.conf）からスイッチ定義を削除した場合にも必ずこのコマンドを実行してください。コマンド実行後に表示されるスイッチリストに、削除したスイッチ名称が表示されていないことを確認したあと、コマンドを終了してください。

戻り値

0	正常終了。
-1	異常終了（実行エラー）。標準出力にエラーメッセージを出力します。

使用例

コマンドの使用例を次に示します。なお、オプションを誤って指定した場合、コマンドの用法が表示されます。

オプション指定なし

```
C:¥> ncaaxpwd
**** スイッチリスト ****
No : スイッチ名称
001: switch01_host
002: 172.16.111.222
003: switch03_host
```

表示番号またはアルファベットを選択してください。

```
Q: 終了
=> 002
No : スイッチ名称
002: 172.16.111.222
```

アルファベットを選択してください。

```
T: Telnetパスワード
E: Enableパスワード
Q: 終了
=> T
古いtelnetパスワード:
新しいtelnetパスワード:
新しいtelnetパスワードの確認入力:
```

```
No : スイッチ名称
002: 172.16.111.222
```

アルファベットを選択してください。

```
T: Telnetパスワード
E: Enableパスワード
Q: 終了
=> Q
```

```
**** スイッチリスト ****
```

4. セットアップ関連コマンド

ncaaxpwd

```
No : スイッチ名称
001: switch01_host
002: 172.16.111.222
003: switch03_host
```

表示番号またはアルファベットを選択してください。

Q: 終了

=> Q

C:¥>

スイッチ名称を指定した場合

```
C:¥> ncaaxpwd -s 172.16.111.222
```

```
No : スイッチ名称
002: 172.16.111.222
```

アルファベットを選択してください。

T: Telnetパスワード

E: Enableパスワード

Q: 終了

=> T

古いtelnetパスワード:

新しいtelnetパスワード:

新しいtelnetパスワードの確認入力:

```
No : スイッチ名称
002: 172.16.111.222
```

アルファベットを選択してください。

T: Telnetパスワード

E: Enableパスワード

Q: 終了

=> Q

C:¥>

コマンドライン操作だけでパスワードを新規登録する場合

telnet 用パスワードを新規登録する場合

```
C:¥> ncaaxpwd -n -s 172.16.111.111 -nt New_Password
```

enable 用パスワードを新規登録する場合

```
C:¥> ncaaxpwd -n -s 172.16.111.111 -ne New_Password
```

telnet 用パスワードおよび enable 用パスワードの両方を新規登録する場合

```
C:¥> ncaaxpwd -n -s 172.16.111.111 -nt New_Password -ne
New_Password
```

コマンドライン操作だけでパスワードを変更する場合

telnet 用パスワードを変更する場合

```
C:¥> ncaaxpwd -c -s 172.16.111.111 -ct Current_Password -nt
New_Password
```

enable 用パスワードを変更する場合

```
C:¥> ncaaxpwd -c -s 172.16.111.111 -ce Current_Password -ne
New_Password
```

telnet 用パスワードおよび enable 用パスワードの両方を変更する場合

```
C:¥> ncaaxpwd -c -s 172.16.111.111 -ct Current_Password -nt  
New_Password -ce Current_Password -ne New_Password
```

コマンドライン操作だけでパスワードを削除する場合

telnet 用パスワードを削除する場合

```
C:¥> ncaaxpwd -d -s 172.16.111.111 -ct
```

enable 用パスワードを削除する場合

```
C:¥> ncaaxpwd -d -s 172.16.111.111 -ce
```

telnet 用パスワードおよび enable 用パスワードの両方を削除する場合

```
C:¥> ncaaxpwd -d -s 172.16.111.111 -ct -ce
```

ncabipwd

形式

```
ncabipwd  
    [-n | -c | -d]  
    [-s スイッチ名称]  
    [-ct 現パスワード]  
    [-nt 新パスワード]
```

機能

JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer 用コマンドです。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義した管理対象スイッチへのアクセス用パスワードを、JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer に登録するために使用します。このコマンドはスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) の内容を読み込み、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に設定したスイッチごとにパスワードを登録します。このコマンドを実行する前に、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に JP1/Cm2/NC で管理するスイッチを定義しておいてください。また、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に設定したスイッチを表示する場合にも、このコマンドを使用します。

なお、このコマンドで登録するパスワードは、JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer がスイッチにアクセスするためだけに使用します。このコマンドを使用してパスワードを登録したり変更したりしても、対象スイッチ内に設定しているパスワードは変更できません。スイッチに設定されているパスワードは、スイッチのコマンドで変更してください。

実行権限

Administrators 権限

格納場所

JP1/Cm2/NC - Adaptor for BI インストール先フォルダ ¥bin¥

引数

オプション指定なし

スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に設定したすべてのスイッチを、一覧で表示します。表示されたスイッチから任意のスイッチを選択して、対話形式でパスワードを登録したり変更したりできます。

-n

新しいパスワードを登録します。このオプションを指定した場合、同時に -s オプションおよび -nt オプションを指定してください。

-c

パスワードを変更します。このオプションを指定した場合、同時に -s オプション、-ct オプション、および -nt オプションを指定してください。

-d

登録済みパスワードを削除します。このオプションを指定した場合、同時に -s オプションおよび -ct オプションを指定してください。

-d オプションでは、-ct オプションを指定するときにパスワードの指定は不要です。

-s スイッチ名称

パスワードを登録・変更・削除したいスイッチ名称を指定します。スイッチ名称は、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名称を指定してください。

なお、-n、-c、または -d オプションを指定しないで、-s オプションだけを指定した場合は、指定したスイッチに対して対話形式でパスワードを登録したり変更したりできます。

-ct 現パスワード ((128 バイト以内))

対象スイッチにアクセスするログインユーザーのパスワードを指定します。このオプションを指定した場合、同時に -s オプションを指定してください。

-nt 新パスワード ((128 バイト以内))

変更後のパスワードを指定します。このオプションを指定した場合、同時に -s オプションを指定してください。

注意事項

- このコマンドを使用して登録するパスワードは、接続するスイッチ内に設定したパスワードと一致させる必要があります。スイッチ内に設定したパスワードと一致していない場合、スイッチへのアクセスは失敗します。
- スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) を変更した場合は、必ずこのコマンドを実行してください。例えば、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) からスイッチ定義を削除した場合にも必ずこのコマンドを実行してください。コマンド実行後に表示されるスイッチリストに、削除したスイッチ名称が表示されていないことを確認したあと、コマンドを終了してください。
- このコマンドを対話型モードで使用する場合、パスワードは telnet パスワードのメニューを選択して登録してください。
- このコマンドを対話型モードで使った場合、enable パスワードを登録するためのメニューが表示されますが、このコマンドでの enable パスワードの登録は不要です。誤って登録しても動作上は影響ありません。

戻り値

0	正常終了。
---	-------

-1	異常終了（実行エラー）。標準出力にエラーメッセージを出力します。
----	----------------------------------

使用例

コマンドの使用例を次に示します。なお、オプションを誤って指定した場合、コマンドの用法が表示されます。

オプション指定なし

```
C:¥> ncabipwd
**** スイッチリスト ****
No : スイッチ名称
001: switch01_host
002: 172.16.111.222
003: switch03_host
```

表示番号またはアルファベットを選択してください。

```
Q: 終了
=> 002
No : スイッチ名称
002: 172.16.111.222
```

アルファベットを選択してください。

```
T: Telnetパスワード
E: Enableパスワード
Q: 終了
=> T
古いtelnetパスワード:
新しいtelnetパスワード:
新しいtelnetパスワードの確認入力:
```

```
No : スイッチ名称
002: 172.16.111.222
```

アルファベットを選択してください。

```
T: Telnetパスワード
E: Enableパスワード
Q: 終了
=> Q
```

```
**** スイッチリスト ****
No : スイッチ名称
001: switch01_host
002: 172.16.111.222
003: switch03_host
```

表示番号またはアルファベットを選択してください。

```
Q: 終了
=> Q
C:¥>
```

スイッチ名称を指定した場合

```
C:¥> ncabipwd -s 172.16.111.222
No : スイッチ名称
002: 172.16.111.222
```

アルファベットを選択してください。

```
T: Telnetパスワード
E: Enableパスワード
```

```
Q: 終了
=> T
古いtelnetパスワード:
新しいtelnetパスワード:
新しいtelnetパスワードの確認入力:
```

```
No : スイッチ名称
002: 172.16.111.222
```

```
アルファベットを選択してください。
T: Telnetパスワード
E: Enableパスワード
Q: 終了
=> Q
C:¥>
```

コマンドライン操作だけでパスワードを新規登録する場合

```
C:¥> ncabipwd -n -s switch01 -nt New_Password
```

コマンドライン操作だけでパスワードを変更する場合

```
C:¥> ncabipwd -c -s switch01 -ct Current_Password -nt New_Password
```

コマンドライン操作だけでパスワードを削除する場合

```
C:¥> ncabipwd -d -s switch01 -ct
```

ncabspwd

形式

```
ncabspwd  
  [-n|-c|-d]  
  [-s スイッチ名称]  
  [-ct [現パスワード (telnet用)]]  
  [-nt 新パスワード (telnet用)]  
  [-ce [現パスワード (enable用)]]  
  [-ne 新パスワード (enable用)]
```

機能

JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series 用コマンドです。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義した管理対象スイッチへのアクセス用パスワードを、JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series に登録するために使用します。このコマンドはスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) の内容を読み込み、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に設定したスイッチごとにパスワードを登録します。このコマンドを実行する前に、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に JP1/Cm2/NC で管理するスイッチを定義しておいてください。また、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に設定したスイッチを表示する場合にも、このコマンドを使用します。

なお、このコマンドで登録するパスワードは、JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series がスイッチにアクセスするためだけに使用します。このコマンドを使用してパスワードを登録したり変更したりしても、対象スイッチ内に設定しているパスワードは変更できません。スイッチに設定されているパスワードは、スイッチのコマンドで変更してください。

実行権限

Administrators 権限

格納場所

JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS インストール先フォルダ ¥bin¥

引数

オプション指定なし

スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に設定したすべてのスイッチを、一覧で表示します。表示されたスイッチから任意のスイッチを選択して、対話形式でパスワードを登録したり変更したりできます。

-n

新しいパスワードを登録します。このオプションを指定した場合、同時に -s オプションを指定してください。さらに、telnet 用のパスワードを登録する場合は -nt オプション

を、enable コマンド用のパスワードを登録する場合は `-ne` オプションを指定してください。

`-c`

パスワードを変更します。このオプションを指定した場合、同時に `-s` オプションを指定してください。さらに、telnet 用のパスワードを変更する場合は `-ct` オプションおよび `-nt` オプションを、enable コマンド用のパスワードを変更する場合は `-ce` オプションおよび `-ne` オプションを指定してください。

`-d`

登録済みパスワードを削除します。このオプションを指定した場合、同時に `-s` オプションを指定してください。さらに、telnet 用のパスワードを削除する場合は `-ct` オプションを、enable コマンド用のパスワードを削除する場合は `-ce` オプションを指定してください。

`-d` オプションでは、`-ct` オプションおよび `-ce` オプションを指定するときにパスワードの指定は不要です。

`-s` スイッチ名称

パスワードを登録・変更・削除したいスイッチ名称を指定します。スイッチ名称は、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名称を指定してください。

なお、`-n`、`-c`、または `-d` オプションを指定しないで、`-s` オプションだけを指定した場合は、指定したスイッチに対して対話形式でパスワードを登録したり変更したりできます。

`-ct` 現パスワード (telnet 用) ((128 バイト以内))

telnet で対象スイッチにアクセスするログインユーザーのパスワードを指定します。このオプションを指定した場合、同時に `-s` オプションを指定してください。

`-nt` 新パスワード (telnet 用) ((128 バイト以内))

telnet 用の変更後のパスワードを指定します。このオプションを指定した場合、同時に `-s` オプションを指定してください。

`-ce` 現パスワード (enable 用) ((128 バイト以内))

enable コマンドで対象スイッチにアクセスするときのパスワードを指定します。このオプションを指定した場合、同時に `-s` オプションを指定してください。

`-ne` 新パスワード (enable 用) ((128 バイト以内))

enable コマンド用の変更後のパスワードを指定します。このオプションを指定した場合、同時に `-s` オプションを指定してください。

注意事項

- このコマンドを使用して登録するパスワードは、接続するスイッチ内に設定したパスワードと一致させる必要があります。スイッチ内に設定したパスワードと一致していない場合、スイッチへのアクセスは失敗します。
- スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) を変更した場合は、必ずこのコマンドを実行してください。例えば、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) からスイッチ定義を削除した場合にも必ずこのコマンドを実行してください。コマンド実行後に表示されるスイッチリストに、削除したスイッチ名称が表示されていないことを確認したあと、コマンドを終了してください。

戻り値

0	正常終了。
-1	異常終了 (対話モード開始後を除く)。標準出力にエラーメッセージを出力します。

使用例

コマンドの使用例を次に示します。なお、オプションを誤って指定した場合、コマンドの用法が表示されます。

オプション指定なし

```
C:¥> ncabspwd
**** スイッチリスト ****
No : スイッチ名称
001: switch01
002: switch02
```

表示番号またはアルファベットを選択してください。

```
Q: 終了
=> 002
No : スイッチ名称
002: switch02
```

アルファベットを選択してください。

```
T: Telnetパスワード
E: Enableパスワード
Q: 終了
=> T
古いtelnetパスワード:
新しいtelnetパスワード:
新しいtelnetパスワードの確認入力:
```

```
No : スイッチ名称
002: switch02
```

アルファベットを選択してください。

```
T: Telnetパスワード
E: Enableパスワード
Q: 終了
=> Q

**** スイッチリスト ****
No : スイッチ名称
```

```
001: switch01
002: switch02
```

表示番号またはアルファベットを選択してください。

Q: 終了

=> Q

C:¥>

スイッチ名称を指定した場合

```
C:¥> ncabspwd -s switch02
```

No : スイッチ名称

```
002: switch02
```

アルファベットを選択してください。

T: Telnetパスワード

E: Enableパスワード

Q: 終了

=> T

古いtelnetパスワード:

新しいtelnetパスワード:

新しいtelnetパスワードの確認入力:

No : スイッチ名称

```
002: switch02
```

アルファベットを選択してください。

T: Telnetパスワード

E: Enableパスワード

Q: 終了

=> Q

C:¥>

コマンドライン操作だけでパスワードを新規登録する場合

telnet 用パスワードを新規登録する場合

```
C:¥> ncabspwd -n -s switch01 -nt New_Password
```

enable 用パスワードを新規登録する場合

```
C:¥> ncabspwd -n -s switch01 -ne New_Password
```

telnet 用パスワードおよび enable 用パスワードの両方を新規登録する場合

```
C:¥> ncabspwd -n -s switch01 -nt New_Password -ne New_Password
```

コマンドライン操作だけでパスワードを変更する場合

telnet 用パスワードを変更する場合

```
C:¥> ncabspwd -c -s switch01 -ct Current_Password -nt
New_Password
```

enable 用パスワードを変更する場合

```
C:¥> ncabspwd -c -s switch01 -ce Current_Password -ne
New_Password
```

telnet 用パスワードおよび enable 用パスワードの両方を変更する場合

```
C:¥> ncabspwd -c -s switch01 -ct Current_Password -nt
New_Password -ce Current_Password -ne New_Password
```

4. セットアップ関連コマンド

ncabspwd

コマンドライン操作だけでパスワードを削除する場合

telnet 用パスワードを削除する場合

```
C:¥> ncabspwd -d -s switch01 -ct
```

enable 用パスワードを削除する場合

```
C:¥> ncabspwd -d -s switch01 -ce
```

telnet 用パスワードおよび enable 用パスワードの両方を削除する場合

```
C:¥> ncabspwd -d -s switch01 -ct -ce
```


ncacspwd

形式

```
ncacspwd  
    [-n|-c|-d]  
    [-s スイッチ名称]  
    [-ct 現パスワード (telnet用)]  
    [-nt 新パスワード (telnet用)]
```

機能

JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch 用コマンドです。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義した管理対象スイッチへのアクセス用パスワードを、JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch に登録するために使用します。このコマンドはスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) の内容を読み込み、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に設定したスイッチごとにパスワードを登録します。このコマンドを実行する前に、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に JP1/Cm2/NC で管理するスイッチを定義しておいてください。また、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に設定したスイッチを表示する場合にも、このコマンドを使用します。

なお、このコマンドで登録するパスワードは、JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch がスイッチにアクセスするためだけに使用します。このコマンドを使用してパスワードを登録したり変更したりしても、対象スイッチ内に設定しているパスワードは変更できません。スイッチに設定されているパスワードは、スイッチのコマンドで変更してください。

実行権限

Administrators 権限

格納場所

JP1/Cm2/NC - Adaptor for CS インストール先フォルダ ¥bin¥

引数

オプション指定なし

スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に設定したすべてのスイッチを、一覧で表示します。表示されたスイッチから任意のスイッチを選択して、対話形式でパスワードを登録したり変更したりできます。

-n

新しいパスワードを登録します。このオプションを指定した場合、同時に -s オプションおよび -nt オプションを指定してください。

-c

パスワードを変更します。このオプションを指定した場合、同時に -s オプション、-ct オプション、および -nt オプションを指定してください。

-d

登録済みパスワードを削除します。このオプションを指定した場合、同時に -s オプションおよび -ct オプションを指定してください。

-d オプションでは、-ct オプションを指定するときにパスワードの指定は不要です。

-s スイッチ名称

パスワードを登録・変更・削除したいスイッチ名称を指定します。スイッチ名称は、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名称を指定してください。

なお、-n、-c、または -d オプションを指定しないで、-s オプションだけを指定した場合は、指定したスイッチに対して対話形式でパスワードを登録したり変更したりできます。

-ct 現パスワード (telnet 用) ((128 バイト以内))

telnet で対象スイッチにアクセスするログインユーザーのパスワードを指定します。このオプションを指定した場合、同時に -s オプションを指定してください。

-nt 新パスワード (telnet 用) ((128 バイト以内))

telnet 用の変更後のパスワードを指定します。このオプションを指定した場合、同時に -s オプションを指定してください。

注意事項

- このコマンドを使用して登録するパスワードは、接続するスイッチ内に設定したパスワードと一致させる必要があります。スイッチ内に設定したパスワードと一致していない場合、スイッチへのアクセスは失敗します。
- スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) を変更した場合は、必ずこのコマンドを実行してください。例えば、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) からスイッチ定義を削除した場合にも必ずこのコマンドを実行してください。コマンド実行後に表示されるスイッチリストに、削除したスイッチ名称が表示されていないことを確認したあと、コマンドを終了してください。
- このコマンドを対話型モードで使用した場合、enable パスワードを登録するためのメニューが表示されますが、このコマンドでの enable パスワードの登録は不要です。誤って登録しても動作上は影響ありません。

戻り値

0	正常終了。
-1	異常終了 (実行エラー)。標準出力にエラーメッセージを出力します。

使用例

コマンドの使用例を次に示します。なお、オプションを誤って指定した場合、コマンドの用法が表示されます。

オプション指定なし

```
C:¥> ncacspwd
**** スイッチリスト ****
No : スイッチ名称
001: switch01_host
002: 172.16.111.222
003: switch03_host
```

表示番号またはアルファベットを選択してください。

```
Q: 終了
=> 002
No : スイッチ名称
002: 172.16.111.222
```

アルファベットを選択してください。

```
T: Telnetパスワード
E: Enableパスワード
Q: 終了
=> T
古いtelnetパスワード:
新しいtelnetパスワード:
新しいtelnetパスワードの確認入力:
```

```
No : スイッチ名称
002: 172.16.111.222
```

アルファベットを選択してください。

```
T: Telnetパスワード
E: Enableパスワード
Q: 終了
=> Q
```

```
**** スイッチリスト ****
No : スイッチ名称
001: switch01_host
002: 172.16.111.222
003: switch03_host
```

表示番号またはアルファベットを選択してください。

```
Q: 終了
=> Q
C:¥>
```

スイッチ名称を指定した場合

```
C:¥> ncacspwd -s 172.16.111.222
No : スイッチ名称
002: 172.16.111.222
```

アルファベットを選択してください。

```
T: Telnetパスワード
E: Enableパスワード
Q: 終了
=> T
古いtelnetパスワード:
```

4. セットアップ関連コマンド

ncacspwd

新しいtelnetパスワード:
新しいtelnetパスワードの確認入力:

No : スイッチ名称
002: 172.16.111.222

アルファベットを選択してください。

T: Telnetパスワード

E: Enableパスワード

Q: 終了

=> Q

C:¥>

コマンドライン操作だけでパスワードを新規登録する場合

C:¥> ncacspwd -n -s 172.16.111.111 -nt New_Password

コマンドライン操作だけでパスワードを変更する場合

C:¥> ncacspwd -c -s 172.16.111.111 -ct Current_Password -nt
New_Password

コマンドライン操作だけでパスワードを削除する場合

C:¥> ncacspwd -d -s 172.16.111.111 -ct

ncagspwd

形式

```
ncagspwd
  [-n|-c|-d]
  [-s スイッチ名称]
  [-ct 現パスワード (telnet用)]
  [-nt 新パスワード (telnet用)]
  [-ce 現パスワード (enable用)]
  [-ne 新パスワード (enable用)]
```

機能

JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series 用コマンドです。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義した管理対象スイッチへのアクセス用パスワードを、JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series に登録するために使用します。このコマンドはスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) の内容を読み込み、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に設定したスイッチごとにパスワードを登録します。このコマンドを実行する前に、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に JP1/Cm2/NC で管理するスイッチを定義しておいてください。また、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に設定したスイッチを表示する場合にも、このコマンドを使用します。

なお、このコマンドで登録するパスワードは、JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series がスイッチにアクセスするためだけに使用します。このコマンドを使用してパスワードを登録したり変更したりしても、対象スイッチ内に設定しているパスワードは変更できません。スイッチに設定されているパスワードは、スイッチのコマンドで変更してください。

実行権限

Administrators 権限

格納場所

JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS インストール先フォルダ ¥bin¥

引数

オプション指定なし

スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に設定したすべてのスイッチを、一覧で表示します。表示されたスイッチから任意のスイッチを選択して、対話形式でパスワードを登録したり変更したりできます。

-n

新しいパスワードを登録します。このオプションを指定した場合、同時に -s オプションを指定してください。さらに、telnet 用のパスワードを登録する場合は -nt オプション

を、enable コマンド用のパスワードを登録する場合は `-ne` オプションを指定してください。

`-c`

パスワードを変更します。このオプションを指定した場合、同時に `-s` オプションを指定してください。さらに、telnet 用のパスワードを変更する場合は `-ct` オプションおよび `-nt` オプションを、enable コマンド用のパスワードを変更する場合は `-ce` オプションおよび `-ne` オプションを指定してください。

`-d`

登録済みパスワードを削除します。このオプションを指定した場合、同時に `-s` オプションを指定してください。さらに、telnet 用のパスワードを削除する場合は `-ct` オプションを、enable コマンド用のパスワードを削除する場合は `-ce` オプションを指定してください。

`-d` オプションでは、`-ct` オプションおよび `-ce` オプションを指定するときにパスワードの指定は不要です。

`-s` スイッチ名称

パスワードを登録・変更・削除したいスイッチ名称を指定します。スイッチ名称は、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名称を指定してください。

なお、`-n`、`-c`、または `-d` オプションを指定しないで、`-s` オプションだけを指定した場合は、指定したスイッチに対して対話形式でパスワードを登録したり変更したりできます。

`-ct` 現パスワード (telnet 用) ((128 バイト以内))

telnet で対象スイッチにアクセスするログインユーザーのパスワードを指定します。このオプションを指定した場合、同時に `-s` オプションを指定してください。

`-nt` 新パスワード (telnet 用) ((128 バイト以内))

telnet 用の変更後のパスワードを指定します。このオプションを指定した場合、同時に `-s` オプションを指定してください。

`-ce` 現パスワード (enable 用) ((128 バイト以内))

enable コマンドで対象スイッチにアクセスするときのパスワードを指定します。このオプションを指定した場合、同時に `-s` オプションを指定してください。

`-ne` 新パスワード (enable 用) ((128 バイト以内))

enable コマンド用の変更後のパスワードを指定します。このオプションを指定した場合、同時に `-s` オプションを指定してください。

注意事項

- このコマンドを使用して登録するパスワードは、接続するスイッチ内に設定したパスワードと一致させる必要があります。スイッチ内に設定したパスワードと一致していない場合、スイッチへのアクセスは失敗します。
- スイッチ定義ファイル（ncaswitch.conf）を変更した場合は、必ずこのコマンドを実行してください。例えば、スイッチ定義ファイル（ncaswitch.conf）からスイッチ定義を削除した場合にも必ずこのコマンドを実行してください。コマンド実行後に表示されるスイッチリストに、削除したスイッチ名称が表示されていないことを確認したあと、コマンドを終了してください。

戻り値

0	正常終了。
-1	異常終了（実行エラー）。標準出力にエラーメッセージを出力します。

使用例

コマンドの使用例を次に示します。なお、オプションを誤って指定した場合、コマンドの用法が表示されます。

オプション指定なし

```
C:¥> ncagspwd
**** スイッチリスト ****
No : スイッチ名称
001: switch01_host
002: 172.16.111.222
003: switch03_host
```

表示番号またはアルファベットを選択してください。

```
Q: 終了
=> 002
No : スイッチ名称
002: 172.16.111.222
```

アルファベットを選択してください。

```
T: Telnetパスワード
E: Enableパスワード
Q: 終了
=> T
古いtelnetパスワード:
新しいtelnetパスワード:
新しいtelnetパスワードの確認入力:
```

```
No : スイッチ名称
002: 172.16.111.222
```

アルファベットを選択してください。

```
T: Telnetパスワード
E: Enableパスワード
Q: 終了
=> Q
```

```
**** スイッチリスト ****
```

4. セットアップ関連コマンド

ncagspwd

No : スイッチ名称
001: switch01_host
002: 172.16.111.222
003: switch03_host

表示番号またはアルファベットを選択してください。

Q: 終了
=> Q
C:¥>

スイッチ名称を指定した場合

C:¥> ncagspwd -s 172.16.111.222
No : スイッチ名称
002: 172.16.111.222

アルファベットを選択してください。

T: Telnetパスワード
E: Enableパスワード
Q: 終了
=> T
古いtelnetパスワード:
新しいtelnetパスワード:
新しいtelnetパスワードの確認入力:

No : スイッチ名称
002: 172.16.111.222

アルファベットを選択してください。

T: Telnetパスワード
E: Enableパスワード
Q: 終了
=> Q
C:¥>

コマンドライン操作だけでパスワードを新規登録する場合

telnet 用パスワードを新規登録する場合

C:¥> ncagspwd -n -s 172.16.111.111 -nt New_Password

enable 用パスワードを新規登録する場合

C:¥> ncagspwd -n -s 172.16.111.111 -ne New_Password

telnet 用パスワードおよび enable 用パスワードの両方を新規登録する場合

C:¥> ncagspwd -n -s 172.16.111.111 -nt New_Password -ne
New_Password

コマンドライン操作だけでパスワードを変更する場合

telnet 用パスワードを変更する場合

C:¥> ncagspwd -c -s 172.16.111.111 -ct Current_Password -nt
New_Password

enable 用パスワードを変更する場合

C:¥> ncagspwd -c -s 172.16.111.111 -ce Current_Password -ne
New_Password

telnet 用パスワードおよび enable 用パスワードの両方を変更する場合


```
C:¥> ncagspwd -c -s 172.16.111.111 -ct Current_Password -nt  
New_Password -ce Current_Password -ne New_Password
```

コマンドライン操作だけでパスワードを削除する場合

telnet 用パスワードを削除する場合

```
C:¥> ncagspwd -d -s 172.16.111.111 -ct
```

enable 用パスワードを削除する場合

```
C:¥> ncagspwd -d -s 172.16.111.111 -ce
```

telnet 用パスワードおよび enable 用パスワードの両方を削除する場合

```
C:¥> ncagspwd -d -s 172.16.111.111 -ct -ce
```

ncalfpwd

形式

```
ncalfpwd
  [-n|-c|-d]
  [-s スイッチ名称]
  [-ct 現パスワード (telnet用)]
  [-nt 新パスワード (telnet用)]
  [-ce 現パスワード (enable用)]
  [-ne 新パスワード (enable用)]
```

機能

JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal 用コマンドです。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義した管理対象スイッチへのアクセス用パスワードを、JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal に登録するために使用します。このコマンドはスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) の内容を読み込み、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に設定したスイッチごとにパスワードを登録します。このコマンドを実行する前に、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に JP1/Cm2/NC で管理するスイッチを定義しておいてください。また、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に設定したスイッチを表示する場合にも、このコマンドを使用します。

なお、このコマンドで登録するパスワードは、JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal がスイッチにアクセスするためだけに使用します。このコマンドを使用してパスワードを登録したり変更したりしても、対象スイッチ内に設定しているパスワードは変更できません。スイッチに設定されているパスワードは、スイッチのコマンドで変更してください。

実行権限

Administrators 権限

格納場所

JP1/Cm2/NC - Adaptor for LF インストール先フォルダ ¥bin¥

引数

オプション指定なし

スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に設定したすべてのスイッチを、一覧で表示します。表示されたスイッチから任意のスイッチを選択して、対話形式でパスワードを登録したり変更したりできます。

-n

新しいパスワードを登録します。このオプションを指定した場合、同時に -s オプションを指定してください。さらに、telnet 用のパスワードを登録する場合は -nt オプション

を、enable コマンド用のパスワードを登録する場合は `-ne` オプションを指定してください。

`-c`

パスワードを変更します。このオプションを指定した場合、同時に `-s` オプションを指定してください。さらに、telnet 用のパスワードを変更する場合は `-ct` オプションおよび `-nt` オプションを、enable コマンド用のパスワードを変更する場合は `-ce` オプションおよび `-ne` オプションを指定してください。

`-d`

登録済みパスワードを削除します。このオプションを指定した場合、同時に `-s` オプションを指定してください。さらに、telnet 用のパスワードを削除する場合は `-ct` オプションを、enable コマンド用のパスワードを削除する場合は `-ce` オプションを指定してください。

`-d` オプションでは、`-ct` オプションおよび `-ce` オプションを指定するときにパスワードの指定は不要です。

`-s` スイッチ名称

パスワードを登録・変更・削除したいスイッチ名称を指定します。スイッチ名称は、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名称を指定してください。

なお、`-n`、`-c`、または `-d` オプションを指定しないで、`-s` オプションだけを指定した場合は、指定したスイッチに対して対話形式でパスワードを登録したり変更したりできます。

`-ct` 現パスワード (telnet 用) ((128 バイト以内))

telnet で対象スイッチにアクセスするログインユーザーのパスワードを指定します。このオプションを指定した場合、同時に `-s` オプションを指定してください。

`-nt` 新パスワード (telnet 用) ((128 バイト以内))

telnet 用の変更後のパスワードを指定します。このオプションを指定した場合、同時に `-s` オプションを指定してください。

`-ce` 現パスワード (enable 用) ((128 バイト以内))

enable コマンドで対象スイッチにアクセスするときのパスワードを指定します。このオプションを指定した場合、同時に `-s` オプションを指定してください。

`-ne` 新パスワード (enable 用) ((128 バイト以内))

enable コマンド用の変更後のパスワードを指定します。enable パスワードには Super user レベルのパスワードを指定してください。

このオプションを指定した場合、同時に `-s` オプションを指定してください。

注意事項

- このコマンドを使用して登録するパスワードは、接続するスイッチ内に設定したパスワードと一致させる必要があります。スイッチ内に設定したパスワードと一致していない場合、スイッチにアクセスできません。
- スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) を変更した場合は、必ずこのコマンドを実行してください。例えば、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) からスイッチ定義を削除した場合にも必ずこのコマンドを実行してください。コマンド実行後に表示されるスイッチリストに、削除したスイッチ名称が表示されていないことを確認したあと、コマンドを終了してください。

戻り値

0	正常終了。
-1	異常終了 (実行エラー)。標準出力にエラーメッセージを出力します。

使用例

コマンドの使用例を次に示します。なお、オプションを誤って指定した場合、コマンドの用法が表示されます。

オプション指定なし

```
C:¥> ncalfpwd
**** スイッチリスト ****
No : スイッチ名称
001: switch01_host
002: 172.16.111.222
003: switch03_host
```

表示番号またはアルファベットを選択してください。

```
Q: 終了
=> 002
No : スイッチ名称
002: 172.16.111.222
```

アルファベットを選択してください。

```
T: Telnetパスワード
E: Enableパスワード
Q: 終了
=> T
古いtelnetパスワード:
新しいtelnetパスワード:
新しいtelnetパスワードの確認入力:
```

```
No : スイッチ名称
002: 172.16.111.222
```

アルファベットを選択してください。

```
T: Telnetパスワード
E: Enableパスワード
Q: 終了
=> Q
```

```
**** スイッチリスト ****
```

No : スイッチ名称
001: switch01_host
002: 172.16.111.222
003: switch03_host

表示番号またはアルファベットを選択してください。

Q: 終了
=> Q
C:¥>

スイッチ名称を指定した場合

C:¥> ncalfpwd -s 172.16.111.222
No : スイッチ名称
002: 172.16.111.222

アルファベットを選択してください。

T: Telnetパスワード
E: Enableパスワード
Q: 終了
=> T
古いtelnetパスワード:
新しいtelnetパスワード:
新しいtelnetパスワードの確認入力:

No : スイッチ名称
002: 172.16.111.222

アルファベットを選択してください。

T: Telnetパスワード
E: Enableパスワード
Q: 終了
=> Q
C:¥>

コマンドライン操作だけでパスワードを新規登録する場合

telnet 用パスワードを新規登録する場合

C:¥> ncalfpwd -n -s 172.16.111.111 -nt New_Password

enable 用パスワードを新規登録する場合

C:¥> ncalfpwd -n -s 172.16.111.111 -ne New_Password

telnet 用パスワードおよび enable 用パスワードの両方を新規登録する場合

C:¥> ncalfpwd -n -s 172.16.111.111 -nt New_Password -ne
New_Password

コマンドライン操作だけでパスワードを変更する場合

telnet 用パスワードを変更する場合

C:¥> ncalfpwd -c -s 172.16.111.111 -ct Current_Password -nt
New_Password

enable 用パスワードを変更する場合

C:¥> ncalfpwd -c -s 172.16.111.111 -ce Current_Password -ne
New_Password

telnet 用パスワードおよび enable 用パスワードの両方を変更する場合

4. セットアップ関連コマンド

ncalfpwd

```
C:¥> ncalfpwd -c -s 172.16.111.111 -ct Current_Password -nt  
New_Password -ce Current_Password -ne New_Password
```

コマンドライン操作だけでパスワードを削除する場合

telnet 用パスワードを削除する場合

```
C:¥> ncalfpwd -d -s 172.16.111.111 -ct
```

enable 用パスワードを削除する場合

```
C:¥> ncalfpwd -d -s 172.16.111.111 -ce
```

telnet 用パスワードおよび enable 用パスワードの両方を削除する場合

```
C:¥> ncalfpwd -d -s 172.16.111.111 -ct -ce
```

ncastpwd

形式

```
ncastpwd  
    [-n | -c | -d]  
    [-s スイッチ名称]  
    [-ct 現パスワード]  
    [-nt 新パスワード]
```

機能

JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager 用コマンドです。スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義した管理対象スイッチへのアクセス用パスワードを、JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager に登録するために使用します。このコマンドはスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) の内容を読み込み、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に設定したスイッチごとにパスワードを登録します。このコマンドを実行する前に、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に JP1/Cm2/NC で管理するスイッチを定義しておいてください。また、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に設定したスイッチを表示する場合にも、このコマンドを使用します。

なお、このコマンドで登録するパスワードは、JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager がスイッチにアクセスするためだけに使用します。このコマンドを使用してパスワードを登録したり変更したりしても、対象スイッチ内に設定しているパスワードは変更できません。スイッチに設定されているパスワードは、スイッチのコマンドで変更してください。

実行権限

Administrators 権限

格納場所

JP1/Cm2/NC - Adaptor for ST インストール先フォルダ ¥bin¥

引数

オプション指定なし

スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に設定したすべてのスイッチを、一覧で表示します。表示されたスイッチから任意のスイッチを選択して、対話形式でパスワードを登録したり変更したりできます。

-n

新しいパスワードを登録します。このオプションを指定した場合、同時に -s オプションおよび -nt オプションを指定してください。

-c

パスワードを変更します。このオプションを指定した場合、同時に -s オプション、-ct オプション、および -nt オプションを指定してください。

-d

登録済みパスワードを削除します。このオプションを指定した場合、同時に -s オプションおよび -ct オプションを指定してください。

-d オプションでは、-ct オプションを指定するときにパスワードの指定は不要です。

-s スイッチ名称

パスワードを登録・変更・削除したいスイッチ名称を指定します。スイッチ名称は、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義したスイッチ名称を指定してください。

なお、-n、-c、または -d オプションを指定しないで、-s オプションだけを指定した場合は、指定したスイッチに対して対話形式でパスワードを登録したり変更したりできます。

-ct 現パスワード ((128 バイト以内))

対象スイッチにアクセスするログインユーザーのパスワードを指定します。このオプションを指定した場合、同時に -s オプションを指定してください。

-nt 新パスワード ((128 バイト以内))

変更後のパスワードを指定します。このオプションを指定した場合、同時に -s オプションを指定してください。

注意事項

- このコマンドを使用して登録するパスワードは、接続するスイッチ内に設定したパスワードと一致させる必要があります。スイッチ内に設定したパスワードと一致していない場合、スイッチへのアクセスは失敗します。
- スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) を変更した場合は、必ずこのコマンドを実行してください。例えば、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) からスイッチ定義を削除した場合にも必ずこのコマンドを実行してください。コマンド実行後に表示されるスイッチリストに、削除したスイッチ名称が表示されていないことを確認したあと、コマンドを終了してください。
- このコマンドを対話型モードで使用する場合、パスワードは telnet パスワードのメニューを選択して登録してください。
- このコマンドを対話型モードで使用的場合、enable パスワードを登録するためのメニューが表示されますが、このコマンドでの enable パスワードの登録は不要です。誤って登録しても動作上は影響ありません。

戻り値

0	正常終了。
---	-------

-1	異常終了（実行エラー）。標準出力にエラーメッセージを出力します。
----	----------------------------------

使用例

コマンドの使用例を次に示します。なお、オプションを誤って指定した場合、コマンドの用法が表示されます。

オプション指定なし

```
C:¥> ncastpwd
**** スイッチリスト ****
No : スイッチ名称
001: switch01_host
002: 172.16.111.222
003: switch03_host
```

表示番号またはアルファベットを選択してください。

```
Q: 終了
=> 002
No : スイッチ名称
002: 172.16.111.222
```

アルファベットを選択してください。

```
T: Telnetパスワード
E: Enableパスワード
Q: 終了
=> T
古いtelnetパスワード:
新しいtelnetパスワード:
新しいtelnetパスワードの確認入力:
```

```
No : スイッチ名称
002: 172.16.111.222
```

アルファベットを選択してください。

```
T: Telnetパスワード
E: Enableパスワード
Q: 終了
=> Q
```

```
**** スイッチリスト ****
No : スイッチ名称
001: switch01_host
002: 172.16.111.222
003: switch03_host
```

表示番号またはアルファベットを選択してください。

```
Q: 終了
=> Q
C:¥>
```

スイッチ名称を指定した場合

```
C:¥> ncastpwd -s 172.16.111.222
No : スイッチ名称
002: 172.16.111.222
```

アルファベットを選択してください。

```
T: Telnetパスワード
E: Enableパスワード
```

4. セットアップ関連コマンド

ncastpwd

```
Q: 終了
=> T
古いtelnetパスワード:
新しいtelnetパスワード:
新しいtelnetパスワードの確認入力:
```

```
No : スイッチ名称
002: 172.16.111.222
```

```
アルファベットを選択してください。
T: Telnetパスワード
E: Enableパスワード
Q: 終了
=> Q
C:¥>
```

コマンドライン操作だけでパスワードを新規登録する場合

```
C:¥> ncastpwd -n -s 172.16.111.111 -nt New_Password
```

コマンドライン操作だけでパスワードを変更する場合

```
C:¥> ncastpwd -c -s 172.16.111.111 -ct Current_Password -nt
New_Password
```

コマンドライン操作だけでパスワードを削除する場合

```
C:¥> ncastpwd -d -s 172.16.111.111 -ct
```

ncmconvertdb

形式

```
ncmconvertdb
    { -c | -v }
    [{ -d DBバックアップ先ディレクトリ名 | -nb}]
```

機能

JP1/Cm2/NC - Manager 用コマンドです。マネージャサーバの DB を旧バージョン形式から新バージョン形式に変換します。変換時に、現在の DB ファイルのバックアップ処理を指定できます。また、現在の DB のバージョンも表示します。

！ 注意事項

このコマンドは JP1/Cm2/NC - Manager をバージョンアップするときに使用します。通常の運用では使用しません。

実行権限

Administrators 権限

格納場所

JP1/Cm2/NC - Manager インストール先フォルダ ¥bin¥

引数

-c

DB の形式を変換します。このオプションを指定した場合、次に示す項目を入力するように求められます。

データベースの形式を変換します。よろしいですか (y/n) ? :

変換実行の確認として、「データベースの形式を変換します。よろしいですか (y/n)? :」が表示されたあとに「Y」または「y」を入力した場合に、変換処理が実行されます。「Y」と「y」以外を入力した場合は、変換処理は実行しないでコマンドを終了します。

なお、変換処理を実行する前に、DB ファイルをバックアップします。バックアップ先は、このオプションだけを指定した場合、システムで定義された一時ディレクトリ配下 (C:\Temp など) に「¥jp1cm2ncm¥db」ディレクトリを作成し、変換前の DB ファイルをバックアップします。-d オプションを指定した場合は、-d オプションで指定したディレクトリ配下に「¥jp1cm2ncm¥db」ディレクトリを作成し、変換前の DB ファイルをバックアップします。

-v

現在の DB のバージョンを表示します。このオプションを指定した場合、-d、-nb オプションを指定しても無効となります。

-d DB バックアップ先ディレクトリ名

DB のバックアップ先ディレクトリを指定します。ディレクトリはフルパスで指定します。このオプションで指定したディレクトリが存在しない場合、次に示す項目を入力するよう求められます。

ディレクトリを作成しますか (y/n) ? :

ディレクトリ作成実行の確認として、「ディレクトリを作成しますか (y/n)? :」が表示されたあとに「Y」または「y」を入力した場合に、ディレクトリの作成処理を実行します。「Y」と「y」以外が入力された場合は、作成処理は実行しないでコマンドを終了します。

-nb

このオプションを指定した場合、DB はバックアップされません。

注意事項

このコマンドの実行時には、JP1/Cm2/NC - Manager のプロセスが停止している必要があります。

戻り値

0	正常終了。
-1	異常終了（実行エラー）。標準出力にエラーメッセージを出力します。

使用例

コマンドの使用例を次に示します。なお、オプションを誤って指定した場合、コマンドの用法が表示されます。

DB の形式を変換する場合

```
C:\¥> ncmconvertdb -c
データベースの形式を変換します。よろしいですか (y/n) ? : y
データベースをバックアップ中 . . .
データベースを変換中 . . .
データベースの変換が完了しました。
```

バックアップ先を指定して DB の形式を変換する場合

```
C:\¥> ncmconvertdb -c -d C:\¥Temp
データベースの形式を変換します。よろしいですか (y/n) ? : y
データベースをバックアップ中 . . .
データベースを変換中 . . .
データベースの変換が完了しました。
```

存在しないバックアップ先を指定して DB の形式を変換する場合

```
C:\¥> ncmconvertdb -c -d C:\¥Backup
```

ディレクトリ"C:¥Backup"が存在しません。
ディレクトリを作成しますか(y/n)? : y
データベースをバックアップ中 . . .
データベースを変換中 . . .
データベースの変換が完了しました。

バックアップしないで DB の形式を変換する場合

C:¥> ncmconvertdb -c -nb
データベースの形式を変換します。よろしいですか(y/n)? : y
データベースを変換中 . . .
データベースの変換が完了しました。

DB のバージョンを表示する場合

C:¥> ncmconvertdb -v
データベースバージョン : 0710

ncmuser

形式

```
ncmuser
    [{-n|-c|-d}]
    [-cp 現パスワード]
    [-np 新パスワード]
    [ログインユーザー名]
```

機能

JP1/Cm2/NC - Manager 用コマンドです。JP1/Cm2/NC - Manager へのログインを許可するログインユーザーを設定します。このコマンドには、次に示す機能があります。

- ユーザーの新規登録
- パスワード（JP1/Cm2/NC - Manager へのログイン用）の登録・変更
- ユーザーの削除
- 登録済みのすべてのログインユーザー ID の表示

実行権限

Administrators 権限

格納場所

JP1/Cm2/NC - Manager インストール先フォルダ¥bin¥

引数

オプション指定なし

ncmuser コマンドで登録済みのすべてのログインユーザー名称を表示します。

-n

新しいログインユーザーを登録します。このオプションだけを指定した場合、次に示す項目を入力するように求められます。

新しいパスワード：パスワード
新しいパスワードの確認入力：パスワードの再入力

-c

ncmuser コマンドで登録済みのログインユーザーのパスワードを変更します。このオプションだけを指定した場合、次に示す項目を入力するように求められます。

古いパスワード：現在のパスワード（旧パスワード）
新しいパスワード：新パスワード
新しいパスワードの確認入力：新パスワードの再入力

-d

ncmuser コマンドで登録済みのログインユーザーを削除します。このオプションだけを指定した場合、次に示す項目を入力するように求められます。

削除してもよろしいですか (y/n) ? :

削除実行の確認として、「削除してもよろしいですか (y/n)?:」が表示されたあとに「Y」または「y」を入力した場合に、削除処理が実行されます。「Y」と「y」以外を入力した場合は、削除処理が実行されないでコマンドを終了します。

-cp 現パスワード

現在 (カレント) のパスワードを指定します。

-np 新パスワード ((6 ~ 32 バイト以内))

変更後のパスワードを指定します。このオプションを指定する場合、必ず -c オプションと -cp オプションを同時に指定してください。パスワードに使用できる文字列は、次に示す文字を除く ASCII 文字です。

「*」、「"」(引用符)、「'」(シングルクォーテーション)、「¥」、「:」、タブ文字、空白文字

ログインユーザー名 ((31 バイト以内))

新規登録、変更、または削除するログインユーザー名を指定します。ユーザー名に使用できる文字列は、次に示す文字を除く ASCII 文字で、かつ小文字の英字だけです。

「*」、「"」(引用符)、「'」(シングルクォーテーション)、「/」、「¥」、「[」(角括弧)、「{」(波括弧)、「()」(丸括弧)、「:」(コロン)、「;」(セミコロン)、「|」、「=」、「,」、「+」、「?」(疑問符)、「< >」(山括弧)、タブ文字、空白文字

戻り値

0	正常終了。
-1	異常終了 (実行エラー)。標準出力にエラーメッセージを出力します。

使用例

コマンドの使用例を次に示します。なお、オプションを誤って指定した場合、コマンドの用法が表示されます。

オプションを何も指定しない場合

```
C:¥> ncmuser
user01
user02
user03
```

新しいログインユーザーを登録する場合

```
C:¥> ncmuser -n user01
新しいパスワード:
```

4. セットアップ関連コマンド

ncmuser

新しいパスワードの確認入力:

コマンドライン操作だけで新しいログインユーザーを登録する場合

```
C:¥> ncmuser -n -np Password user01
```

登録済みログインユーザーのパスワードを変更する場合

```
C:¥> ncmuser -c user01
```

古いパスワード:

新しいパスワード:

新しいパスワードの確認入力:

コマンドライン操作だけで登録済みログインユーザーのパスワードを変更する場合

```
C:¥> ncmuser -c -cp Current_Password -np New_Password user01
```

登録済みログインユーザーを削除する場合

```
C:¥> ncmuser -d user01
```

削除してもよろしいですか(y/n)? :y

5

定義ファイル

この章では、JP1/Cm2/NC で使用する定義ファイルの形式および文法について説明します。

5.1 定義ファイル一覧

5.2 定義ファイルの詳細

5.1 定義ファイル一覧

ユーザーが作成または編集できるファイルについて説明します。JP1/Cm2/NC の定義ファイルの一覧を、プログラムごとに示します。

表 5-1 JP1/Cm2/NC - Manager の定義ファイル

定義ファイル名	説明	参照先
JP1/Cm2/NC - Manager 接続アダプター定義ファイル (ncmadpt.conf)	マネージャーサーバが管理するアダプターサーバを定義するファイルです。	5.2.1
JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf)	JP1/Cm2/NC - Manager の動作に必要な条件を定義するファイルです。ポート番号やデフォルトドメインを定義したり、共通メッセージログを出力するかどうかを定義したりします。	5.2.2

表 5-2 JP1/Cm2/NC - View の定義ファイル

定義ファイル名	説明	参照先
JP1/Cm2/NC - View 接続先定義ファイル (ncvdest.conf)	JP1/Cm2/NC - View の接続先となるマネージャーサーバのホスト名または IP アドレス、ポート番号を定義するファイルです。	5.2.3
JP1/Cm2/NC - View 動作条件定義ファイル (ncv.conf)	JP1/Cm2/NC - View の動作に必要な条件を定義するファイルです。JavaVM のオプションを定義したり、共通メッセージログを出力するかどうかを定義したりします。	5.2.4

表 5-3 JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series の定義ファイル

定義ファイル名	説明	参照先
JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series 動作条件定義ファイル (nca.conf)	JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series の動作に必要な条件を定義するファイルです。アダプターサーバを識別するための名称を定義したり、接続先となるマネージャーサーバのホスト名やポート番号などを定義したりします。	5.2.5
JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf)	JP1/Cm2/NC が管理するスイッチの情報を定義するファイルです。スイッチが所属する VLAN 管理ドメインの名称、スイッチのホスト名または IP アドレス、telnet のユーザー ID、telnet サーバのポート番号を定義します。	5.2.6

表 5-4 JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series の定義ファイル

定義ファイル名	説明	参照先
JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series 動作条件定義ファイル (nca.conf)	JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series の動作に必要な条件を定義するファイルです。アダプターサーバを識別するための名称を定義したり、接続先となるマネージャーサーバのホスト名やポート番号などを定義したりします。	5.2.7

定義ファイル名	説明	参照先
JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf)	JP1/Cm2/NC が管理するスイッチの情報を定義するファイルです。スイッチが所属する VLAN 管理ドメインの名称、スイッチのホスト名、telnet のユーザー ID および telnet サーバのポート番号を定義します。	5.2.8

表 5-5 JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch の定義ファイル

定義ファイル名	説明	参照先
JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch 動作条件定義ファイル (nca.conf)	JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch の動作に必要な条件を定義するファイルです。アダプターサーバを識別するための名称を定義したり、接続先となるマネージャーサーバのホスト名やポート番号などを定義したりします。	5.2.9
JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf)	JP1/Cm2/NC が管理するスイッチの情報を定義するファイルです。スイッチが所属する VLAN 管理ドメインの名称、スイッチのホスト名または IP アドレス、telnet のユーザー ID、telnet サーバのポート番号を定義します。	5.2.10

表 5-6 JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer の定義ファイル

定義ファイル名	説明	参照先
JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer 動作条件定義ファイル (nca.conf)	JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer の動作に必要な条件を定義するファイルです。アダプターサーバを識別するための名称を定義したり、接続先となるマネージャーサーバのホスト名やポート番号などを定義したりします。	5.2.11
JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf)	JP1/Cm2/NC が管理するスイッチの情報を定義するファイルです。スイッチのホスト名または IP アドレス、ログインユーザー ID、https サーバのポート番号を定義します。	5.2.12

表 5-7 JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series の定義ファイル

定義ファイル名	説明	参照先
JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series 動作条件定義ファイル (nca.conf)	JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series の動作に必要な条件を定義するファイルです。アダプターサーバを識別するための名称を定義したり、接続先となるマネージャーサーバのホスト名やポート番号などを定義したりします。	5.2.13
JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf)	JP1/Cm2/NC が管理するスイッチの情報を定義するファイルです。スイッチが所属する VLAN 管理ドメインの名称、スイッチのホスト名または IP アドレス、telnet のユーザー ID、telnet サーバのポート番号を定義します。	5.2.14

5. 定義ファイル

表 5-8 JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal の定義ファイル

定義ファイル名	説明	参照先
JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal 動作条件定義ファイル (nca.conf)	JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal の動作に必要な条件を定義するファイルです。アダプターサーバを識別するための名称を定義したり、接続先となるマネージャーサーバのホスト名やポート番号などを定義したりします。	5.2.15
JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf)	JP1/Cm2/NC が管理するスイッチの情報を定義するファイルです。スイッチのホスト名または IP アドレス, telnet のユーザー ID, telnet サーバのポート番号を定義します。	5.2.16

表 5-9 JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager の定義ファイル

定義ファイル名	説明	参照先
JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager 動作条件定義ファイル (nca.conf)	JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager の動作に必要な条件を定義するファイルです。アダプターサーバを識別するための名称を定義したり、接続先となるマネージャーサーバのホスト名やポート番号などを定義したりします。	5.2.17
JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf)	JP1/Cm2/NC が管理するスイッチの情報を定義するファイルです。スイッチのホスト名または IP アドレス, ログインユーザー ID, elbcli_ser のポート番号を定義します。	5.2.18

定義ファイル記述時の注意事項

この章で説明する定義ファイルの記述方法を、次に示します。

- キー名と値は、「=」（イコール）で区切ってください。
- キー名と値を区切った「=」（イコール）の前後にスペースを入れないでください。
- キー名と値は、1 行で記述してください。
- 行頭は、1 カラム目から記述してください。
- 「#」（シャープ）で始まる行は、コメント行と見なします。

5.2 定義ファイルの詳細

各定義ファイルの記述方法について説明します。

5.2.1 JP1/Cm2/NC - Manager 接続アダプター定義ファイル (ncmadpt.conf)

マネージャーサーバが管理するアダプターサーバを定義します。このファイルを変更した場合、JP1/Cm2/NC - Manager サービスを再起動する必要があります。

(1) 形式

```
# All Rights Reserved. Copyright (C) 2004, Hitachi, Ltd.
#
# ncmadpt.conf
#
[Adaptor List]
adpt_name=アダプターサーバ名称
:
```

接続（管理）するアダプターサーバの数だけ、「adpt_name= アダプターサーバ名称」を繰り返し定義してください。

(2) 格納場所

JP1/Cm2/NC - Manager インストール先フォルダ ¥conf¥

(3) 定義内容

このファイルの定義内容について説明します。

(a) [Adaptor List] セクション

キー名	指定区分	指定する値
adpt_name ((31 バイト以内の英数字,「()」 (半角の丸括弧),「-」(半角のハ イフン), および「_」(半角のア ンダーバー)))	必須	アダプターサーバの名称を指定します。JP1/Cm2/NC - Adaptor 動作条件定義ファイル (nca.conf) の [Adaptor] セクションの「adpt_name」に指定する識 別名称と一致させてください。

5.2.2 JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf)

JP1/Cm2/NC - Manager の動作に必要な条件を定義します。ポート番号やデフォルトドメインを定義・変更したり、共通メッセージログを出力するかどうかを定義したりします。このファイルを変更した場合、JP1/Cm2/NC - Manager サービスを再起動する必要があります。

5. 定義ファイル

(1) 形式

```
# All Rights Reserved. Copyright (C) 2004, Hitachi, Ltd.
#
# ncm.conf
#
[Manager]
mgr_port=ポート番号

[Default Domain]
domain_name=デフォルトドメイン名

[System Log]
printlog_flag={Y|N}

[Notify Event]
jplevt_flag={Y|N}
```

注

[Default Domain] セクションは、VLAN を管理するスイッチを JP1/Cm2/NC で管理しない場合は設定不要です。デフォルト値のままでもかまいません。

(2) 格納場所

JP1/Cm2/NC - Manager インストール先フォルダ ¥conf¥

(3) 定義内容

このファイルの定義内容について、[] (角括弧) で囲まれたセクションの順番に説明します。

(a) [Manager] セクション

キー名	指定区分	指定する値
mgr_port ((1 ~ 65535)) 《20344》	任意	JP1/Cm2/NC - Manager が使用するポート番号を指定します。JP1/Cm2/NC - View および JP1/Cm2/NC - Adaptor が JP1/Cm2/NC - Manager に接続するためのポート番号です。なお、ほかのサービスやプログラムと同じポート番号は指定できません。マシン内でユニークな番号を指定してください。

(b) [Default Domain] セクション

キー名	指定区分	指定する値
domain_name ((63 バイト以内)) 《デフォルトドメイン》	任意	デフォルトドメインの名称を指定します。アダプターサーバのスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) で指定したドメイン名は指定できません。 この項目は、JP1/Cm2/NC - Manager サービスの初回起動前に設定した場合だけ有効です。一度 JP1/Cm2/NC - Manager サービスを起動したあとに設定を変更しても、デフォルトドメイン名は変更されません。

(c) [System Log] セクション

キー名	指定区分	指定する値
printlog_flag {Y N}《N》	任意	共通メッセージログにメッセージを出力するかどうかを指定します。出力する場合には、「Y」を指定してください。

(d) [Notify Event] セクション

キー名	指定区分	指定する値
jplevt_flag {Y N}《N》	任意	JP1/Cm2/NC - Manager の起動や停止、スイッチの構成情報を更新した場合などに、実行した処理を通知する JP1 イベントを発行するかどうかを指定します。JP1/IM と連携させる場合に使用します。JP1 イベントを発行する場合には、「Y」を指定してください。

5.2.3 JP1/Cm2/NC - View 接続先定義ファイル (ncvdest.conf)

JP1/Cm2/NC - View の接続先となるマネージャーサーバのホスト名または IP アドレスおよびポート番号を定義します。このファイルを変更した場合、JP1/Cm2/NC - View を終了（ログアウト）して、再起動する必要があります。

(1) 形式

```
# All Rights Reserved. Copyright (C) 2004, Hitachi, Ltd.
#
# ncvdest.conf
#
[Dest Manager]
mgr_host=ホスト名またはIPアドレス
mgr_port=ポート番号
:
```

必要な分だけ、[Dest Manager] の行も含めて、「mgr_host=」と「mgr_port=」を繰り返し定義してください。

(2) 格納場所

JP1/Cm2/NC - View インストール先フォルダ ¥conf¥

(3) 定義内容

このファイルの定義内容について説明します。

5. 定義ファイル

(a) [Dest Manager] セクション

キー名	指定区分	指定する値
mgr_host ((255 バイト以内))	任意	JP1/Cm2/NC - View の接続先マネージャーサーバのホスト名または IP アドレスを指定します。ホスト名の先頭は英文字で指定してください。 このキーを指定すると,[ログイン] ダイアログボックスにある [接続ホスト名] のプルダウンメニューに, ホスト名または IP アドレスが表示されます。そのため, 毎回接続先を入力する手間を省けます。また, 端末単位で接続先のマネージャーサーバの候補を限定できるので, 意図しないマネージャーサーバの情報が変更されてしまう, というような状況を減らせます。
mgr_port ((1 ~ 65535)) 《20344》	任意	接続先の JP1/Cm2/NC - Manager のポート番号を指定します。JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf) の「mgr_port」に定義した番号を指定してください。

(4) 注意事項

登録できる接続先マネージャーサーバの数は 10 件です。11 件以上登録した場合, 11 件目以降の定義は無効になります。

5.2.4 JP1/Cm2/NC - View 動作条件定義ファイル (ncv.conf)

JP1/Cm2/NC - View の動作に必要な条件を定義します。JavaVM のオプションを定義したり, 共通メッセージログを出力するかどうかを定義したりします。このファイルを変更した場合, JP1/Cm2/NC - View を終了 (ログアウト) して, 再起動する必要があります。

(1) 形式

```
# All Rights Reserved. Copyright (C) 2004, Hitachi, Ltd.
#
# ncv.conf
#
[JavaVM Option]
option_string=-Xmx512m

[System Log]
printlog_flag={Y|N}
```

(2) 格納場所

JP1/Cm2/NC - View インストール先フォルダ ¥conf¥

(3) 定義内容

このファイルの定義内容について, [] (角括弧) で囲まれたセクションの順番に説明します。

(a) [JavaVM Option] セクション

キー名	指定区分	指定する値
option_string	任意	<p>JavaVM のオプションについて設定します。次に示す条件に該当する場合、「option_string=-Xmx512m」行を次のように変更してください。</p> <pre>option_string=-Xmx512m -Dsun.java2d.noddraw=true</pre> <ul style="list-style-type: none"> Windows の DirectDraw 描画をサポートしていないプログラム（例えば、JP1/NETM/Remote Control Agent）上で、JP1/Cm2/NC - View を利用する場合 パスワードで保護されているスクリーンセーバーを解除したとき、またはコンピュータのロックを解除したときに、JP1/Cm2/NC - View が描画不正となるおそれがある場合

(b) [System Log] セクション

キー名	指定区分	指定する値
printlog_flag {Y N}《N》	任意	共通メッセージログにメッセージを出力するかどうかを指定します。出力する場合には、「Y」を指定してください。

5.2.5 JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series 動作条件定義ファイル (nca.conf)

JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series の動作に必要な条件を定義します。アダプターサーバを識別するための名称を定義したり、接続先となるマネージャーサーバのホスト名やポート番号などを定義したりします。このファイルを変更した場合、JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX サービスを再起動する必要があります。

(1) 形式

```
# All Rights Reserved. Copyright (C) 2005, Hitachi, Ltd.
#
# nca.conf
#
[Adaptor]
adpt_name=アダプターサーバ名称
process_stop={Y|N}

[Dest Manager]
mgr_host=ホスト名またはIPアドレス
mgr_port=ポート番号
retry_count=接続失敗時のリトライ回数
retry_interval=リトライ間隔

[System Log]
printlog_flag={Y|N}
```

5. 定義ファイル

(2) 格納場所

JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX インストール先フォルダ ¥conf¥

(3) 定義内容

このファイルの定義内容について、[] (角括弧) で囲まれたセクションの順番に説明します。

(a) [Adaptor] セクション

キー名	指定区分	指定する値
adpt_name ((31 バイト以内の英数字,「()」 (半角の丸括弧),「-」(半角のハイフン), および「_」(半角のアンダーバー))	必須	アダプターサーバを識別するための名称を指定します。ほかのアダプターサーバの名称と重複しない名称を指定してください。また, JP1/Cm2/NC - Manager 接続アダプター定義ファイル (ncmadpt.conf) の「adpt_name」と一致させてください。
process_stop {Y N} 《Y》	任意	マネージャーサーバとの接続が切断されたとき (接続リトライオーバーによる接続失敗を含む), サービスを停止するかどうかを指定します。停止する場合には, 「Y」を指定してください。なお, 再度マネージャーサーバと接続するには, JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX サービスを再起動してください。

(b) [Dest Manager] セクション

キー名	指定区分	指定する値
mgr_host ((255 バイト以内))	必須	JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series の接続先マネージャーサーバのホスト名または IP アドレスを指定します。ホスト名の先頭は英文字で指定してください。
mgr_port ((1 ~ 65535)) 《20344》	任意	接続先の JP1/Cm2/NC - Manager のポート番号を指定します。JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf) の「mgr_port」に定義した番号を指定してください。
retry_count ((0 ~ 999, または infinite)) 《120》	任意	マネージャーサーバへの接続が失敗したときの接続リトライ回数を指定します。「infinite」を指定した場合, 接続が成功するまでリトライします。
retry_interval ((5 ~ 300)) 《30》	任意	マネージャーサーバへの接続が失敗したときの接続リトライ間隔を秒単位で指定します。

(c) [System Log] セクション

キー名	指定区分	指定する値
printlog_flag {Y N} 《N》	任意	共通メッセージログにメッセージを出力するかどうかを指定します。出力する場合には, 「Y」を指定してください。

5.2.6 JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf)

JP1/Cm2/NC が管理するスイッチの情報を定義します。次に示す情報を定義します。

- スイッチが所属する VLAN 管理ドメインの名称
- JP1/Cm2/NC が管理するスイッチのホスト名または IP アドレス
- telnet のユーザー ID
- telnet サーバのポート番号

このファイルを変更した場合、JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX サービスを再起動する必要があります。

(1) 形式

```
# All Rights Reserved. Copyright (C) 2005, Hitachi, Ltd.
#
# ncaswitch.conf
#
[AX7800S]
domain_name=VLAN管理ドメイン名称
switch_name=ホスト名またはIPアドレス
telnet_id=telnet用ログインユーザーID
telnet_port=telnetサーバのポート番号

[AX5400S]
domain_name=VLAN管理ドメイン名称
switch_name=ホスト名またはIPアドレス
telnet_id=telnet用ログインユーザーID
telnet_port=telnetサーバのポート番号

[AX3600S]
domain_name=VLAN管理ドメイン名称
switch_name=ホスト名またはIPアドレス
telnet_id=telnet用ログインユーザーID
telnet_port=telnetサーバのポート番号

[AX2400S]
domain_name=VLAN管理ドメイン名称
switch_name=ホスト名またはIPアドレス
telnet_id=telnet用ログインユーザーID
telnet_port=telnetサーバのポート番号
:
```

管理対象スイッチの数だけ、[] (角括弧) で囲まれたセクションの行も含めて、
「domain_name=」、「switch_name=」、「telnet_id=」および「telnet_port=」を繰り返し
定義してください。

(2) 格納場所

JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX インストール先フォルダ ¥conf¥

(3) 定義内容

このファイルの定義内容について、[] (角括弧) で囲まれたセクションの順番に説明し

5. 定義ファイル

ます。

(a) [AX7800S] セクション

AX7800S を使用する場合に定義します。

キー名	指定区分	指定する値
domain_name ((63 バイト以内))	任意	スイッチが所属する VLAN 管理ドメインの名称を指定します。名称の指定を省略した場合、スイッチは自動的にデフォルトドメインに所属します。VLAN 管理ドメインが一つしかない場合は、デフォルトドメインに所属させることをお勧めします。 なお、JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf) の「domain_name」で指定したデフォルトドメイン名は指定できません。
switch_name ((255 バイト以内))	必須	JP1/Cm2/NC が管理するスイッチのホスト名または IP アドレスを指定します。ホスト名の先頭は英文字で指定してください。
telnet_id ((16 バイト以内))	必須	telnet でスイッチにログインするためのユーザー ID を指定します。なお、ユーザー ID は、あらかじめスイッチに設定しておく必要があります。
telnet_port ((1 ~ 65535)) 《23》	任意	AX7800S の telnet サーバのポート番号を指定します。

(b) [AX5400S] セクション

AX5400S を使用する場合に定義します。キーに指定する値は、[AX7800S] セクションと同じです。

(c) [AX3600S] セクション

AX3600S を使用する場合に定義します。キーに指定する値は、[AX7800S] セクションと同じです。

(d) [AX2400S] セクション

AX2400S を使用する場合に定義します。キーに指定する値は、[AX7800S] セクションと同じです。

5.2.7 JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series 動作条件定義ファイル (nca.conf)

JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series の動作に必要な条件を定義します。アダプターサーバを識別するための名称を定義したり、接続先となるマネージャーサーバのホスト名やポート番号などを定義したりします。このファイルを変更した場合、JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS サービスを再起動する必要があります。

(1) 形式

```
# All Rights Reserved. Copyright (C) 2009, 2012, Hitachi, Ltd.
#
# nca.conf
#
[Adaptor]
adpt_name=アダプターサーバ名称
process_stop={Y|N}

[Dest Manager]
mgr_host=ホスト名またはIPアドレス
mgr_port=ポート番号
retry_count=接続失敗時のリトライ回数
retry_interval=リトライ間隔

[System Log]
printlog_flag={Y|N}
```

(2) 格納場所

JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS インストール先フォルダ¥conf¥

(3) 定義内容

このファイルの定義内容について、[] (角括弧) で囲まれたセクションの順番に説明します。

(a) [Adaptor] セクション

キー名	指定区分	指定する値
adpt_name (31 バイト以内の英数字,「()」 (半角の丸括弧),「-」(半角のハイフン), および「_」(半角のアンダーバー))	必須	アダプターサーバを識別するための名称を指定します。ほかのアダプターサーバの名称と重複しない名称を指定してください。また, JP1/Cm2/NC・Manager 接続アダプター定義ファイル (ncmadpt.conf) の「adpt_name」と一致させてください。
process_stop {Y N} 《Y》	任意	マネージャーサーバとの接続が切断されたとき (接続リトライオーバーによる接続失敗を含む), サービスを停止するかどうかを指定します。停止する場合には, 「Y」を指定してください。なお, 再度マネージャーサーバと接続するには, JP1/Cm2/NC・Adaptor for BS サービスを再起動してください。

(b) [Dest Manager] セクション

キー名	指定区分	指定する値
mgr_host (255 バイト以内))	必須	JP1/Cm2/NC・Adaptor for BS Series の接続先マネージャーサーバのホスト名または IP アドレスを指定します。ホスト名の先頭は英文字で指定してください。

5. 定義ファイル

キー名	指定区分	指定する値
mgr_port ((1 ~ 65535))《20344》	任意	接続先の JP1/Cm2/NC - Manager のポート番号を指定します。JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf) の「mgr_port」に定義した番号を指定してください。
retry_count ((0 ~ 999, または infinite)) 《120》	任意	マネージャーサーバへの接続が失敗したときの接続リトライ回数を指定します。「infinite」を指定した場合、接続が成功するまでリトライします。
retry_interval ((5 ~ 300))《30》	任意	マネージャーサーバへの接続が失敗したときの接続リトライ間隔を秒単位で指定します。

(c) [System Log] セクション

キー名	指定区分	指定する値
printlog_flag {Y N}《N》	任意	共通メッセージログにメッセージを出力するかどうかを指定します。出力する場合には、「Y」を指定してください。

5.2.8 JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf)

JP1/Cm2/NC が管理するスイッチの情報を定義します。次に示す情報を定義します。

- スイッチが所属する VLAN 管理ドメインの名称
- JP1/Cm2/NC が管理するスイッチのホスト名
- telnet のユーザー ID
- telnet サーバのポート番号

このファイルを変更した場合、JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS サービスを再起動する必要があります。

(1) 形式

```
# All Rights Reserved. Copyright (C) 2009, 2012, Hitachi, Ltd.
#
# ncaswitch.conf
#
[BS1000-GS0]
domain_name=VLAN管理ドメイン名称
switch_name=ホスト名
telnet_id=telnet用ログインユーザーID
telnet_port=telnetサーバのポート番号

[BS1000-GS1]
domain_name=VLAN管理ドメイン名称
switch_name=ホスト名
telnet_id=telnet用ログインユーザーID
telnet_port=telnetサーバのポート番号

[BS320]
domain_name=VLAN管理ドメイン名称
switch_name=ホスト名またはIPアドレス
telnet_id=telnet用ログインユーザーID
telnet_port=telnetサーバのポート番号

[BS2000]
domain_name=VLAN管理ドメイン名称
switch_name=ホスト名またはIPアドレス
telnet_id=telnet用ログインユーザーID
telnet_port=telnetサーバのポート番号

[BS500]
domain_name=VLAN管理ドメイン名称
switch_name=ホスト名またはIPアドレス
telnet_id=telnet用ログインユーザーID
telnet_port=telnetサーバのポート番号

[BS500-1Gbx40]
domain_name=VLAN管理ドメイン名称
switch_name=ホスト名またはIPアドレス
telnet_id=telnet用ログインユーザーID
telnet_port=telnetサーバのポート番号
:
```

管理対象スイッチの数だけ、[] (角括弧) で囲まれたセクションの行も含めて、
「domain_name=」、「switch_name=」、「telnet_id=」および「telnet_port=」を繰り返し
定義してください。

(2) 格納場所

JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS インストール先フォルダ ¥conf¥

(3) 定義内容

このファイルの定義内容について、[] (角括弧) で囲まれたセクションの順番に説明します。

(a) [BS1000-GS0] セクション

BS1000 に搭載されている「Gb Ether Switch #0」を使用する場合に、[BS1000-GS0]

5. 定義ファイル

セクションを定義します。

キー名	指定区分	指定する値
domain_name ((63 バイト以内))	任意	スイッチが所属する VLAN 管理ドメインの名称を指定します。名称の指定を省略した場合、スイッチは自動的にデフォルトドメインに所属します。VLAN 管理ドメインが一つしかない場合は、デフォルトドメインに所属させることをお勧めします。 なお、JP1/Cm2/NC・Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf) の「domain_name」で指定したデフォルトドメイン名は指定できません。
switch_name ((255 バイト以内))	必須	JP1/Cm2/NC が管理するスイッチのホスト名を指定します。ホスト名の先頭は英文字で指定してください。
telnet_id ((16 バイト以内))	必須	telnet でスイッチにログインするためのユーザー ID を指定します。なお、ユーザー ID は、あらかじめスイッチに設定しておく必要があります。
telnet_port ((1 ~ 65535))《23》	任意	BS1000 の telnet サーバのポート番号を指定します。

(b) [BS1000-GS1] セクション

BS1000 に搭載されている「Gb Ether Switch #1」を使用する場合に、[BS1000-GS1] セクションを定義します。キーに指定する値は、[BS1000-GS0] セクションと同じです。

(c) [BS320] セクション

BS320 を使用する場合に、[BS320] セクションを定義します。キーに指定する値は、[BS1000-GS0] セクションと同じです。

ただし、BS320 では、「switch_name」について IP アドレスも使用できます。

(d) [BS2000] セクション

BS2000 を使用する場合に、[BS2000] セクションを定義します。キーに指定する値は、[BS1000-GS0] セクションと同じです。

ただし、BS2000 では、「switch_name」について IP アドレスも使用できます。

(e) [BS500] セクション

BS500 を使用する場合に、[BS500] セクションを定義します。キーに指定する値は、[BS1000-GS0] セクションと同じです。

ただし、BS500 では、「switch_name」について IP アドレスも使用できます。

(f) [BS500-1Gbx40] セクション

BS500 1Gbx40 を使用する場合に、[BS500-1Gbx40] セクションを定義します。キーに

指定する値は、[BS1000-GS0] セクションと同じです。

ただし、BS500 1Gbx40 では、「switch_name」について IP アドレスも使用できます。

(4) 注意事項

- 「switch_name」に指定したホスト名を hosts ファイルまたは DNS に登録してください。
- 1 台の BS1000 に GS0 と GS1 の 2 台のスイッチモジュールがある場合には、「switch_name」に指定するホスト名を別々の名称にする必要があります。つまり、スイッチモジュールの IP アドレスに二つのホスト名を付けることになります。

5.2.9 JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch 動作条件定義ファイル (nca.conf)

JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch の動作に必要な条件を定義します。アダプターサーバを識別するための名称を定義したり、接続先となるマネージャーサーバのホスト名やポート番号などを定義したりします。このファイルを変更した場合、JP1/Cm2/NC - Adaptor for CS サービスを再起動する必要があります。

(1) 形式

```
# All Rights Reserved. Copyright (C) 2005, Hitachi, Ltd.
#
# nca.conf
#
[Adaptor]
adpt_name=アダプターサーバ名称
process_stop={Y|N}

[Dest Manager]
mgr_host=ホスト名またはIPアドレス
mgr_port=ポート番号
retry_count=接続失敗時のリトライ回数
retry_interval=リトライ間隔

[System Log]
printlog_flag={Y|N}
```

(2) 格納場所

JP1/Cm2/NC - Adaptor for CS インストール先フォルダ ¥conf¥

(3) 定義内容

このファイルの定義内容について、[] (角括弧) で囲まれたセクションの順番に説明します。

5. 定義ファイル

(a) [Adaptor] セクション

キー名	指定区分	指定する値
adpt_name ((31 バイト以内の英数字, 「()」 (半角の丸括弧), 「-」(半角のハイフン), および「_」(半角のアンダーバー))	必須	アダプターサーバを識別するための名称を指定します。ほかのアダプターサーバの名称と重複しない名称を指定してください。また, JP1/Cm2/NC - Manager 接続アダプター定義ファイル (ncmadpt.conf) の「adpt_name」と一致させてください。
process_stop {Y N} 《Y》	任意	マネージャーサーバとの接続が切断されたとき (接続リトライオーバーによる接続失敗を含む), サービスを停止するかどうかを指定します。停止する場合には, 「Y」を指定してください。なお, 再度マネージャーサーバと接続するには, JP1/Cm2/NC - Adaptor for CS サービスを再起動してください。

(b) [Dest Manager] セクション

キー名	指定区分	指定する値
mgr_host ((255 バイト以内))	必須	JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch の接続先マネージャーサーバのホスト名または IP アドレスを指定します。ホスト名の先頭は英文字で指定してください。
mgr_port ((1 ~ 65535)) 《20344》	任意	接続先の JP1/Cm2/NC - Manager のポート番号を指定します。JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf) の「mgr_port」に定義した番号を指定してください。
retry_count ((0 ~ 999, または infinite)) 《120》	任意	マネージャーサーバへの接続が失敗したときの接続リトライ回数を指定します。「infinite」を指定した場合, 接続が成功するまでリトライします。
retry_interval ((5 ~ 300)) 《30》	任意	マネージャーサーバへの接続が失敗したときの接続リトライ間隔を秒単位で指定します。

(c) [System Log] セクション

キー名	指定区分	指定する値
printlog_flag {Y N} 《N》	任意	共通メッセージログにメッセージを出力するかどうかを指定します。出力する場合には, 「Y」を指定してください。

5.2.10 JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf)

JP1/Cm2/NC が管理するスイッチの情報を定義します。次に示す情報を定義します。

- スイッチが所属する VLAN 管理ドメインの名称
- JP1/Cm2/NC が管理するスイッチのホスト名または IP アドレス

- telnet のユーザー ID
- telnet サーバのポート番号

このファイルを変更した場合、JP1/Cm2/NC - Adaptor for CS サービスを再起動する必要があります。

(1) 形式

```
# All Rights Reserved. Copyright (C) 2005, Hitachi, Ltd.
#
# ncaswitch.conf
#
[Catalyst3750]
domain_name=VLAN管理ドメイン名称
switch_name=ホスト名またはIPアドレス
telnet_id=telnet用ログインユーザーID
telnet_port=telnetサーバのポート番号

[Catalyst3550]
domain_name=VLAN管理ドメイン名称
switch_name=ホスト名またはIPアドレス
telnet_id=telnet用ログインユーザーID
telnet_port=telnetサーバのポート番号
:
```

管理対象スイッチの数だけ、[] (角括弧) で囲まれたセクションの行も含めて、
「domain_name=」、「switch_name=」、「telnet_id=」および「telnet_port=」を繰り返し
定義してください。

(2) 格納場所

JP1/Cm2/NC - Adaptor for CS インストール先フォルダ¥conf¥

(3) 定義内容

このファイルの定義内容について、[] (角括弧) で囲まれたセクションの順番に説明します。

(a) [Catalyst3750] セクション

Cisco Catalyst3750 を使用する場合に定義します。

キー名	指定区分	指定する値
domain_name ((63 バイト以内))	任意	<p>スイッチが所属する VLAN 管理ドメインの名称を指定します。名称の指定を省略した場合、スイッチは自動的にデフォルトドメインに所属します。VLAN 管理ドメインが一つしかない場合は、デフォルトドメインに所属させることをお勧めします。</p> <p>なお、JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf) の「domain_name」で指定したデフォルトドメイン名は指定できません。</p>

5. 定義ファイル

キー名	指定区分	指定する値
switch_name ((255 バイト以内))	必須	JP1/Cm2/NC が管理するスイッチのホスト名または IP アドレスを指定します。ホスト名の先頭は英文字で指定してください。
telnet_id ((128 バイト以内))	必須	telnet でスイッチにログインするためのユーザー ID を指定します。なお、ユーザー ID は、あらかじめスイッチに設定しておく必要があります。
telnet_port ((1 ~ 65535))《23》	任意	Cisco Catalyst3750 の telnet サーバのポート番号を指定します。

(b) [Catalyst3550] セクション

Cisco Catalyst3550 を使用する場合に定義します。キーに指定する値は、
[Catalyst3750] セクションと同じです。

5.2.11 JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer 動作条件 定義ファイル (nca.conf)

JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer の動作に必要な条件を定義します。アダプターサーバを識別するための名称を定義したり、接続先となるマネージャーサーバのホスト名やポート番号などを定義したりします。このファイルを変更した場合、JP1/Cm2/NC - Adaptor for BI サービスを再起動する必要があります。

(1) 形式

```
# All Rights Reserved. Copyright (C) 2005, Hitachi, Ltd.
#
# nca.conf
#
[Adaptor]
adpt_name=アダプターサーバ名称
process_stop={Y|N}

[Dest Manager]
mgr_host=ホスト名またはIPアドレス
mgr_port=ポート番号
retry_count=接続失敗時のリトライ回数
retry_interval=リトライ間隔

[System Log]
printlog_flag={Y|N}
```

(2) 格納場所

JP1/Cm2/NC - Adaptor for BI インストール先フォルダ ¥conf¥

(3) 定義内容

このファイルの定義内容について、[] (角括弧) で囲まれたセクションの順番に説明します。

(a) [Adaptor] セクション

キー名	指定区分	指定する値
adpt_name ((31 バイト以内の英数字,「()」 (半角の丸括弧),「-」(半角のハ イフン), および「_」(半角のア ンダーバー)))	必須	アダプターサーバを識別するための名称を指定します。 ほかのアダプターサーバの名称と重複しない名称を指 定してください。また, JP1/Cm2/NC - Manager 接続 アダプター定義ファイル (ncmadpt.conf) の 「adpt_name」と一致させてください。
process_stop {Y N} 《Y》	任意	マネージャーサーバとの接続が切断されたとき (接続 リトライオーバーによる接続失敗を含む), サービスを 停止するかどうかを指定します。停止する場合には, 「Y」を指定してください。なお, 再度マネージャー サーバと接続するには, JP1/Cm2/NC - Adaptor for BI サービスを再起動してください。

(b) [Dest Manager] セクション

キー名	指定区分	指定する値
mgr_host ((255 バイト以内))	必須	JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer の接続 先マネージャーサーバのホスト名または IP アドレス を指定します。ホスト名の先頭は英文字で指定して ください。
mgr_port ((1 ~ 65535)) 《20344》	任意	接続先の JP1/Cm2/NC - Manager のポート番号を指 定します。JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義 ファイル (ncm.conf) の「mgr_port」に定義した番 号を指定してください。
retry_count ((0 ~ 999, または infinite)) 《120》	任意	マネージャーサーバへの接続が失敗したときの接続 リトライ回数を指定します。「infinite」を指定した 場合, 接続が成功するまでリトライします。
retry_interval ((5 ~ 300)) 《30》	任意	マネージャーサーバへの接続が失敗したときの接続 リトライ間隔を秒単位で指定します。

(c) [System Log] セクション

キー名	指定区分	指定する値
printlog_flag {Y N} 《N》	任意	共通メッセージログにメッセージを出力するかどうか を指定します。出力する場合には, 「Y」を指定してく ださい。

5.2.12 JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer スイッチ 定義ファイル (ncaswitch.conf)

JP1/Cm2/NC が管理するスイッチの情報を定義します。次に示す情報を定義します。

- JP1/Cm2/NC が管理するスイッチのホスト名または IP アドレス
- ログインユーザー ID

5. 定義ファイル

- https サーバのポート番号

このファイルを変更した場合、JP1/Cm2/NC - Adaptor for BI サービスを再起動する必要があります。

(1) 形式

```
# All Rights Reserved. Copyright (C) 2005, Hitachi, Ltd.
#
# ncaswitch.conf
#
[BIG-IP6400]
switch_name=ホスト名またはIPアドレス
telnet_id=ログインユーザーID
telnet_port=httpsサーバのポート番号

[BIG-IP1500]
switch_name=ホスト名またはIPアドレス
telnet_id=ログインユーザーID
telnet_port=httpsサーバのポート番号
:
```

管理対象スイッチの数だけ、[] (角括弧) で囲まれたセクションの行も含めて、「switch_name=」、「telnet_id=」および「telnet_port=」を繰り返し定義してください。

(2) 格納場所

JP1/Cm2/NC - Adaptor for BI インストール先フォルダ¥conf¥

(3) 定義内容

このファイルの定義内容について、[] (角括弧) で囲まれたセクションの順番に説明します。

(a) [BIG-IP6400] セクション

BIG-IP 6400 を使用する場合に定義します。

キー名	指定区分	指定する値
switch_name ((255 バイト以内))	必須	JP1/Cm2/NC が管理するスイッチのホスト名または IP アドレスを指定します。ホスト名の先頭は英文字で指定してください。
telnet_id ((128 バイト以内))	必須	スイッチにログインするためのユーザー ID を指定します。指定するユーザー ID は、BIG-IP の Web 画面で入力するユーザー ID と同じです。なお、ユーザー ID は、あらかじめスイッチに設定しておく必要があります。
telnet_port ((1 ~ 65535))《443》	任意	BIG-IP 6400 の https サーバのポート番号を指定します。

(b) [BIG-IP1500] セクション

BIG-IP 1500 を使用する場合に定義します。キーに指定する値は、[BIG-IP6400] セクションと同じです。

5.2.13 JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series 動作条件定義ファイル (nca.conf)

JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series の動作に必要な条件を定義します。アダプターサーバを識別するための名称を定義したり、接続先となるマネージャーサーバのホスト名やポート番号などを定義したりします。このファイルを変更した場合、JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS サービスを再起動する必要があります。

(1) 形式

```
# All Rights Reserved. Copyright (C) 2004, Hitachi, Ltd.
#
# nca.conf
#
[Adaptor]
adpt_name=アダプターサーバ名称
process_stop={Y|N}

[Dest Manager]
mgr_host=ホスト名またはIPアドレス
mgr_port=ポート番号
retry_count=接続失敗時のリトライ回数
retry_interval=リトライ間隔

[System Log]
printlog_flag={Y|N}
```

(2) 格納場所

JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS インストール先フォルダ ¥conf¥

(3) 定義内容

このファイルの定義内容について、[] (角括弧) で囲まれたセクションの順番に説明します。

(a) [Adaptor] セクション

キー名	指定区分	指定する値
adpt_name (31 バイト以内の英数字, 「()」 (半角の丸括弧), 「-」 (半角のハイフン), および 「_」 (半角のアンダーバー))	必須	アダプターサーバを識別するための名称を指定します。ほかのアダプターサーバの名称と重複しない名称を指定してください。また、JP1/Cm2/NC - Manager 接続アダプター定義ファイル (ncmadpt.conf) の「adpt_name」と一致させてください。

5. 定義ファイル

キー名	指定区分	指定する値
process_stop {Y N}《Y》	任意	マネージャーサーバとの接続が切断されたとき（接続リトライオーバーによる接続失敗を含む）、サービスを停止するかどうかを指定します。停止する場合には、「Y」を指定してください。なお、再度マネージャーサーバと接続するには、JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS サービスを再起動してください。

(b) [Dest Manager] セクション

キー名	指定区分	指定する値
mgr_host ((255 バイト以内))	必須	JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series の接続先マネージャーサーバのホスト名または IP アドレスを指定します。ホスト名の先頭は英文字で指定してください。
mgr_port ((1 ~ 65535))《20344》	任意	接続先の JP1/Cm2/NC - Manager のポート番号を指定します。JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf) の「mgr_port」に定義した番号を指定してください。
retry_count ((0 ~ 999, または infinite)) 《120》	任意	マネージャーサーバへの接続が失敗したときの接続リトライ回数を指定します。「infinite」を指定した場合、接続が成功するまでリトライします。
retry_interval ((5 ~ 300))《30》	任意	マネージャーサーバへの接続が失敗したときの接続リトライ間隔を秒単位で指定します。

(c) [System Log] セクション

キー名	指定区分	指定する値
printlog_flag {Y N}《N》	任意	共通メッセージログにメッセージを出力するかどうかを指定します。出力する場合には、「Y」を指定してください。

5.2.14 JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf)

JP1/Cm2/NC が管理するスイッチの情報を定義します。次に示す情報を定義します。

- スイッチが所属する VLAN 管理ドメインの名称
- JP1/Cm2/NC が管理するスイッチのホスト名または IP アドレス
- telnet のユーザー ID
- telnet サーバのポート番号

このファイルを変更した場合、JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS サービスを再起動する必要があります。

(1) 形式

```
# All Rights Reserved. Copyright (C) 2004, Hitachi, Ltd.
#
# ncaswitch.conf
#
[GS3000]
domain_name=VLAN管理ドメイン名称
switch_name=ホスト名またはIPアドレス
telnet_id=telnet用ログインユーザーID
telnet_port=telnetサーバのポート番号

[GS4000]
domain_name=VLAN管理ドメイン名称
switch_name=ホスト名またはIPアドレス
telnet_id=telnet用ログインユーザーID
telnet_port=telnetサーバのポート番号
:
```

管理対象スイッチの数だけ、[] (角括弧) で囲まれたセクションの行も含めて、
「domain_name=」、「switch_name=」、「telnet_id=」および「telnet_port=」を繰り返し
定義してください。

(2) 格納場所

JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS インストール先フォルダ¥conf¥

(3) 定義内容

このファイルの定義内容について、[] (角括弧) で囲まれたセクションの順番に説明し
ます。

(a) [GS3000] セクション

GS3000 スイッチを使用する場合に定義します。

キー名	指定区分	指定する値
domain_name ((63 バイト以内))	任意	スイッチが所属する VLAN 管理ドメインの名称を指定します。名称の指定を省略した場合、スイッチは自動的にデフォルトドメインに所属します。VLAN 管理ドメインが一つしかない場合は、デフォルトドメインに所属させることをお勧めします。 なお、JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf) の「domain_name」で指定したデフォルトドメイン名は指定できません。
switch_name ((255 バイト以内))	必須	JP1/Cm2/NC が管理するスイッチのホスト名または IP アドレスを指定します。ホスト名の先頭は英文字で指定してください。
telnet_id ((16 バイト以内))	必須	telnet でスイッチにログインするためのユーザー ID を指定します。なお、ユーザー ID は、あらかじめスイッチに設定しておく必要があります。

5. 定義ファイル

キー名	指定区分	指定する値
telnet_port ((1 ~ 65535))《23》	任意	GS3000 の telnet サーバのポート番号を指定します。

(b) [GS4000] セクション

GS4000 スイッチを使用する場合に定義します。キーに指定する値は,[GS3000] セクションと同じです。

5.2.15 JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal 動作条件定義ファイル (nca.conf)

JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal の動作に必要な条件を定義します。アダプターサーバを識別するための名称を定義したり, 接続先となるマネージャーサーバのホスト名やポート番号などを定義したりします。このファイルを変更した場合, JP1/Cm2/NC - Adaptor for LF サービスを再起動する必要があります。

(1) 形式

```
# All Rights Reserved. Copyright (C) 2004 , Hitachi , Ltd.
#
# nca.conf
#
[Adaptor]
adpt_name=アダプターサーバ名称
process_stop={Y|N}

[Dest Manager]
mgr_host=ホスト名またはIPアドレス
mgr_port=ポート番号
retry_count=接続失敗時のリトライ回数
retry_interval=リトライ間隔

[System Log]
printlog_flag={Y|N}
```

(2) 格納場所

JP1/Cm2/NC - Adaptor for LF インストール先フォルダ ¥conf¥

(3) 定義内容

このファイルの定義内容について,[] (角括弧) で囲まれたセクションの順番に説明します。

(a) [Adaptor] セクション

キー名	指定区分	指定する値
adpt_name ((31 バイト以内の英数字,「()」 (半角の丸括弧),「-」(半角のハイフン), および「_」(半角のアンダーバー)))	必須	アダプターサーバを識別するための名称を指定します。ほかのアダプターサーバの名称と重複しない名称を指定してください。また, JP1/Cm2/NC - Manager 接続アダプター定義ファイル (ncmadpt.conf) の「adpt_name」と一致させてください。
process_stop {Y N} 《Y》	任意	マネージャーサーバとの接続が切断されたとき (接続リトライオーバーによる接続失敗を含む), サービスを停止するかどうかを指定します。停止する場合には, 「Y」を指定してください。なお, 再度マネージャーサーバと接続するには, JP1/Cm2/NC - Adaptor for LF サービスを再起動してください。

(b) [Dest Manager] セクション

キー名	指定区分	指定する値
mgr_host ((255 バイト以内))	必須	JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal の接続先マネージャーサーバのホスト名または IP アドレスを指定します。ホスト名の先頭は英文字で指定してください。
mgr_port ((1 ~ 65535)) 《20344》	任意	接続先の JP1/Cm2/NC - Manager のポート番号を指定します。JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf) の「mgr_port」に定義した番号を指定してください。
retry_count ((0 ~ 999, または infinite)) 《120》	任意	マネージャーサーバへの接続が失敗したときの接続リトライ回数を指定します。「infinite」を指定した場合, 接続が成功するまでリトライします。
retry_interval ((5 ~ 300)) 《30》	任意	マネージャーサーバへの接続が失敗したときの接続リトライ間隔を秒単位で指定します。

(c) [System Log] セクション

キー名	指定区分	指定する値
printlog_flag {Y N} 《N》	任意	共通メッセージログにメッセージを出力するかどうかを指定します。出力する場合には, 「Y」を指定してください。

5.2.16 JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf)

JP1/Cm2/NC が管理するスイッチの情報を定義します。次に示す情報を定義します。

- JP1/Cm2/NC が管理するスイッチのホスト名または IP アドレス

5. 定義ファイル

- telnet のユーザー ID
- telnet サーバのポート番号

このファイルを変更した場合、JP1/Cm2/NC - Adaptor for LF サービスを再起動する必要があります。

(1) 形式

```
# All Rights Reserved. Copyright (C) 2004, Hitachi, Ltd.
#
# ncaswitch.conf
#
[Loadflowbal]
switch_name=ホスト名またはIPアドレス
telnet_id=telnet用ログインユーザーID
telnet_port=telnetサーバのポート番号
:
```

管理対象スイッチの数だけ、[Loadflowbal] の行も含めて、「switch_name=」,
「telnet_id=」および「telnet_port=」を繰り返し定義してください。

(2) 格納場所

JP1/Cm2/NC - Adaptor for LF インストール先フォルダ ¥conf¥

(3) 定義内容

このファイルの定義内容について説明します。

(a) [Loadflowbal] セクション

キー名	指定区分	指定する値
switch_name ((255 バイト以内))	必須	JP1/Cm2/NC が管理するスイッチのホスト名または IP アドレスを指定します。ホスト名の先頭は英文字で指定してください。
telnet_id ((128 バイト以内))	必須	telnet でスイッチにログインするためのユーザー ID を指定します。なお、ユーザー ID は、あらかじめスイッチに設定しておく必要があります。
telnet_port ((1 ~ 65535)) 《23》	任意	HA8000-ie/Loadflowbal の telnet サーバのポート番号を指定します。

5.2.17 JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager 動作条件定義ファイル (nca.conf)

JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager の動作に必要な条件を定義します。
アダプターサーバを識別するための名称を定義したり、接続先となるマネージャーサーバのホスト名やポート番号などを定義したりします。このファイルを変更した場合、JP1/Cm2/NC - Adaptor for ST サービスを再起動する必要があります。

(1) 形式

```
# All Rights Reserved. Copyright (C) 2005, Hitachi, Ltd.
#
# nca.conf
#
[Adaptor]
adpt_name=アダプターサーバ名称
process_stop={Y|N}

[Dest Manager]
mgr_host=ホスト名またはIPアドレス
mgr_port=ポート番号
retry_count=接続失敗時のリトライ回数
retry_interval=リトライ間隔

[System Log]
printlog_flag={Y|N}
```

(2) 格納場所

JP1/Cm2/NC - Adaptor for ST インストール先フォルダ ¥conf¥

(3) 定義内容

このファイルの定義内容について、[] (角括弧) で囲まれたセクションの順番に説明します。

(a) [Adaptor] セクション

キー名	指定区分	指定する値
adpt_name (31 バイト以内の英数字,「()」 (半角の丸括弧),「-」(半角のハイフン), および「_」(半角のアンダーバー))	必須	アダプターサーバを識別するための名称を指定します。ほかのアダプターサーバの名称と重複しない名称を指定してください。また, JP1/Cm2/NC - Manager 接続アダプター定義ファイル (ncmadpt.conf) の「adpt_name」と一致させてください。
process_stop {Y N} 《Y》	任意	マネージャーサーバとの接続が切断されたとき (接続リトライオーバーによる接続失敗を含む), サービスを停止するかどうかを指定します。停止する場合には, 「Y」を指定してください。なお, 再度マネージャーサーバと接続するには, JP1/Cm2/NC - Adaptor for ST サービスを再起動してください。

(b) [Dest Manager] セクション

キー名	指定区分	指定する値
mgr_host (255 バイト以内)	必須	JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager の接続先マネージャーサーバのホスト名または IP アドレスを指定します。ホスト名の先頭は英文字で指定してください。

5. 定義ファイル

キー名	指定区分	指定する値
mgr_port ((1 ~ 65535))《20344》	任意	接続先の JP1/Cm2/NC - Manager のポート番号を指定します。JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf) の「mgr_port」に定義した番号を指定してください。
retry_count ((0 ~ 999, または infinite)) 《120》	任意	マネージャーサーバへの接続が失敗したときの接続リトライ回数を指定します。「infinite」を指定した場合、接続が成功するまでリトライします。
retry_interval ((5 ~ 300))《30》	任意	マネージャーサーバへの接続が失敗したときの接続リトライ間隔を秒単位で指定します。

(c) [System Log] セクション

キー名	指定区分	指定する値
printlog_flag {Y N}《N》	任意	共通メッセージログにメッセージを出力するかどうかを指定します。出力する場合には、「Y」を指定してください。

5.2.18 JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf)

JP1/Cm2/NC が管理するスイッチの情報を定義します。次に示す情報を定義します。

- JP1/Cm2/NC が管理するスイッチのホスト名または IP アドレス
- ログインユーザー ID
- elbcli_ser のポート番号

このファイルを変更した場合、JP1/Cm2/NC - Adaptor for ST サービスを再起動する必要があります。

(1) 形式

```
# All Rights Reserved. Copyright (C) 2005, Hitachi, Ltd.  
#  
# ncaswitch.conf  
#  
[STM]  
switch_name=ホスト名またはIPアドレス  
telnet_id=ログインユーザーID  
telnet_port=elbcli_serのポート番号  
:
```

管理対象スイッチの数だけ、[STM] の行も含めて、「switch_name=」、「telnet_id=」および「telnet_port=」を繰り返し定義してください。

(2) 格納場所

JP1/Cm2/NC - Adaptor for ST インストール先フォルダ ¥conf¥

(3) 定義内容

このファイルの定義内容について説明します。

(a) [STM] セクション

キー名	指定区分	指定する値
switch_name ((255 バイト以内))	必須	JP1/Cm2/NC が管理するスイッチのホスト名または IP アドレスを指定します。ホスト名の先頭は英文字で指定してください。
telnet_id ((128 バイト以内))	必須	スイッチにログインするためのユーザー ID を指定します。なお、ユーザー ID は、あらかじめスイッチに設定しておく必要があります。
telnet_port ((1 ~ 65535)) 《8010》	任意	STM の elbcli_ser のポート番号を指定します。

6

他製品との連携

この章では、JP1/Cm2/NC と他製品との連携について説明します。

6.1 JP1/IM 連携オプション

6.1 JP1/IM 連携オプション

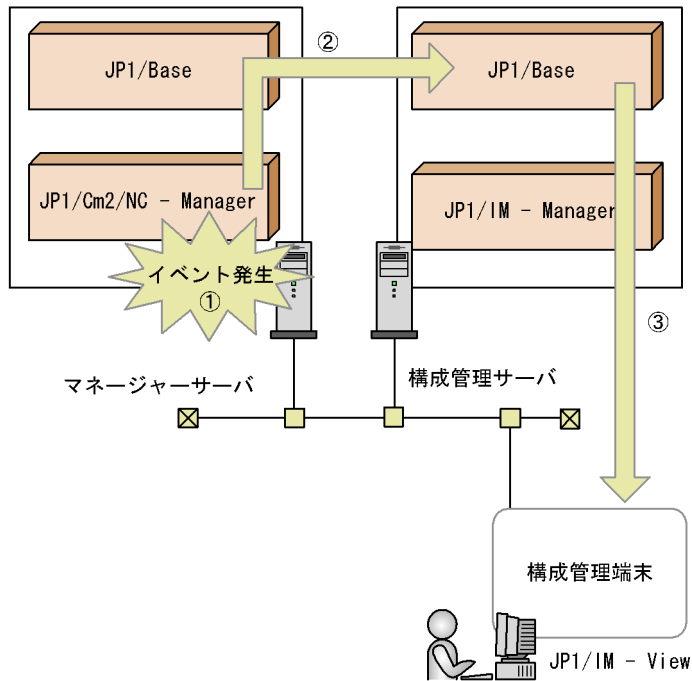
JP1/IM は、JP1/Cm2/NC や Cosminexus などと連携し、連携している製品が管理する構成情報を収集して、システム構成情報の一元管理をします。JP1/Cm2/NC は、JP1 イベントとして、サービスの起動状況およびアダプターとの接続状況を JP1/IM に提供します。JP1 イベントの種類については、「付録 B JP1 イベント」を参照してください。

ここでは、JP1/IM への JP1 イベントの通知機能、JP1/IM を連携するシステム構成例およびセットアップについて説明します。

6.1.1 JP1/IM への JP1 イベントの通知

JP1/Cm2/NC - Manager の起動や終了、アダプターとの接続や切断を契機に、JP1 イベントを発行し、JP1/IM に通知する機能です。JP1 イベントを発行および通知することで、JP1/IM から JP1/Cm2/NC の動作を監視できます。JP1 イベントを発行および通知するには、JP1/IM - Manager および JP1/Base が必要です。なお、JP1/IM - Manager は、JP1 Version 7i 以前では JP1/IM - CC を指します。JP1/IM - CC は、JP1 Version 8 以降は JP1/IM - Manager の内部コンポーネントとして提供されています。JP1/IM に JP1 イベントを発行および通知する処理の流れを次の図に示します。

図 6-1 JP1/IM に JP1 イベントを発行および通知する処理の流れ

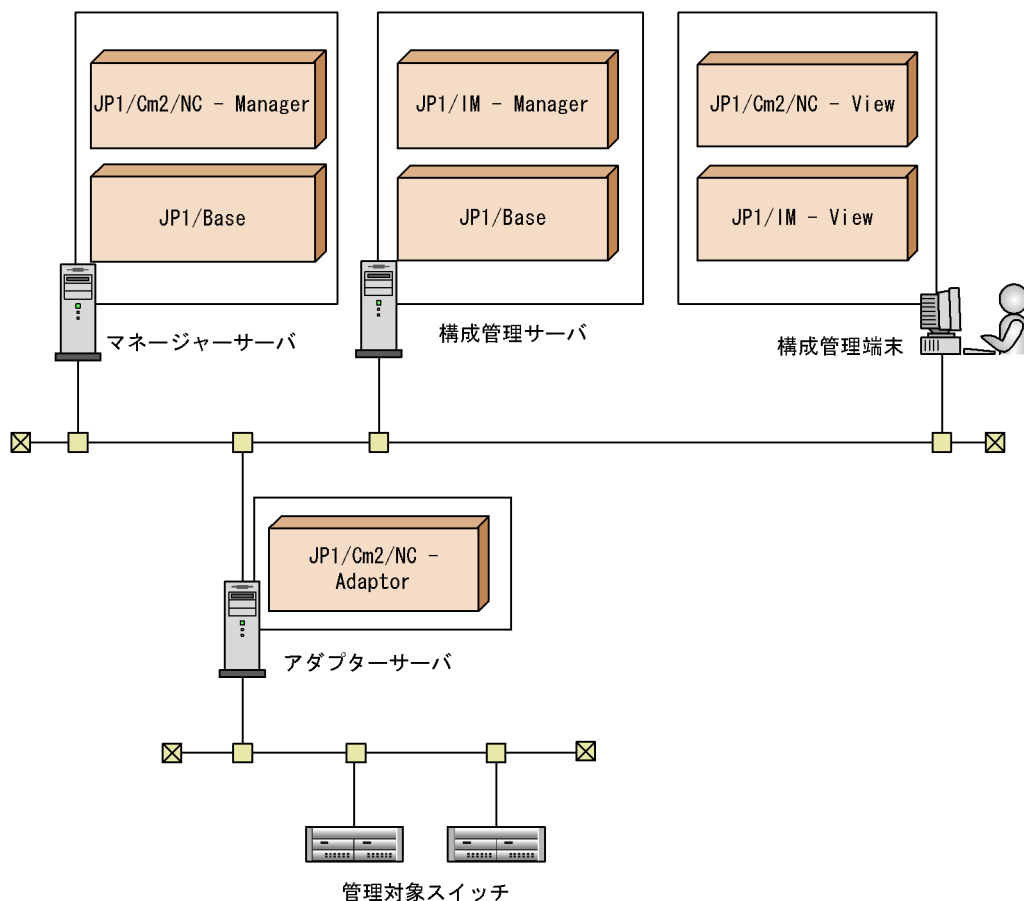


- ① JP1/Cm2/NCでイベントが発生する。
- ② JP1/Cm2/NCがJP1イベントを発行する。
発行したJP1イベントはJP1/Baseに通知される。
- ③ JP1/IM - ViewでJP1/Cm2/NCで発生したイベントの情報を表示できる。

6.1.2 システム構成例

JP1/Cm2/NC と JP1/IM を連携するシステム構成例を次の図に示します。

図 6-2 システム構成例（JP1/IM 連携オプション）



！ 注意事項

JP1 イベントの通知および構成情報を取得するには、JP1/Cm2/NC - Manager と JP1/Base を同じマシンにインストールする必要があります。

6.1.3 セットアップ

JP1/IM と連携するためのセットアップについて次に説明します。

(1) JP1 イベントの定義

JP1 イベントを発行するかどうかを定義します。JP1 イベントは、JP1/Cm2/NC - Manager の起動や終了、アダプターとの接続や切断を JP1/IM に通知します。

JP1 イベントを発行する場合は、JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf) の「jp1evt_flag」キーに「Y」を指定します。指定方法については、「5.2.2

JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf)」を参照してください。

(2) 定義ファイルのインストール

JP1/IM と連携するための定義ファイルをインストールします。インストールの手順を次に示します。

1. 「JP1/Cm2/NC - Manager インストール先フォルダ ¥conf¥」ディレクトリにあるイベント拡張属性定義ファイル (hitachi_jp1_cm2ncm_attr_ja.conf) を「Console パス ¥conf¥console¥attribute¥」ディレクトリにコピーする。
コピー先に同一名称のファイルが存在した場合は、上書きしてください。
Console パスとは、JP1/IM を構成する JP1/IM - CC のインストール先フォルダ (システムドライブ ¥Program Files¥HITACHI¥JP1Cons) のことです。

付録

付録 A ファイルおよびディレクトリー一覧

付録 B JP1 イベント

付録 C ポート番号一覧

付録 D 制限値一覧

付録 E コマンド一覧および文法記載先マニュアル

付録 F クラスタシステムでの運用

付録 G 各バージョンの変更内容

付録 H このマニュアルの参考情報

付録 I 用語解説

付録 A ファイルおよびディレクトリー一覧

JP1/Cm2/NC で使用するファイル名およびフォルダ名について説明します。

各製品のデフォルトのインストール先フォルダおよびこの節での表記を次に示します。

製品名	デフォルトのインストール先フォルダ	この節での表記
JP1/Cm2/NC - Manager	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥manager	<i>NCM_Path</i>
JP1/Cm2/NC - View	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥view	<i>NCV_Path</i>
JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorax	<i>NCA for AX_Path</i>
JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorbs	<i>NCA for BS_Path</i>
JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorcs	<i>NCA for CS_Path</i>
JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorbi	<i>NCA for BI_Path</i>
JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adptorgs	<i>NCA for GS_Path</i>
JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/ Loadflowbal	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorlf	<i>NCA for LF_Path</i>
JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorst	<i>NCA for ST_Path</i>

各表の「デフォルトのフォルダ名」には、JP1/Cm2/NC をデフォルトでインストールした場合のフォルダ名を記載しています。

(1) 各プログラムのフォルダー一覧

各プログラムのフォルダー一覧を次に示します。

表 A-1 JP1/Cm2/NC - Manager のフォルダー一覧

内容	デフォルトのフォルダ名
実行形式ファイル格納フォルダ	<i>NCM_Path¥bin</i>
定義ファイル格納フォルダ	<i>NCM_Path¥conf</i>
DB ファイル格納フォルダ	<i>NCM_Path¥db</i>
ログファイル格納フォルダ	<i>NCM_Path¥log</i>
標準定義ファイル格納フォルダ	<i>NCM_Path¥newconfig</i>

内容	デフォルトのフォルダ名
一時ファイル格納フォルダ	<i>NCM_Path</i> ¥tmp
トレースファイル格納フォルダ	<i>NCM_Path</i> ¥trace
サンプルファイル格納フォルダ	<i>NCM_Path</i> ¥usertools
統合トレースログファイル格納フォルダ	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool

表 A-2 JP1/Cm2/NC - View のフォルダー一覧

内容	デフォルトのフォルダ名
実行形式ファイル格納フォルダ	<i>NCV_Path</i> ¥bin
クラスファイル格納フォルダ	<i>NCV_Path</i> ¥classes
定義ファイル格納フォルダ	<i>NCV_Path</i> ¥conf
Java 実行環境ファイル格納フォルダ	<i>NCV_Path</i> ¥jre
ログファイル格納フォルダ	<i>NCV_Path</i> ¥log
標準定義ファイル格納フォルダ	<i>NCV_Path</i> ¥newconfig
構成パラメーター定義サンプルファイル格納フォルダ	<i>NCV_Path</i> ¥newconfig¥clecmd
スキーマ格納フォルダ	<i>NCV_Path</i> ¥schema
一時ファイル格納フォルダ	<i>NCV_Path</i> ¥tmp
トレースファイル格納フォルダ	<i>NCV_Path</i> ¥trace
サンプルファイル格納フォルダ	<i>NCV_Path</i> ¥usertools
統合トレースログファイル格納フォルダ	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool

表 A-3 JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series のフォルダー一覧

内容	デフォルトのフォルダ名
実行形式ファイル格納フォルダ	<i>NCA for AX_Path</i> ¥bin
定義ファイル格納フォルダ	<i>NCA for AX_Path</i> ¥conf
ログファイル格納フォルダ	<i>NCA for AX_Path</i> ¥log
標準定義ファイル格納フォルダ	<i>NCA for AX_Path</i> ¥newconfig
一時ファイル格納フォルダ	<i>NCA for AX_Path</i> ¥tmp
トレースファイル格納フォルダ	<i>NCA for AX_Path</i> ¥trace
サンプルファイル格納フォルダ	<i>NCA for AX_Path</i> ¥usertools
統合トレースログファイル格納フォルダ	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool

表 A-4 JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series のフォルダー一覧

内容	デフォルトのフォルダ名
実行形式ファイル格納フォルダ	<i>NCA for BS_Path¥bin</i>
定義ファイル格納フォルダ	<i>NCA for BS_Path¥conf</i>
ログファイル格納フォルダ	<i>NCA for BS_Path¥log</i>
標準定義ファイル格納フォルダ	<i>NCA for BS_Path¥newconfig</i>
一時ファイル格納フォルダ	<i>NCA for BS_Path¥tmp</i>
トレースファイル格納フォルダ	<i>NCA for BS_Path¥trace</i>
サンプルファイル格納フォルダ	<i>NCA for BS_Path¥usertools</i>
統合トレースログファイル格納フォルダ	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool

表 A-5 JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch のフォルダー一覧

内容	デフォルトのフォルダ名
実行形式ファイル格納フォルダ	<i>NCA for CS_Path¥bin</i>
定義ファイル格納フォルダ	<i>NCA for CS_Path¥conf</i>
ログファイル格納フォルダ	<i>NCA for CS_Path¥log</i>
標準定義ファイル格納フォルダ	<i>NCA for CS_Path¥newconfig</i>
一時ファイル格納フォルダ	<i>NCA for CS_Path¥tmp</i>
トレースファイル格納フォルダ	<i>NCA for CS_Path¥trace</i>
サンプルファイル格納フォルダ	<i>NCA for CS_Path¥usertools</i>
統合トレースログファイル格納フォルダ	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool

表 A-6 JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer のフォルダー一覧

内容	デフォルトのフォルダ名
実行形式ファイル格納フォルダ	<i>NCA for BL_Path¥bin</i>
定義ファイル格納フォルダ	<i>NCA for BL_Path¥conf</i>
ログファイル格納フォルダ	<i>NCA for BL_Path¥log</i>
標準定義ファイル格納フォルダ	<i>NCA for BL_Path¥newconfig</i>
一時ファイル格納フォルダ	<i>NCA for BL_Path¥tmp</i>
トレースファイル格納フォルダ	<i>NCA for BL_Path¥trace</i>
サンプルファイル格納フォルダ	<i>NCA for BL_Path¥usertools</i>
統合トレースログファイル格納フォルダ	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool

表 A-7 JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series のフォルダー一覧

内容	デフォルトのフォルダ名
実行形式ファイル格納フォルダ	<i>NCA for GS_Path¥bin</i>
定義ファイル格納フォルダ	<i>NCA for GS_Path¥conf</i>
ログファイル格納フォルダ	<i>NCA for GS_Path¥log</i>
標準定義ファイル格納フォルダ	<i>NCA for GS_Path¥newconfig</i>
一時ファイル格納フォルダ	<i>NCA for GS_Path¥tmp</i>
トレースファイル格納フォルダ	<i>NCA for GS_Path¥trace</i>
サンプルファイル格納フォルダ	<i>NCA for GS_Path¥usertools</i>
統合トレースログファイル格納フォルダ	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool

表 A-8 JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal のフォルダー一覧

内容	デフォルトのフォルダ名
実行形式ファイル格納フォルダ	<i>NCA for LF_Path¥bin</i>
定義ファイル格納フォルダ	<i>NCA for LF_Path¥conf</i>
ログファイル格納フォルダ	<i>NCA for LF_Path¥log</i>
標準定義ファイル格納フォルダ	<i>NCA for LF_Path¥newconfig</i>
一時ファイル格納フォルダ	<i>NCA for LF_Path¥tmp</i>
トレースファイル格納フォルダ	<i>NCA for LF_Path¥trace</i>
サンプルファイル格納フォルダ	<i>NCA for LF_Path¥usertools</i>
統合トレースログファイル格納フォルダ	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool

表 A-9 JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager のフォルダー一覧

内容	デフォルトのフォルダ名
実行形式ファイル格納フォルダ	<i>NCA for ST_Path¥bin</i>
定義ファイル格納フォルダ	<i>NCA for ST_Path¥conf</i>
ログファイル格納フォルダ	<i>NCA for ST_Path¥log</i>
標準定義ファイル格納フォルダ	<i>NCA for ST_Path¥newconfig</i>
一時ファイル格納フォルダ	<i>NCA for ST_Path¥tmp</i>
トレースファイル格納フォルダ	<i>NCA for ST_Path¥trace</i>
サンプルファイル格納フォルダ	<i>NCA for ST_Path¥usertools</i>
統合トレースログファイル格納フォルダ	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool

(2) ISAM 関連ファイル一覧

JP1/Cm2/NC で使用される ISAM 関連ファイルの一覧を次に示します。

表 A-10 ISAM 関連ファイル一覧

ファイル名	デフォルトの格納フォルダ
NCM_ACL_INTR	NCM_Path¥db
NCM_AX_ACLLST	
NCM_AX_ENHINF	
NCM_AX_ESSNINF	
NCM_AX_IPV4INF	
NCM_AX_IPV4PKT	
NCM_AX_IPV6INF	
NCM_AX_MACFLTR	
NCM_AX_PORTINF	
NCM_BI_POOL	
NCM_BI_POOLBIND	
NCM_BI_RSPT	
NCM_BS_ACLINF	
NCM_BS_ENHANCE	
NCM_BS_FLWCTL	
NCM_BS_IPINF	
NCM_BS_MACINF	
NCM_BS_PROTINF	
NCM_BS_QOSINF	
NCM_BS_UPLINK	
NCM_CS_PORTMODE	
NCM_CS_VLANBAS	
NCM_CS_VLANENH	
NCM_CS_VTP	
NCM_DBVERSION	
NCM_ES_APOLINF	
NCM_ES_BINDINF	
NCM_ES_BINDLKP	
NCM_ES_COMINF	
NCM_ES_GENINF	
NCM_ES_GRPINF	

ファイル名	デフォルトの格納フォルダ
NCM_ES_POLINF	
NCM_ES_RSINF	
NCM_ES_ZONINF	
NCM_PORT_PROF	
NCM_RS_CONF	
NCM_RS_PORT	
NCM_SLB_SWCONF	
NCM_SVR_BIND	
NCM_SWTH_CONFIG	
NCM_SWTH_LOOKUP	
NCM_SWTH_PORT	
NCM_SWTH_PROTOC	
NCM_VLAN_CONFIG	
NCM_VLAN_INF	
NCM_VLAN_IPADDR	
NCM_VLAN_PORT	
NCM_VLAN_PROTOC	
NCM_VS_CONF	
NCM_VS_PORT	

注

各ファイルの拡張子は、次のどれかになります。

- キー定義ファイルの場合、「.KDF」
- 主キーファイルの場合、「.K01」
- 副キーファイルの場合、「.Knn」（「nn」には 02 ～ 99 の値が入ります）
- データファイルの場合、「.DRF」

付録 B JP1 イベント

ここでは、JP1/Cm2/NC の JP1 イベントについて説明します。

JP1 イベントの種類を次の表に示します。

表 B-1 JP1 イベント一覧

イベント ID	発行のタイミング	JP1/IM - View に表示されるメッセージ
0x00005300	JP1/Cm2/NC - Manager サービスの起動	マネージャーが起動しました。
0x00005301	JP1/Cm2/NC - Manager サービスの停止	マネージャーが停止しました。
0x00005302	JP1/Cm2/NC - Manager サービスの起動失敗	マネージャーの起動が失敗しました。
0x00005303	JP1/Cm2/NC - Manager サービスの異常終了	マネージャーが異常終了しました。
0x00005304	アダプターとの接続	アダプター種別 とのコネクションを確立しました。
0x00005305	アダプターとの接続切断	アダプター種別 とのコネクションを解放しました。

注

アダプター種別は、アダプターの種類によって出力内容が変わります。次の表にアダプターの種類とメッセージでの表記を示します。

表 B-2 アダプターの種類とメッセージでの表記

アダプターの種類	メッセージでの表記
JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series	AX アダプター (AX adaptor)
JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series	BS アダプター (BS adaptor)
JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch	CS アダプター (CS adaptor)
JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer	BI アダプター (BI adaptor)
JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series	GS アダプター (GS adaptor)
JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal	LF アダプター (LF adaptor)
JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager	ST アダプター (ST adaptor)

付録 C ポート番号一覧

ここでは、JP1/Cm2/NC が使用するポート番号と、ファイアウォールを通過するための方向について説明します。JP1/Cm2/NC で使用するポート番号は、製品のインストール時にデフォルトとして設定されています。ユーザー環境に合わせて任意の番号に変更することもできます。使用するプロトコルは TCP/IP です。

付録 C.1 JP1/Cm2/NC が使用するポート番号

JP1/Cm2/NC が使用するポート番号を次の表に示します。

表 C-1 JP1/Cm2/NC が使用するポート番号

ポート番号	製品名	説明
20344/tcp	JP1/Cm2/NC - Manager	JP1/Cm2/NC - View, または JP1/Cm2/NC - Adaptor との通信。

付録 C.2 ファイアウォールの通過方向

ファイアウォールの通過方向を、次の表に示します。ポート番号に対して確立されたコネクションについて、双方向に通信できるように設定してください。

表 C-2 ファイアウォールの通過方向

サーバ側製品	ポート番号	ファイアウォールの通過方向	クライアント側製品	ポート番号
JP1/Cm2/NC - Manager	20344/tcp		JP1/Cm2/NC - View	ANY
JP1/Cm2/NC - Manager	20344/tcp		JP1/Cm2/NC - Adaptor	ANY

表 C-3 ファイアウォールの通過方向（管理対象スイッチ～アダプターサーバ間）

管理対象スイッチ（サーバ側）	ポート番号	ファイアウォールの通過方向	JP1/Cm2/NC - Adaptor（クライアント側）	ポート番号
AX2400S, AX3600S, AX5400S, および AX7800S	23/tcp		JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series	ANY
BIG-IP	443/tcp		JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer	ANY
BS1000, BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40	23/tcp		JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series	ANY
Cisco Catalyst	23/tcp		JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch	ANY

管理対象スイッチ (サーバ側)	ポート 番号	ファイアウォールの通過方 向	JP1/Cm2/NC - Adaptor (クライアント側)	ポート 番号
GS3000 および GS4000	23/tcp		JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series	ANY
HA8000-ie/ Loadflowbal	23/tcp		JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/ Loadflowbal	ANY
STM	8010/ tcp		JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager	ANY

コネクション確立時は、表中のポート番号を、接続を受ける側（矢印が向いている側）が使用します。ANY は、OS によって割り当てられる空きポート番号を使用することを意味します。この場合に使用するポート番号の範囲は、OS によって異なります。

付録 D 制限値一覽

付録 D.1 文字の制限

次に示す文字は、JP1/Cm2/NC でスイッチ名や備考（コメント）などを設定する場合に使用できません。

シフト JIS と SJIS で、UCS-2 に対してマッピングが異なる文字

$$\sim \parallel - \pounds \pounds \neg$$

丸付き数字（シフト JIS のコード番号：8740 ～ 8753）

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳

ローマ数字の大文字 (シフト JIS のコード番号 : 8754 ~ 875D)

I II III IV V VI VII VIII IX X

単位の記号類（シフト JIS のコード番号：875F ~ 8775）

ミリ キロ セン メートル トン アル ヘクタール リットル カロリー ドル セント パーセント mm cm km mg kg cc m²

その他の記号類（シフト JIS のコード番号：877E ~ 879C）

平成 〃 No. K.K. TEL 上 中 下 左 右 (株) (有) (代) 明治 大正 昭和

IBM 拡張文字コード表 (シフト JIS のコード番号 : FA40 ~ FC4B)

区点		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
シフトJIS		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
FA40	11501	i	ii	iii	iv	v	vi	vii	viii	ix	x	I	II	III	IV	V	VI
FA50	11517	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	X	一	丨	丿	ㄣ	(株)	No.	TEL	∴	續	襲	鎡	銑
FA60	11533	𪛗	𪛘	𪛚	𪛜	精	銀	昇	𪛞	丨	仝	任	𪛞	仔	但	𪛟	倭
FA70	11549	𪛠	𪛡	𪛣	𪛥	𪛧	𪛩	𪛫	𪛭	𪛯	𪛱	𪛳	𪛵	𪛷	𪛹	𪛻	𪛽
FA80	11564	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿
FA90	11580	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿
FAA0	11602	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿
FAB0	11618	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿
FAC0	11634	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿
FAD0	11650	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿
FAE0	11666	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿
FAF0	11682	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿			
FB40	11701	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿
FB50	11717	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿
FB60	11733	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿
FB70	11749	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿
FB80	11764	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿
FB90	11780	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿
FBA0	11802	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿
FBB0	11818	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿
FBC0	11834	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿
FBD0	11850	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿
FBE0	11866	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿
FBF0	11882	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿
FC40	11901	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿	𪛿

NEC 選定 IBM 拡張文字コード表 (シフト JIS のコード番号 : ED40 ~ EEFC)

区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
シフトJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
ED40	8901	續	襲	鎡	銑	葩	悟	炆	昱	精	銀	昇	𪔐	𪔑	任	公
ED50	8917	仔	但	倂	佻	佻	倂	倂	倂	倂	倂	倂	倂	倂	倂	倂
ED60	8933	倂	倂	倂	倂	倂	倂	倂	倂	倂	倂	倂	倂	倂	倂	倂
ED70	8949	厓	厲	𪔒	𪔓	𪔔	𪔕	𪔖	𪔗	𪔘	𪔙	𪔚	𪔛	𪔜	𪔝	𪔞
ED80	8964	塚	増	𪔟	𪔠	𪔡	𪔢	𪔣	𪔤	𪔥	𪔦	𪔧	𪔨	𪔩	𪔪	𪔫
ED90	8980	𪔬	𪔭	𪔮	𪔯	𪔰	𪔱	𪔲	𪔳	𪔴	𪔵	𪔶	𪔷	𪔸	𪔹	𪔺
EDA0	9002	𪔻	𪔼	𪔽	𪔾	𪔿	𪕀	𪕁	𪕂	𪕃	𪕄	𪕅	𪕆	𪕇	𪕈	𪕉
EDB0	9018	𪕊	𪕋	𪕌	𪕍	𪕎	𪕏	𪕐	𪕑	𪕒	𪕓	𪕔	𪕕	𪕖	𪕗	𪕘
EDC0	9034	𪕙	𪕚	𪕛	𪕜	𪕝	𪕞	𪕟	𪕠	𪕡	𪕢	𪕣	𪕤	𪕥	𪕦	𪕧
EDD0	9050	𪕨	𪕩	𪕪	𪕫	𪕬	𪕭	𪕮	𪕯	𪕰	𪕱	𪕲	𪕳	𪕴	𪕵	𪕶
EDE0	9066	𪕷	𪕸	𪕹	𪕺	𪕻	𪕼	𪕽	𪕾	𪕿	𪖀	𪖁	𪖂	𪖃	𪖄	𪖅
EDF0	9082	𪖆	𪖇	𪖈	𪖉	𪖊	𪖋	𪖌	𪖍	𪖎	𪖏	𪖐	𪖑	𪖒	𪖓	𪖔
EE40	9101	𪖕	𪖖	𪖗	𪖘	𪖙	𪖚	𪖛	𪖜	𪖝	𪖞	𪖟	𪖠	𪖡	𪖢	𪖣
EE50	9117	𪖤	𪖥	𪖦	𪖧	𪖨	𪖩	𪖪	𪖫	𪖬	𪖭	𪖮	𪖯	𪖰	𪖱	𪖲
EE60	9133	𪖳	𪖴	𪖵	𪖶	𪖷	𪖸	𪖹	𪖺	𪖻	𪖼	𪖽	𪖾	𪖿	𪗀	𪗁
EE70	9149	𪗂	𪗃	𪗄	𪗅	𪗆	𪗇	𪗈	𪗉	𪗊	𪗋	𪗌	𪗍	𪗎	𪗏	𪗐
EE80	9164	𪗑	𪗒	𪗓	𪗔	𪗕	𪗖	𪗗	𪗘	𪗙	𪗚	𪗛	𪗜	𪗝	𪗞	𪗟
EE90	9180	𪗠	𪗡	𪗢	𪗣	𪗤	𪗥	𪗦	𪗧	𪗨	𪗩	𪗪	𪗫	𪗬	𪗭	𪗮
EEA0	9202	𪗯	𪗰	𪗱	𪗲	𪗳	𪗴	𪗵	𪗶	𪗷	𪗸	𪗹	𪗺	𪗻	𪗼	𪗽
EEB0	9218	𪗾	𪗿	𪘀	𪘁	𪘂	𪘃	𪘄	𪘅	𪘆	𪘇	𪘈	𪘉	𪘊	𪘋	𪘌
EEC0	9234	𪘍	𪘎	𪘏	𪘐	𪘑	𪘒	𪘓	𪘔	𪘕	𪘖	𪘗	𪘘	𪘙	𪘚	𪘛
EED0	9250	𪘜	𪘝	𪘞	𪘟	𪘠	𪘡	𪘢	𪘣	𪘤	𪘥	𪘦	𪘧	𪘨	𪘩	𪘪
EEE0	9266	𪘫	𪘬	𪘭	𪘮	𪘯	𪘰	𪘱	𪘲	𪘳	𪘴	𪘵	𪘶	𪘷	𪘸	𪘹
EEF0	9282	𪘺	𪘻	𪘼	𪘽	𪘾	𪘿	𪙀	𪙁	𪙂	𪙃	𪙄	𪙅	𪙆	𪙇	𪙈

付録 E コマンド一覧および文法記載先マニュアル

JP1/Cm2/NC で使用できるコマンドの一覧および文法が記載されているマニュアルを示します。

コマンド一覧は、次のグループに分けて記載します。

- JP1/Cm2/NC を制御するコマンド
- HNTRLib2 用コマンド
- ISAM 関連のコマンド
- CLI 運用関連のコマンド
- トラブルシューティング関連のコマンド

(凡例)

機能・構築：

このマニュアルで説明しています。

運用・操作：

マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 運用・操作ガイド」で説明しています。

CLI 運用：

マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration CLI 運用ガイド」で説明しています。

トラブル：

マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration トラブルシューティング」で説明しています。

表 E-1 JP1/Cm2/NC を制御するコマンド一覧（JP1/Cm2/NC - Manager 関連）

コマンド名	機能	記載マニュアル
ncmuser	マネージャーサーバにログインを許可するユーザーを設定するためのコマンドです。	機能・構築
ncmconvertdb	マネージャーサーバの DB を旧バージョン形式から新バージョン形式に変換するためのコマンドです。	
ncmcreatedb	マネージャーサーバの DB を作成するためのコマンドです。	トラブル
ncmunlock	マネージャーサーバの DB に掛けられたロックを強制的に解除するためのコマンドです。	

表 E-2 JP1/Cm2/NC を制御するコマンド一覧 (JP1/Cm2/NC - Adaptor 関連)

コマンド名	対象製品	機能	記載マニュアル
ncaxpwd	JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series	JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンドです。管理対象スイッチへのアクセス用パスワードを登録します。また、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に設定したすべてのスイッチを一覧で表示するために使用します。	機能・構築
ncabipwd	JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer		
ncabspwd	JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series		
ncacspwd	JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch		
ncagspwd	JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series		
ncalfpwd	JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/ Loadflowbal		
ncastpwd	JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager		

表 E-3 HNTRLib2 用コマンド一覧

コマンド名	機能	記載マニュアル
hntr2util	HNTRLib2 用コマンドです。統合トレース (HNTRLib2) が出力する統合トレースログファイルの設定を変更するためのコマンドです。	機能・構築

表 E-4 ISAM 関連のコマンド一覧

コマンド名	機能	記載マニュアル
ncmischk	ISAM ファイル (索引順編成ファイル) を検証するためのコマンドです。	トラブル
ncmiscond	ISAM ファイルの無効領域を圧縮するためのコマンドです。	運用・操作
ncmisinfo	ISAM キー定義情報を表示するためのコマンドです。	
ncmismlocktr	ISAM ロックテーブルの情報を表示するためのコマンドです。	トラブル

表 E-5 CLI 運用関連のコマンド一覧

コマンド名	機能	記載マニュアル
nevclecmd	CLI を実行するためのコマンドです。	CLI 運用
nevcsetup	CLI の環境設定をするためのコマンドです。	

表 E-6 トラブルシューティング関連のコマンド一覧

コマンド名	対象製品	機能	記載マニュアル
ncmlog.bat	JP1/Cm2/NC - Manager (32 ビット版 OS の場合)	障害発生時に資料を採取するためのコマンドです。	トラブル
ncmlog_x64.bat	JP1/Cm2/NC - Manager (64 ビット版 OS の場合)		
ncvlog.bat	JP1/Cm2/NC - View (32 ビット版 OS の場合)		
ncvlog_x64.bat	JP1/Cm2/NC - View (64 ビット版 OS の場合)		
ncaxlog.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series		
ncabilog.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer		
ncabslog.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series (32 ビット版 OS の場合)		
ncabslog_x64.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series (64 ビット版 OS の場合)		
ncacslog.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch		
ncagslog.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series		
ncalflog.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/ Loadflowbal		

コマンド名	対象製品	機能	記載マニュアル
ncastlog.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager		

付録 F クラスタシステムでの運用

ここでは、JP1/Cm2/NC をクラスタシステム上で動作させる場合の JP1/Cm2/NC の環境設定について説明します。

付録 F.1 クラスタシステムに対応するプログラム

クラスタシステムに対応するプログラムを次に示します。

- JP1/Cm2/NC - Manager
- JP1/Cm2/NC - View
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager

付録 F.2 対象とするクラスタシステム

JP1/Cm2/NC が対象とするクラスタシステムを次に示します。

表 F-1 対象とするクラスタシステム

OS	クラスタシステム
Microsoft(R) Windows(R) 2000 Advanced Server Operating System	Microsoft Cluster Service
<ul style="list-style-type: none">• Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise Edition• Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise x64 Edition• Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise Edition• Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise x64 Edition	Microsoft Cluster Service

OS	クラスタシステム
<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise Edition • Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard Edition • Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise x64 Edition • Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard x64 Edition • Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2, Datacenter Edition • Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2, Enterprise Edition • Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2, Standard Edition 	Windows Server Failover Cluster

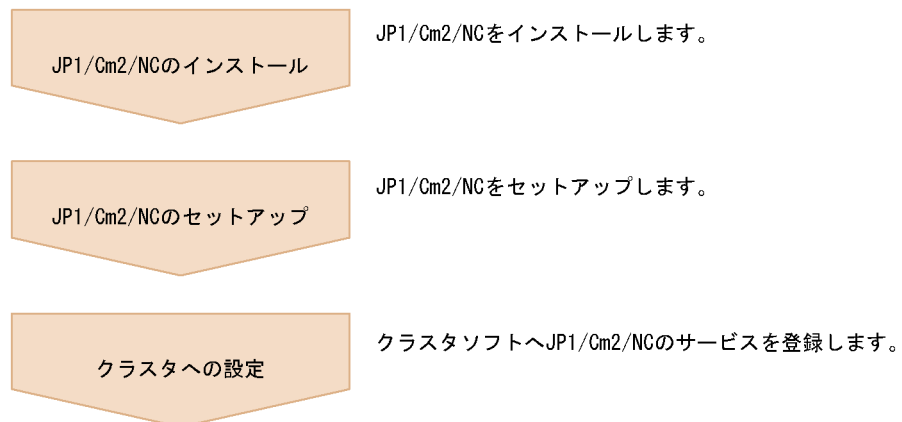
付録 F.3 インストールとセットアップ

ここでは、JP1/Cm2/NC をクラスタシステムで運用する場合のインストールとセットアップについて説明します。初めに、作業全体の流れを示したあと、インストールとアンインストールについて説明しています。

(1) インストールとセットアップの流れ

インストールとセットアップの流れを次の図に示します。なお、クラスタの環境設定および動作確認はすべて終了していることを前提とします。

図 F-1 インストールとセットアップの流れ



(2) インストールとアンインストール

この節では、JP1/Cm2/NC のプログラムのインストール手順とアンインストール手順について説明します。「3.2 インストールとアンインストール」を参照してください。なお、アンインストールするときに JP1/Cm2/NC の各プログラムを終了する方法について

は、マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 運用・操作ガイド」を参照してください。

(a) インストール

クラスタを停止した状態で、実行系および待機系の物理ホストに JP1/Cm2/NC をインストールします。なお、共有ディスクへのインストールはしないでください。必ず、各物理ホストのディスク上にインストールしてください。

(b) 上書きインストール

上書きインストールする場合の手順を次に示します。

1. クラスタを停止する。
2. 待機系の JP1/Cm2/NC を上書きインストールする。
3. 実行系から待機系にホストを切り替える。
4. 実行系の JP1/Cm2/NC を上書きインストールする。

(c) アンインストール

クラスタを停止した状態で、それぞれの物理ホストから JP1/Cm2/NC をアンインストールします。

(3) セットアップ

クラスタと JP1/Cm2/NC を停止した状態で、実行系および待機系のホストでそれぞれ JP1/Cm2/NC をセットアップします。JP1/Cm2/NC のセットアップ方法については、「3.3 セットアップ」を参照してください。なお、運用中に設定を変更する場合は、実行系で変更した設定を待機系でも変更してください。

! 注意事項

セットアップするときには次の点に注意してください。

- JP1/Cm2/NC - Adaptor の接続先となる JP1/Cm2/NC - Manager がクラスタ環境で動作する場合には、JP1/Cm2/NC - Adaptor スイッチ定義ファイル (nca.conf) の「mgr_host」キーに、接続先の JP1/Cm2/NC - Manager の論理 IP アドレスまたはそれに対応するホスト名を指定してください。JP1/Cm2/NC - Adaptor スイッチ定義ファイル (nca.conf) の設定については、「5. 定義ファイル」の該当する JP1/Cm2/NC - Adaptor スイッチ定義ファイルの説明を参照してください。
- JP1/Cm2/NC - View の接続先となる JP1/Cm2/NC - Manager がクラスタ環境で動作する場合には、JP1/Cm2/NC - View ログイン画面の接続ホスト名および JP1/Cm2/NC - View 接続先定義ファイル (ncvdest.conf) の「mgr_host」キーに、接続先の JP1/Cm2/NC - Manager の論理 IP アドレスまたはホスト名を指定してください。JP1/Cm2/NC - View 接続先定義ファイル (ncvdest.conf) の設定については、「5.2.3 JP1/Cm2/NC - View 接続先定義ファイル (ncvdest.conf)」を参照してください。

(4) クラスタへの設定

クラスタのパッケージに JP1/Cm2/NC のサービスを登録します。

付録 F.4 クラスタシステムで運用する場合の注意事項

JP1/Cm2/NC をクラスタシステムで運用する場合の注意事項を説明します。

クラスタシステムでの JP1/Cm2/NC の運用は、アクティブ・スタンバイ構成での運用に限ります。アクティブ・アクティブ構成では運用できません。なお、JP1/Cm2/NC - View については、各サーバでの運用に限ります。JP1/Cm2/NC - View はクラスタシステムで使用する場合でも、クラスタソフトと連携してフェールオーバー対応するのではなく、各サーバで実行する JP1 製品です。

系切り替えが発生したときにネットワーク構成情報の設定・取得処理中であった場合、設定中または取得中の情報は破棄されます。

JP1/Cm2/NC - Manager が動作するホストの系切り替え時、JP1/Cm2/NC - Manager と接続中の JP1/Cm2/NC - View、JP1/Cm2/NC - Adaptor とのコネクションは切断されます。

JP1/Cm2/NC - Adaptor が動作するホストの系切り替え時、JP1/Cm2/NC - Adaptor と接続中の JP1/Cm2/NC - Manager とのコネクションは切断されます。

実行系で VLAN 定義情報を追加または変更後、JP1/Cm2/NC - Manager が動作するホストの系切り替えを行ったときに、待機系でも同様に VLAN 定義情報を追加または変更してください。

実行系でスイッチに対するネットワーク構成情報の設定後、JP1/Cm2/NC - Manager が動作するホストの系切り替えを行ったときに、待機系で該当するスイッチに対して構成情報の同期をとってください。

JP1/Cm2/NC - Manager と JP1/Cm2/NC - Adaptor がクラスタ環境で動作する場合で、かつ同じグループに登録して運用する場合は、クラスタの設定で JP1/Cm2/NC - Adaptor がオンラインとなる前に、JP1/Cm2/NC - Manager がオンラインとなるように設定してください。

JP1/IM 連携オプションを使用する場合で、かつ JP1/Cm2/NC - Manager がクラスタ環境で動作する場合は、クラスタソフトへの登録時に JP1/Base と同じグループに登録してください。また、クラスタの設定で JP1/Cm2/NC - Manager がオンラインとなる前に、JP1/Base がオンラインとなるように設定してください。

付録 G 各バージョンの変更内容

(1) 09-01 の変更内容

- BS2000 および BS320 に対して、アップリンクフェイルオーバーを設定および管理できるようにした。
- バージョンの異なるマネージャーと各プログラムの互換性の一覧にバージョン 09-01 を追加した。
- ISAM 関連ファイルに以下を追加した。
 - NCM_BS_ENHANCE
 - NCM_BS_UPLINK
- 対象とするクラスタシステムに「Windows Server Failover Cluster」を追加した。

(2) 09-00 の変更内容

- JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS1000 の後継製品として JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series を提供し、サポートする管理対象スイッチに BS2000 を追加した。
- Cosminexus 連携サポートを中止した。
- JP1/IM 連携の次の機能を中止した。
 - JP1/IM による構成情報の取得
 - JP1/IM からの JP1/Cm2/NC - View の起動
- JP1/Cm2/NC - Manager の適用 OS に Windows Server 2003(x64) , Windows Server 2003 R2(x64) および Windows Server 2008 を追加した。
- JP1/Cm2/NC -View の適用 OS に Windows Server 2003(x64) ,Windows Server 2003 R2(x64) , Windows Vista , および Windows Server 2008 を追加した。
- トラブルシューティング関連の次のコマンドを追加した。
ncabslog_x64.bat , ncmlog_x64.bat , ncvlog_x64.bat

(3) 08-10 の変更内容

- 小型 BS の名称を BS320 に変更した。
- AX2400S , AX3600S および BS320 のサポートする機能にアクセス制御を追加した。
- JP1/Cm2/NC で使用される ISAM 関連ファイルに次のファイルを追加した。
NCM_ACL_INTR , NCM_AX_ACLLIST , NCM_AX_IPV4INF ,
NCM_AX_IPV4PKT , NCM_AX_IPV6INF , NCM_AX_MACFLTR

(4) 08-00 の変更内容

- BS1000 について、アクセス制御および QoS 制御の設定・管理をサポートした。
- サポートする管理対象スイッチに、AX2400S , AX3600S , および小型 BS を追加した。
- JP1/Cm2/NC - View の画面に、スイッチ構成ビューを追加した。
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に、AX2400S および AX3600S の設定項目を追加した。

- JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS1000 スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に、小型 BS の設定項目を追加した。
- JP1/Cm2/NC - Manager for Cosminexus について、telnet パラメーター定義ファイルのサンプルファイルの格納先を記載した。

なお、08-00 対応マニュアルでは、前版の 07-52 対応マニュアルを 4 分冊しています。

07-52 対応マニュアルと 08-00 対応マニュアルの関係は次のとおりです。

07-52 対応マニュアル		08-00 対応マニュアル		
章番号	タイトル	マニュアル	章番号	タイトル
1 章	JP1/Cm2/NC の概要	機能・構築	1 章	JP1/Cm2/NC の概要
2 章	JP1/Cm2/NC の機能		2 章	JP1/Cm2/NC の機能
3 章	インストールとセットアップ		3 章	インストールとセットアップ
4 章	JP1/Cm2/NC の起動と終了	機能・構築	3.4	運用上の注意事項 ¹
		運用・操作	1 章	JP1/Cm2/NC の起動と終了
5 章	ネットワーク構成情報の表示	運用・操作	2 章	ネットワーク構成情報の表示
6 章	VLAN の設定		3 章	VLAN の設定
7 章	SLB の設定		4 章	SLB の設定
	-		5 章	VLAN および SLB 以外の情報の設定
8 章	画面・基本画面		6 章	画面・基本画面
	-		7 章	画面・VLAN ビューのダイアログボックス (AX2400S・AX3600S・小型 BS)
9 章	画面・VLAN ビューのダイアログボックス (AX5400S・AX7800S・GS3000・GS4000)		8 章	画面・VLAN ビューのダイアログボックス (AX5400S・AX7800S・GS3000・GS4000)
10 章	画面・VLAN ビューのダイアログボックス (BS1000)		9 章	画面・VLAN ビューのダイアログボックス (BS1000)
11 章	画面・VLAN ビューのダイアログボックス (Cisco Catalyst)		10 章	画面・VLAN ビューのダイアログボックス (Cisco Catalyst)
12 章	画面・SLB ビューのダイアログボックス (BIG-IP)		11 章	画面・SLB ビューのダイアログボックス (BIG-IP)
13 章	画面・SLB ビューのダイアログボックス (HA8000-ie/Loadflowbal)		12 章	画面・SLB ビューのダイアログボックス (HA8000-ie/Loadflowbal)
14 章	画面・SLB ビューのダイアログボックス (STM)		13 章	画面・SLB ビューのダイアログボックス (STM)

07-52 対応マニュアル		08-00 対応マニュアル		
章番号	タイトル	マニュアル	章番号	タイトル
-	-		14 章	画面・スイッチ構成ビューの ダイアログボックス (BS1000)
15 章	コマンド	機能・構築	4 章	セットアップ関連コマンド
		運用・操作	15 章	運用関連コマンド
		トラブル	2 章	トラブルシューティング関連 コマンド
16 章	定義ファイル	機能・構築	5 章	定義ファイル
17 章	他製品との連携	機能・構築	6 章	他製品との連携
		トラブル	2 章	トラブルシューティング関連 コマンド ²
18 章	トラブルシューティング	トラブル	1 章	トラブルシューティング
19 章	CLI の概要	CLI	1 章	CLI の概要
20 章	CLI の運用		2 章	CLI の運用
21 章	CLI 関連コマンド		3 章	CLI 関連コマンド
22 章	構成パラメーター定義ファイル		4 章	構成パラメーター定義ファイ ル
23 章	メッセージ	トラブル	3 章	メッセージ
付録 A	ファイルおよびディレクトリ 一覧	機能・構築 ₃	付録 A	ファイルおよびディレクトリ 一覧
		トラブル ₃	付録 A	
付録 B	ポート番号一覧	機能・構築 ₃	付録 B	ポート番号一覧
		トラブル ₃	付録 B	
付録 C	制限値一覧	機能・構築 ₃	付録 C	制限値一覧
		運用・操作 ₃	付録 A	
		CLI ₃	付録 A	
付録 D	JP1/Cm2/NC・Adaptor が発行 するコマンド一覧	運用・操作	付録 B	JP1/Cm2/NC・Adaptor が発行 するコマンド一覧
付録 E	DB 更新時に [Network Element Configuration・View] ウィンドウが取得する情報	運用・操作	付録 C	DB 更新時に [Network Element Configuration・ View] ウィンドウが取得する 情報

07-52 対応マニュアル		08-00 対応マニュアル		
章番号	タイトル	マニュアル	章番号	タイトル
-		機能・構築	付録 D	コマンド一覧および文法記載 先マニュアル
		運用・操作	付録 D	
		CLI	付録 B	
		トラブル	付録 C	
付録 F	クラスタシステムでの運用	機能・構築	付録 E	クラスタシステムでの運用
付録 G	各バージョンの変更内容	機能・構築 ₄	付録 F	各バージョンの変更内容
		運用・操作 ₄	付録 E	
		CLI ₄	付録 C	
		トラブル ₄	付録 D	
付録 H	用語解説	機能・構築 ₃	付録 G	用語解説
		運用・操作 ₃	付録 F	
		CLI ₃	付録 D	
		トラブル ₃	付録 E	

(凡例)

- : 07-52 対応マニュアルには該当しない。

機能・構築 : JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド

運用・操作 : JP1/Cm2/Network Element Configuration 運用・操作ガイド

CLI : JP1/Cm2/Network Element Configuration CLI 運用ガイド

トラブル : JP1/Cm2/Network Element Configuration トラブルシューティング

注 1

07-52 対応マニュアルの「4.4 運用上の注意事項」のうち、システムの運用に関する注意事項
だけ記載しています。

注 2

07-52 対応マニュアルの「17.1.7 JP1/Cm2/NC - Manager for Cosminexus 関連コマンド」の
うち、トラブルシューティングに関するコマンドの記載先を変更しました。

注 3

記述内容は各マニュアル共通です。

注 4

08-00 の変更内容については、各マニュアルで記述内容が異なります。それより前のバージョ
ンの変更内容は、各マニュアルで共通です。

(5) 07-52 の変更内容

- サポートする管理対象スイッチに、STM を追加した。
- JP1/Cm2/NC のプログラムに、JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager を追加した。
- 次のメッセージを追加した。
KDNV10685-E・KDNV10686-E・KDNV10687-E・KDNV10688-E・
KDNV10689-I・KDNV10690-E・KDNV10691-E・KDNV10692-E・
KDNV10693-E・KDNV10694-E

(6) 07-51 の変更内容

- サポートする管理対象スイッチに、AX5400S および AX7800S を追加した。
- サポートする管理対象スイッチに、BIG-IP を追加した。
- サポートする管理対象スイッチに、Cisco Catalyst を追加した。
- JP1/Cm2/NC のプログラムに、JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series を追加した。
- JP1/Cm2/NC のプログラムに、JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch を追加した。
- JP1/Cm2/NC のプログラムに、JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer を追加した。
- CLI (Command Line Interface) によってスイッチを設定する機能をサポートし、JP1/AJS2 などと連携してシステムを自動運用できるようにした。
- 次のメッセージを追加した。
KDNV10129-E ~ KDNV10133-E, KDNV10137-E, KDNV10307-E ~
KDNV10310-E, KDNV10528-E ~ KDNV10567-E, KDNV10637-E ~
KDNV10684-E, KDNV10816-E ~ KDNV10818-E, KDNV11000-E ~
KDNV11006-E, KDNV11012-E, KDNV11025-E, KDNV11031-E,
KDNV11100-E, KDNV11108-E, KDNV11109-E, KDNV11111-E, KDNV11119-E,
KDNV11125-E, KDNV11200-I ~ KDNV11249-I, KDNV11251-I ~
KDNV11257-E, KDNV11300-E ~ KDNV11304-E, KDNV11306-E ~
KDNV11309-E, KDNV11311-E ~ KDNV11321-E, KDNV20110-E,
KDNV20728-E, KDNV20826-E, KDNV21017-E, KDNV30161-E ~
KDNV30173-E
- 次の英文メッセージを追加した。
KDNV30050-E ~ KDNV30055-E, KDNV30060-E ~ KDNV30067-E,
KDNV30070-E, KDNV30071-E, KDNV30090-W ~ KDNV30092-W
- 次のメッセージの説明を変更した。
KDNV30114-E

(7) 07-50 の変更内容

- JP1/IM との連携機能を追加した。
- サポートする管理対象スイッチに、GS3000 を追加した。
- サポートする管理対象スイッチに、BS1000 を追加した。
- JP1/Cm2/NC のプログラムに、JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS1000 を追加した。

- VLAN に追加するスイッチの種類を選択できる [スwitchの選択] ダイアログボックスを追加した。
- スwitchの変更をするときに選択できるスswitchの数を一つだけにした。
- 定義情報を削除するときに選択できるスswitchおよび VLAN の数を複数にした。
- BS1000 用のポート VLAN 設定画面を追加した。
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS1000 用のパスワード設定コマンドである「ncabspwd」を追加した。
- トラブルシューティング関連のコマンドを追加した。
ncabslog.bat , ncacolog.bat , ncmcolog.bat , ncmcolog.sh , ncagslog.bat ,
ncalflog.bat , ncmllog.bat , ncvmlog.bat
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS1000 の定義ファイルを追加した。
- 「JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf)」に、JP1 イベントを発行するかどうかを設定できる [Notify Event] セクションを追加した。
- Cosminexus 連携オプションの対応 OS を追加した。
- JP1/Cm2/NC - Manager for Cosminexus ランタイム部の UNIX マシンへのインストール方法を追加した。
- JP1/Cm2/NC - Manager for Cosminexus ランタイム部 (UNIX) の情報採取ツールで採取できる情報およびフォルダー一覧を追加した。
- クラスタシステムでの運用を追加した。
- 次のメッセージを追加した。
KDNV10126-E ~ KDNV10128-E , KDNV19031-E , KDNV20404-E ,
KDNV20727-E , KDNV21000-E ~ KDNV21003-E , KDNV21005-E ~
KDNV21016-E , KDNV21100-E , KDNV21102-E ~ KDNV21105-W
- 次のメッセージ本文を変更した。
KDNV10006-W , KDNV10108-E , KDNV10116-E , KDNV10124-E ,
KDNV10504-W , KDNV10513-E , KDNV10518-E , KDNV10519-E ,
KDNV10525-E , KDNV10614-E , KDNV10616-I , KDNV10620-I , KDNV19000-E ,
KDNV19001-E , KDNV19006-E , KDNV19008-I ~ KDNV19010-E ,
KDNV19012-E , KDNV19013-I , KDNV19020-E , KDNV19025-E ,
KDNV19028-E , KDNV19029-E , KDNV19066-E , KDNV20505-E ,
KDNV20600-E , KDNV20700-I , KDNV20705-E , KDNV20707-E ~
KDNV20709-E , KDNV20711-E , KDNV20714-E ~ KDNV20716-E ,
KDNV20719-E , KDNV20721-E , ~ KDNV20723-E , KDNV20725-E ,
KDNV20726-E , KDNV20805-I

(8) 07-11 の変更内容

- JP1/Cm2/NC の機能に、サーバロードバランシング (SLB) を管理する機能を追加した。
- 他製品との連携機能を追加した。
- サポートする管理対象スswitchに、HA8000-ie/Loadflowbal を追加した。
- JP1/Cm2/NC のプログラムに、JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal

を追加した。

- JP1/Cm2/NC のメイン画面である [Network Element Configuration -View] ウィンドウを「管理対象ビュー」、「VLAN ビュー」および「SLB ビュー」に細分化した。
- ネットワーク構成ツリーのルートを「ネットワーク」から「ルート」に変更した。
- 構成情報のないスイッチは「管理対象ビュー」だけに表示されるように変更した。
- プログラムのインストールに、バージョンアップを追加した。
- JP1/Cm2/NC - View のログイン画面で、表示するビューを選択するように変更した。
- ショートカットメニューに、[構成情報の同期] を追加した。
- メニューコマンドに、「telnet」を追加した。
- JP1/Cm2/NC - Manager をバージョンアップしたときに使用するコマンドである「nemconvertdb」を追加した。
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal 用コマンドである「ncalcpwd」を追加した。
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal の定義ファイルを追加した。
- 次のメッセージを追加した。
KDNV10124-E, KDNV10125-E, KDNV10600-I ~ KDNV10605-E, KDNV10608-I ~ KDNV10617-E, KDNV10620-I ~ KDNV10628-I, KDNV10634-I ~ KDNV10636-W, KDNV10939-E, KDNV19000-E, KDNV19001-E, KDNV19005-E ~ KDNV19017-E, KDNV19020-E ~ KDNV19030-E, KDNV19041-E, KDNV19052-E, KDNV19064-E ~ KDNV19074-I, KDNV20015-E, KDNV20016-E, KDNV20201-E ~ KDNV20203-E, KDNV20505-E, KDNV20600-E, KDNV20602-E ~ KDNV20604-I, KDNV20700-I ~ KDNV20726-E, KDNV30157-E ~ KDNV30160-E, KDNV31022-E
- 次のメッセージ本文を変更した。
KDNV20801-E
- JP1/Cm2/NC が提供している保守用コマンドを使用するときの注意事項を追加した。
- ネットワーク構成ツリーを再構成したときに取得する情報一覧を追加した。

付録 H このマニュアルの参考情報

このマニュアルを読むに当たっての参考情報を示します。

付録 H.1 関連マニュアル

関連マニュアルを次に示します。必要に応じてお読みください。

JP1/Cm2/NC 関連

JP1 Version 9 JP1/Cm2/Network Element Configuration 運用・操作ガイド
(3020-3-T06)

JP1 Version 9 JP1/Cm2/Network Element Configuration CLI 運用ガイド
(3020-3-T07)

JP1 Version 9 JP1/Cm2/Network Element Configuration トラブルシューティング
(3020-3-T08)

JP1 関連

JP1 Version 9 JP1/Base 運用ガイド (3020-3-R71)

JP1 Version 9 JP1/Integrated Management - Manager 構築ガイド (3020-3-R77)

JP1 Version 9 JP1/Integrated Management - Manager 運用ガイド (3020-3-R78)

JP1 Version 9 JP1/NETM/DM 運用ガイド 1(Windows(R) 用) (3020-3-S81)

BS1000・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 関連

BladeSymphony に同梱されているマニュアルを参照してください。

GS3000・GS4000 関連

解説書 Vol.1 (520-10-016)

解説書 Vol.2 (520-10-017)

コンフィグレーションガイド CLI 編 -CLI タイプ 1 階層入力形式 - (520-10-018)

運用ガイド (520-10-019)

AX2400S・AX3600S 関連

AX2400S または AX3600S に同梱されているマニュアルを参照してください。

AX5400S・AX7800S 関連

AX5400S または AX7800S に同梱されているマニュアルを参照してください。

BIG-IP 関連

BIG-IP に同梱されているマニュアルを参照してください。

Cisco Catalyst 関連

Cisco Catalyst に同梱されているマニュアルを参照してください。

HA8000-ie/Loadflowbal 関連

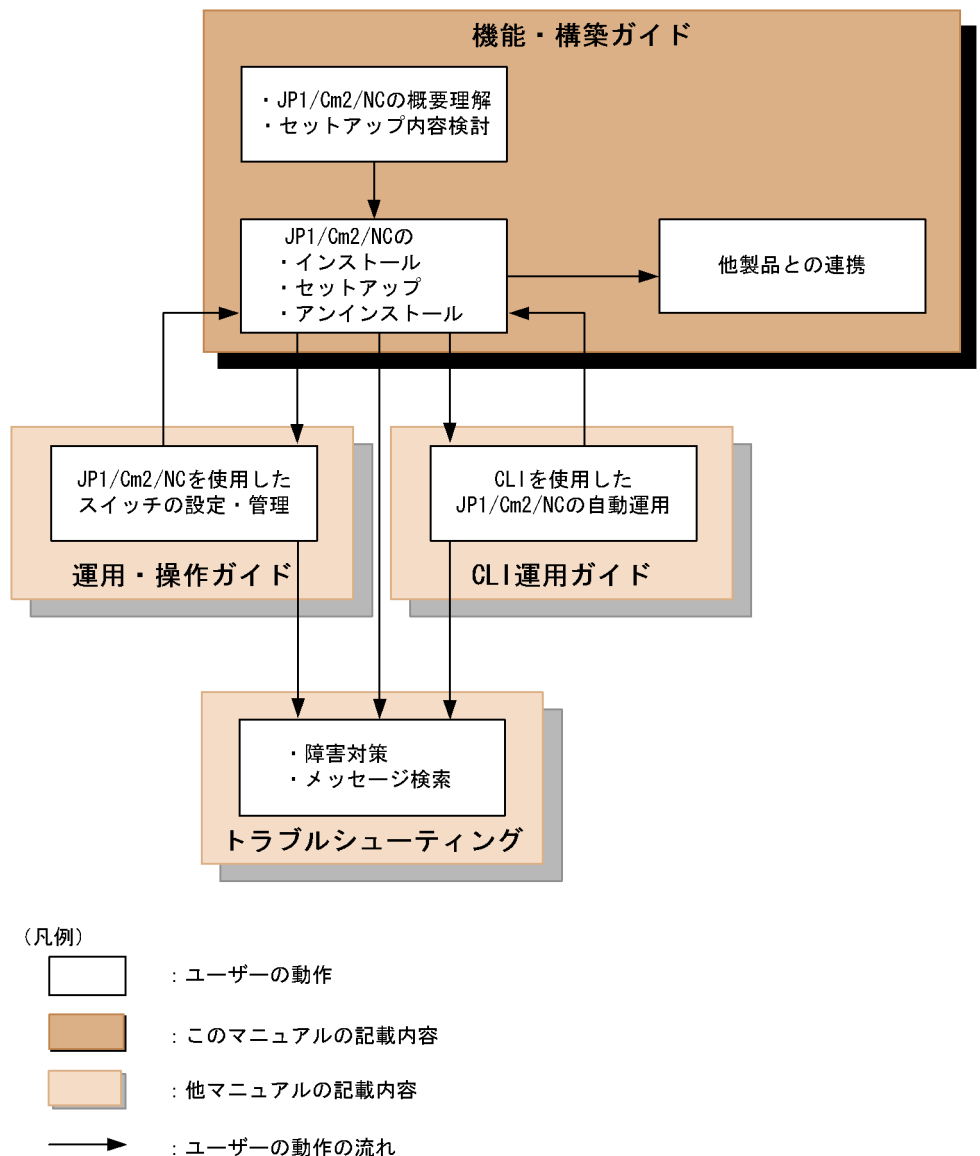
HA8000-ie/Loadflowbal に同梱されているマニュアルを参照してください。

STM 関連

STM に同梱されているマニュアルを参照してください。

付録 H.2 JP1/Cm2/NC の運用サイクルと JP1/Cm2/NC 関連 マニュアルの対応

このマニュアルを含む 4 冊の JP1/Cm2/NC 関連マニュアルは、JP1/Cm2/NC の運用サイクルに沿って参照できます。JP1/Cm2/NC の運用サイクルと JP1/Cm2/NC 関連マニュアルの対応について次の図に示します。



付録 H.3 JP1/Cm2/NC 関連マニュアルの記載内容

JP1/Cm2/NC 関連マニュアルに記載されている内容を次の表に示します。

マニュアル名	記載内容	
	本文	付録
JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド	<ul style="list-style-type: none"> JP1/Cm2/NC の概要および機能の説明 JP1/Cm2/NC のインストールおよびセットアップ手順 JP1/Cm2/NC のセットアップで使用するコマンドおよび定義ファイルの文法 他製品との連携に関する一連の情報 <p>(トラブルシューティングおよびメッセージを除く)</p>	<ul style="list-style-type: none"> JP1/Cm2/NC で使用するファイルおよびディレクトリ一覧 JP1/Cm2/NC の JP1 イベント JP1/Cm2/NC が使用するポート番号一覧 制限値一覧 コマンド一覧および文法記載先マニュアル クラスタシステムでの運用 各バージョンの変更内容 このマニュアルの参考情報 用語解説
JP1/Cm2/Network Element Configuration 運用・操作ガイド	<ul style="list-style-type: none"> JP1/Cm2/NC の起動および終了手順 JP1/Cm2/NC の操作手順 JP1/Cm2/NC の GUI 画面説明 JP1/Cm2/NC の運用中に使用するコマンドの文法 <p>(トラブルシューティングおよびメッセージを除く)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 制限値一覧 JP1/Cm2/NC - Adaptor が発行するコマンド一覧 DB 更新時に [Network Element Configuration - View] ウィンドウが取得する情報 コマンド一覧および文法記載先マニュアル 各バージョンの変更内容
JP1/Cm2/Network Element Configuration CLI 運用ガイド	<p>CLI を使用した JP1/Cm2/NC の運用に関する一連の情報</p> <p>(トラブルシューティングおよびメッセージを除く)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 制限値一覧 コマンド一覧および文法記載先マニュアル 各バージョンの変更内容
JP1/Cm2/Network Element Configuration トラブルシューティング	<ul style="list-style-type: none"> トラブルシューティング トラブルシューティングで使用するコマンドの文法 メッセージ 	<ul style="list-style-type: none"> JP1/Cm2/NC で使用するファイルおよびディレクトリ一覧 JP1/Cm2/NC が使用するポート番号一覧 コマンド一覧および文法記載先マニュアル 各バージョンの変更内容

付録 H.4 このマニュアルでの表記

このマニュアルでは、製品名を次のように表記しています。

このマニュアルでの表記	製品名
AX2400S	Alaxala コンパクト・ギガビットレイヤ 2 スイッチ AX2400S シリーズ
AX3600S	Alaxala コンパクト・ギガビットレイヤ 3 スイッチ AX3600S シリーズ

このマニュアルでの表記			製品名
AX5400S			AlaxalA ミッドレンジスイッチ AX5400S シリーズ
AX7800S			AlaxalA マルチレイヤスイッチ AX7800S シリーズ
BIG-IP			BIG-IP(R) Local Traffic Manager
BS1000			BladeSymphony (BS1000) ス イッチモジュール
BS2000			BladeSymphony (BS2000) ス イッチモジュール
BS320			BladeSymphony (BS320) スイッ チモジュール
BS500			BladeSymphony (BS500) スイッ チモジュール
BS500 1Gbx40			BladeSymphony (BS500 1Gbx40) スイッチモジュール
Cisco Catalyst			Cisco Catalyst(R) シリーズ
GS3000			日立ギガビットスイッチ GS3000
GS4000			日立ギガビットスイッチ GS4000
HA8000-ie/Loadflowbal			日立 HA8000-ie/Loadflowbal シ リーズ
HNTRLib2			Hitachi Network Objectplaza Trace Library 2
JP1/AJS3			JP1/Automatic Job Management System 3
JP1/Cm2/NC	JP1/Cm2/NC - Adaptor	JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series	JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for AX Series
		JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series	JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for BS Series
		JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch	JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for Cisco Switch
		JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer	JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for F5 Load Balancer
		JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series	JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for GS Series
		JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/ Loadflowbal	JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal

このマニュアルでの表記			製品名
		JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager	JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for System Traffic Manager
	JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS1000		JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for BS1000
	JP1/Cm2/NC - Manager		JP1/Cm2/Network Element Configuration - Manager
	JP1/Cm2/NC - View		JP1/Cm2/Network Element Configuration - View
JP1/IM	JP1/IM - CC		JP1/Integrated Manager - Central Console
	JP1/IM - CM	JP1/Integrated Management - Central Information Master	
		JP1/Integrated Manager - Central Information Master	
	JP1/IM - Manager		JP1/Integrated Management - Manager
	JP1/IM - View	JP1/Integrated Management - View	
		JP1/Integrated Manager - View	
JP1/SC			JP1/ServerConductor
STM			NITGen Technologies, Inc. の Enpia S series(TM) System Traffic Manager

注 JP1 Version 7i の製品です。

付録 H.5 英略語

このマニュアルで使用する英略語を次に示します。

英略語	英字での表記
CD-ROM	Compact Disk Read Only Memory
CLI	Command Line Interface
CP	multi layer Control Processor
DB	Data Base
DISL	Dynamic Inter-Switch Link
DTP	Dynamic Trunking Protocol
GUI	Graphical User Interface

英略語	英字での表記
http	HyperText Transfer Protocol
https	HTTP over SSL/TLS
ICMP	Internet Control Message Protocol
IGMP	Internet Group Management Protocol
IP	Internet Protocol
IPv4	Internet Protocol Version 4
IPv6	Internet Protocol Version 6
ISAM	Indexed Sequential Access Method
ISL	Inter-Switch Link
JavaVM	Java TM Virtual Machine
LAN	Local Area Network
MAC	Media Access Control
NIF	Network Interface board
OS	Operating System
QoS	Quality of Service
P/S	Primary/Secondary
POP	Post Office Protocol
SAID	Security Association Identifier
SCM	Service Control Manager
SLB	Server Load Balancing
SNTP	Simple Network Time Protocol
SVI	Switched Virtual Interface
SVP	Service Processor
TCP	Transmission Control Protocol
TPID	Tag Protocol Identifier
UDP	User Datagram Protocol
VIP	Virtual Internet Protocol
VLAN	Virtual Local Area Network
VTP	VLAN Trunking Protocol

付録 H.6 KB（キロバイト）などの単位表記について

1KB（キロバイト）、1MB（メガバイト）、1GB（ギガバイト）、1TB（テラバイト）はそれぞれ 1,024 バイト、1,024² バイト、1,024³ バイト、1,024⁴ バイトです。

付録 I 用語解説

(英字)

AX2400S

Alaxala 社のスイッチです。JP1/Cm2/NC では、AX2400S を使用した VLAN の設定および一元管理をサポートしています。アダプターサーバには、JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series をインストールします。

AX3600S

Alaxala 社のスイッチです。JP1/Cm2/NC では、AX3600S を使用した VLAN の設定および一元管理をサポートしています。アダプターサーバには、JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series をインストールします。

AX5400S

Alaxala 社のスイッチです。JP1/Cm2/NC では、AX5400S を使用した VLAN の設定および一元管理をサポートしています。アダプターサーバには、JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series をインストールします。

AX7800S

Alaxala 社のスイッチです。JP1/Cm2/NC では、AX7800S を使用した VLAN の設定および一元管理をサポートしています。アダプターサーバには、JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series をインストールします。

BIG-IP

F5 社のスイッチです。JP1/Cm2/NC では、BIG-IP を使用した SLB の設定および一元管理をサポートしています。アダプターサーバには、JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer をインストールします。

BladeSymphony

ブレード仕様のサーバ部とストレージ部、ネットワーク部、オペレーティングシステム (OS)、システム管理ソフトウェアから成る IT プラットフォームです。BladeSymphony をシームレスに統合管理するソフトウェア群として「BladeSymphony Manage Suite」があります。JP1/Cm2/NC は、「BladeSymphony Manage Suite」の一製品として、VLAN を管理します。

BS1000

JP1/Cm2/NC では、BladeSymphony の BS1000 のスイッチモジュール部分を指して「BS1000」と呼んでいます。JP1/Cm2/NC では、BladeSymphony をシームレスに統合管理するソフトウェア群「BladeSymphony Manage Suite」の一製品として、BS1000 を使用した VLAN の設定および一元管理をサポートしています。アダプターサーバには、JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series をインストールします。

BS2000

JP1/Cm2/NC では、BladeSymphony の BS2000 のスイッチモジュール部分を指して「BS2000」と呼んでいます。JP1/Cm2/NC では、BladeSymphony をシームレスに統合管理するソフトウェア群

「BladeSymphony Manage Suite」の一製品として、BS2000 を使用した VLAN の設定および一元管理をサポートしています。アダプターサーバには、JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series をインストールします。

BS320

JP1/Cm2/NC では、BladeSymphony の BS320 のスイッチモジュール部分を指して「BS320」と呼んでいます。JP1/Cm2/NC では、BladeSymphony をシームレスに統合管理するソフトウェア群「BladeSymphony Manage Suite」の一製品として、BS320 を使用した VLAN の設定および一元管理をサポートしています。アダプターサーバには、JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series をインストールします。

BS500

JP1/Cm2/NC では、BladeSymphony の BS500 のスイッチモジュール部分を指して「BS500」と呼んでいます。JP1/Cm2/NC では、BladeSymphony をシームレスに統合管理するソフトウェア群「BladeSymphony Manage Suite」の一製品として、BS500 を使用した VLAN の設定および一元管理をサポートしています。アダプターサーバには、JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series をインストールします。

BS500 1Gbx40

JP1/Cm2/NC では、BladeSymphony の BS500 1Gbx40 のスイッチモジュール部分を指して「BS500 1Gbx40」と呼んでいます。JP1/Cm2/NC では、BladeSymphony をシームレスに統合管理するソフトウェア群「BladeSymphony Manage Suite」の一製品として、BS500 1Gbx40 を使用した VLAN の設定および一元管理をサポートしています。アダプターサーバには、JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series をインストールします。

Cisco Catalyst

Cisco 社のスイッチです。JP1/Cm2/NC では、Cisco Catalyst を使用した VLAN の設定および一元管理をサポートしています。アダプターサーバには、JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch をインストールします。

CLI

Command Line Interface のことです。コマンドラインから、管理対象スイッチの設定を実行できます。

GS3000

日立のスイッチです。JP1/Cm2/NC では、GS3000 を使用した VLAN の設定および一元管理をサポートしています。アダプターサーバには、JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series をインストールします。

GS4000

日立のスイッチです。JP1/Cm2/NC では、GS4000 を使用した VLAN の設定および一元管理をサポートしています。アダプターサーバには、JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series をインストールします。

HA8000-ie/Loadflowbal

日立のスイッチです。JP1/Cm2/NC では、HA8000-ie/Loadflowbal を使用した SLB の設定および一元管理をサポートしています。アダプターサーバには、JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/

Loadflowbal をインストールします。

JP1/AJS3

業務を自動的に運用するためのソフトウェアです。処理を順序づけて定期的に行ったり、特定の事象が発生したときに処理を開始したりできます。

JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series

Alaxala 社のスイッチの AX2400S, AX3600S, AX5400S, および AX7800S に対応した JP1/Cm2/NC - Adaptor です。

スイッチに構成情報を設定したり、スイッチから構成情報を取得して JP1/Cm2/NC - Manager に渡したりします。

JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series

BS1000, BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 に対応した JP1/Cm2/NC - Adaptor です。

スイッチに構成情報を設定したり、スイッチから構成情報を取得して JP1/Cm2/NC - Manager に渡したりします。

JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch

Cisco 社のスイッチの Cisco Catalyst に対応した JP1/Cm2/NC - Adaptor です。

スイッチに構成情報を設定したり、スイッチから構成情報を取得して JP1/Cm2/NC - Manager に渡したりします。

JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer

F5 社のスイッチの BIG-IP に対応した JP1/Cm2/NC - Adaptor です。

スイッチに構成情報を設定したり、スイッチから構成情報を取得して JP1/Cm2/NC - Manager に渡したりします。

JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series

GS3000 および GS4000 に対応した JP1/Cm2/NC - Adaptor です。

スイッチに構成情報を設定したり、スイッチから構成情報を取得して JP1/Cm2/NC - Manager に渡したりします。

JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal

HA8000-ie/Loadflowbal に対応した JP1/Cm2/NC - Adaptor です。

スイッチに構成情報を設定したり、スイッチから構成情報を取得して JP1/Cm2/NC - Manager に渡したりします。

JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager

NITGen 社のスイッチの STM に対応した JP1/Cm2/NC - Adaptor です。

スイッチに構成情報を設定したり、スイッチから構成情報を取得して JP1/Cm2/NC - Manager に渡したりします。

JP1/Cm2/NC - Manager

JP1/Cm2/NC のマネージャプログラムです。JP1/Cm2/NC - Manager をインストールしたマシンに DB を構築し、JP1/Cm2/NC - Adaptor がスイッチから取得した構成情報を格納します。また、ネットワーク構成を設定したり、表示したりします。なお、DB には ISAM を使用しています。

ISAM とはデータに索引（キー）を付けて管理する方法です。

JP1/Cm2/NC・Manager には、複数の JP1/Cm2/NC・Adaptor または JP1/Cm2/NC・View を接続できます。複数の JP1/Cm2/NC・View から同時に接続できます。

JP1/Cm2/NC - View

JP1/Cm2/NC の GUI を提供するプログラムです。JP1/Cm2/NC・Manager に接続して、VLAN の構成情報を設定したり、VLAN の構成状況を表示したりします。

JP1/Cm2/NC・View は複数の JP1/Cm2/NC・Manager に接続できます。ただし、複数の JP1/Cm2/NC・Manager に同時に接続することはできません。

JP1/SC

ネットワーク上のシステムの資産管理、運用管理、障害管理などのシステム管理作業の効率化および自動化を実現するためのソフトウェアです。システム管理に掛かるコストや負荷を軽減しながら、安定したシステム管理ができます。

QoS 制御

特定のポートから受信されるデータについて、データの種類によって優先度をあらかじめ指定しておき、優先度に応じてデータを受信する機能です。音声、映像など、受信の遅れが通信品質に影響を及ぼしやすいデータの優先度を高く設定しておくと、トラフィックが集中したときでもデータの通信品質を確保できます。

SLB

サーバロードバランシングのことをいいます。複数のサーバにリクエストを分散することで、ネットワークの安定性や速度を改善する技術です。SLB を使用すると次のようなメリットがあります。

- ・サーバリクエストを複数に分散させることによって、サーバの負荷を軽減できる。
- ・トラフィックの集中を避けた、応答速度の速いネットワーク環境を構築できる。
- ・サーバに障害が起きても、ほかのサーバにリクエストを転送することでネットワークをダウンさせずに済む。

STM

NITGen 社のスイッチです。JP1/Cm2/NC では、STM を使用した SLB の設定および一元管理をサポートしています。アダプターサーバには、JP1/Cm2/NC・Adaptor for System Traffic Manager をインストールします。

VLAN

LAN 環境で、物理的な接続形態とは別に、端末の仮想的なグループを設定する技術です。ネットワーク機器（スイッチ）の機能を利用し、端末の持つ MAC アドレスや IP アドレス、利用するプロトコルなどに応じてグループ化します。

VLAN を利用してネットワークを構成すると、次のようなメリットがあります。

- ・端末の物理的な位置に関係なくネットワーク構成を変更できる。
- ・端末を移動しても、移動した端末の設定を変更する必要がない。
- ・ブロードキャスト・ドメイン（ブロードキャストパケットが中継される範囲）を制限できるため、トラフィックの分散やセキュリティの強化を図れる。

VLAN-Tag

IEEE 802.1Q 規定によるイーサネットフレーム中に挿入された Tag という識別子です。この識別子を使用して、一つのポートに複数の VLAN を構築できます。

VLAN 管理ドメイン

複数の VLAN をまとめて管理する単位で、同じ VLAN-ID を共有し、相互接続された一つ、または複数のスイッチで構成されるレイヤー 2 ネットワーク（ブロードキャストパケットが中継される範囲）です。JP1/Cm2/NC では、この単位を「VLAN 管理ドメイン」と呼びます。一つのスイッチが所属できる VLAN 管理ドメインは一つだけです。VLAN 管理ドメインが異なると、同じ VLAN-ID を持つ VLAN でも別々の VLAN として認識されます。

JP1/Cm2/NC では、1 台の JP1/Cm2/NC・Manager で複数の VLAN 管理ドメインを管理できます。

VTP

VLAN Trunking Protocol の略です。Cisco 社スイッチで独自に使用されるプロトコルです。Cisco 社スイッチを複数使用して VLAN を設定しているときに、一つのスイッチに対して VLAN の追加、変更、および削除を行うと、ほかのスイッチに対してもその設定情報を伝達および反映します。VTP にはモードが 3 種類あり、それぞれ役割が異なります。

- サーバ
自スイッチへ直接 VLAN を設定し、設定した情報をほかのスイッチへ伝達します。
- クライアント
サーバモードのスイッチから設定情報を受け取り、自スイッチへ反映させます。また、受け取った設定情報をほかのスイッチへ転送します。
- トランスペアレント
自スイッチへ直接 VLAN を設定しますが、設定した情報をほかのスイッチへは伝達しません。ただし、ほかのスイッチから設定情報を受け取り、ほかのスイッチへ転送します。受け取った設定情報は、自スイッチへ反映しません。

（ア行）

アクセス制御

特定のポートから受信されるデータについて、転送および破棄をあらかじめ指定しておき、データの通過を制御する機能です。外部からの不正なデータの進入を防いだり、不正なあて先へのデータ流出を防いだりできます。

アダプターサーバ

JP1/Cm2/NC・Adaptor をインストールしたマシンのことです。マネージャーサーバからの命令によって、スイッチに構成情報を設定したり、スイッチから収集した構成情報をマネージャーサーバに渡したりします。

アップリンクフェイルオーバー

サーバブレードのチーミング機能と併用して、LAN スイッチや外部ネットワーク機器に障害が発生した場合に、通信経路を切り替える機能です。

（カ行）

管理端末

JP1/Cm2/NC・View をインストールしたマシンです。マネージャーサーバにアクセスして VLAN の構成情報を設定したり、DB に格納されている構成情報を表示したりします。

クラスタシステム

クラスタシステムとは、複数のサーバシステムを連携して一つのシステムとして運用するシステムで、障害が発生しても業務を継続できるようにすることを目的としています。この処理を引き継ぐことをフェールオーバーといいます。業務を実行中のサーバ（実行系）で障害が発生すると、待機していた別のサーバ（待機系）が業務の処理を引き継ぎます。実行「系」から待機「系」へ業務を切り替えるため、「系切り替えシステム」とも呼びます。

グループ

STM で SLB を設定するとき使用する概念です。ゾーンに物理サーバをバインドするとき、物理サーバをカテゴリ化するために使用します。

系切り替えシステム

クラスタシステムを参照してください。

（サ行）

サーバ負荷分散

複数のサーバにリクエストを分散することで、ネットワークの安定性や速度を改善する技術です。サーバロードバランシングともいいます。このマニュアルではサーバ負荷分散のことを「SLB」と記述しています。サーバ負荷分散については SLB を参照してください。

サーバロードバランシング

複数のサーバにリクエストを分散することで、ネットワークの安定性や速度を改善する技術です。サーバ負荷分散ともいいます。このマニュアルではサーバロードバランシングのことを「SLB」と記述しています。サーバロードバランシングについては SLB を参照してください。

ゾーン

STM で SLB を設定するとき使用する概念です。グループおよび物理サーバを任意の階層でバインドし、管理します。

（タ行）

デフォルト VLAN

スイッチにデフォルトで設定されている VLAN のことです。通常 VLAN-ID = 1 の VLAN が該当します。

デフォルトドメイン

JP1/Cm2/NC が管理するスイッチが所属する VLAN 管理ドメインのうち、JP1/Cm2/NC がデフォルトで用意している VLAN 管理ドメインです。VLAN 管理ドメインが一つしかない場合は、デフォルトドメインを使用することを推奨します。デフォルトドメイン名は変更できません。

トランクリンク

一つのポートで複数の VLAN に流れるフレームを転送できるポートをいいます。トランクリンク上を流れるフレームには、どの VLAN の情報が識別するための識別情報（VLAN-Tag）を付加します。識別情報をフレームに付加することで、データを正しい目的地に転送できます。

(ナ行)

ネットワーク構成ツリー

表示するビューごとに、JP1/Cm2/NC で管理している VLAN、および SLB のネットワーク構成や状態を階層構造で表示したものです。例えば、VLAN ビューでは、ネットワーク構成ツリーを参照すると次のような情報がわかります。

- どのような VLAN 管理ドメインがあるのか。
- その VLAN 管理ドメインには、どのような VLAN が何個所属しているのか。
- それらの VLAN をどのスイッチで構成しているのか。

ネットワーク構成ツリーは、ネットワーク構成要素から構成されています。

ネットワーク構成要素

ネットワーク構成ツリーを構成している各要素のことです。各ビューで表示されるネットワーク構成の内容を、アイコンで視覚的に表現したものです。

(八行)

プール

BIG-IP で SLB を設定するときに使用する概念です。一つまたは複数の物理サーバおよび物理サーバポートをグループ化します。

(マ行)

マネージャーサーバ

JP1/Cm2/NC - Manager をインストールしたマシンのことです。JP1/Cm2/NC - Manager は ISAM を利用した DB を構築し、アダプターサーバがスイッチから取得した構成情報を格納します。また、管理端末からの要求によって、ネットワーク構成情報を設定したり、表示したりします。

(ラ行)

ロードバランシング方法

SLB で、サーバにリクエストを分散する方法のことです。

索引

A

[Adaptor List] セクション 135

[Adaptor] セクション

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
AX Series 用) 140

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
BS Series 用) 143

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
Cisco Switch 用) 148

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
F5 Load Balancer 用) 151

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
GS Series 用) 153

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
HA8000-ie/Loadflowbal 用) 157

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
System Traffic Manager 用) 159

adpt_name

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
AX Series 用) 140

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
BS Series 用) 143

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
Cisco Switch 用) 148

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
F5 Load Balancer 用) 151

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
GS Series 用) 153

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
HA8000-ie/Loadflowbal 用) 157

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
System Traffic Manager 用) 159

ncmadpt.conf 135

AX2400S (用語解説) 204

AX2400S および AX3600S

VLAN 構成情報 31

VLAN 定義情報 30

アクセス制御情報 42

アクセス制御リスト情報 41

スイッチ構成情報 (VLAN 情報) 31

スイッチ構成情報 (アクセス制御情
報) 42

[AX2400S] セクション 142

AX3600S (用語解説) 204

[AX3600S] セクション 142

AX5400S (用語解説) 204

AX5400S および AX7800S

VLAN 構成情報 33

VLAN 定義情報 32

スイッチ構成情報 33

[AX5400S] セクション 142

AX7800S (用語解説) 204

[AX7800S] セクション 142

B

BIG-IP

バインド構成情報 37

物理サーバ構成情報 37

論理サーバ構成情報 36

BIG-IP (用語解説) 204

[BIG-IP1500] セクション 153

[BIG-IP6400] セクション 152

BladeSymphony (用語解説) 204

BS1000

QoS 制御情報 43

VLAN 構成情報 34

VLAN 定義情報 34

アクセス制御情報 43

スイッチ構成情報 43

BS1000 (用語解説) 204

[BS1000-GS0] セクション 145

[BS1000-GS1] セクション 146

BS2000 (用語解説) 204

BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40

VLAN 構成情報 31

VLAN 定義情報 30

アクセス制御情報 42

アクセス制御リスト情報 41

スイッチ構成情報 (VLAN 情報) 31

スイッチ構成情報（アクセス制御情報） 42
 スイッチ構成情報（アップリンクフェイルオーバー情報） 44

[BS2000] セクション 146

BS320（用語解説） 205

[BS320] セクション 146

BS500（用語解説） 205

[BS500-1Gbx40] セクション 146

BS500 1Gbx40（用語解説） 205

[BS500] セクション 146

C

[Catalyst3550] セクション 150

[Catalyst3750] セクション 149

Cisco Catalyst

VLAN 構成情報 35

VLAN 定義情報 35

スイッチ構成情報 35

Cisco Catalyst（用語解説） 205

CLI

環境設定をする 184

実行する 184

CLI（用語解説） 205

D

DB

掛けられたロックを強制的に解除する 182

旧バージョン形式から新バージョン形式に変換する 89

作成する 182

[Default Domain] セクション 136

[Dest Manager] セクション

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series 用) 140

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series 用) 143

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch 用) 148

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer 用) 151

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series 用) 154

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal 用) 157

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager 用) 159
 ncvddest.conf 138

domain_name

ncaswitch.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series 用) 142

ncaswitch.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series 用) 146

ncaswitch.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch 用) 149

ncaswitch.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series 用) 155

ncm.conf 136

E

elbcli_ser のポート番号 160

G

GS3000（用語解説） 205

GS3000 および GS4000

VLAN 構成情報 33

VLAN 定義情報 32

スイッチ構成情報 33

[GS3000] セクション 155

GS4000（用語解説） 205

[GS4000] セクション 156

H

HA8000-ie/Loadflowbal

スイッチ構成情報 37

バインド構成情報 39

物理サーバ構成情報 38

論理サーバ構成情報 38

HA8000-ie/Loadflowbal（用語解説） 205

hntr2util 91

https サーバのポート番号 152

I

- IP アドレスの設定 69
- ISAM 関連ファイル一覧 174
- ISAM キー定義情報を表示する 183
- ISAM ファイル (索引順編成ファイル) を検証する 183
- ISAM ファイルの無効領域を圧縮する 183
- ISAM ロックテーブルの情報を表示する 183

J

- [JavaVM Option] セクション 139
- JavaVM のオプション 139
- JP1/AJS3 206
- JP1/Cm2/NC 1
 - インストールとセットアップ 63
 - 運用の流れ 24
 - 管理対象スイッチおよびサポート機能 6
 - 機能 29
 - 基本構成 15
 - システム構成例 18
 - 設定または表示できる管理対象スイッチの情報 7
 - 動作するホストのホスト名または IP アドレスの変更について 83
 - 特長 3
 - バージョンの異なるプログラム間の互換性 15
 - プログラム構成 14
 - 連携機能 5
- JP1/Cm2/NC - Adaptor 14
 - 管理するスイッチの情報の定義 74
 - セットアップ 74
 - 動作条件の定義 74
 - パスワードの登録 (スイッチへのアクセス用) 75
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series
 - スイッチ定義ファイル 141
 - 定義ファイル一覧 132
 - 動作条件定義ファイル 139
 - フォルダー一覧 171
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series (用語解説) 206
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series
 - スイッチ定義ファイル 144
 - 定義ファイル一覧 132
 - 動作条件定義ファイル 142
 - フォルダー一覧 172
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series (用語解説) 206
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch
 - スイッチ定義ファイル 148
 - 定義ファイル一覧 133
 - 動作条件定義ファイル 147
 - フォルダー一覧 172
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch (用語解説) 206
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer
 - スイッチ定義ファイル 151
 - 定義ファイル一覧 133
 - 動作条件定義ファイル 150
 - フォルダー一覧 172
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer (用語解説) 206
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series
 - スイッチ定義ファイル 154
 - 定義ファイル一覧 133
 - 動作条件定義ファイル 153
 - フォルダー一覧 173
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series (用語解説) 206
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal
 - スイッチ定義ファイル 157
 - 定義ファイル一覧 134
 - 動作条件定義ファイル 156
 - フォルダー一覧 173
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal (用語解説) 206
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager
 - スイッチ定義ファイル 160
 - 定義ファイル一覧 134

動作条件定義ファイル 158
 フォルダ一覧 173
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic
 Manager (用語解説) 206
 JP1/Cm2/NC - Manager 14
 接続アダプター定義ファイル 135
 接続先アダプターサーバの定義 72
 セットアップ 72
 定義ファイル一覧 132
 動作条件定義ファイル 135
 動作条件の定義 72
 フォルダ一覧 170
 ユーザーの登録 (マネージャーサーバ
 へのログイン用) 72
 JP1/Cm2/NC - Manager (用語解説) 206
 JP1/Cm2/NC - View 14
 接続先定義ファイル 137
 接続先マネージャーサーバの定義 73
 セットアップ 73
 定義ファイル一覧 132
 動作条件定義ファイル 138
 動作条件の定義 73
 フォルダ一覧 171
 JP1/Cm2/NC - View (用語解説) 207
 JP1/Cm2/NC が管理する項目の制限値や推
 奨値 83
 JP1/Cm2/NC が管理するスイッチのホスト
 名または IP アドレスを指定
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series
 142
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco
 Switch 150
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load
 Balancer 152
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series
 155
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-
 ie/Loadflowbal 158
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for System
 Traffic Manager 161
 JP1/Cm2/NC が管理するスイッチのホスト
 名を指定

JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series
 146
 JP1/IM と連携するための定義ファイルのイ
 ンストール 167
 JP1/IM 連携オプション 164
 システム構成例 166
 セットアップ 166
 JP1/SC 207
 jplevt_flag 137
 JP1 イベントの定義 166

L

[Loadflowbal] セクション 158

M

[Manager] セクション 136
 mgr_host
 nca.conf (JP1/Cm2/NC - Adaptor for
 AX Series 用) 140
 nca.conf (JP1/Cm2/NC - Adaptor for
 BS Series 用) 143
 nca.conf (JP1/Cm2/NC - Adaptor for
 Cisco Switch 用) 148
 nca.conf (JP1/Cm2/NC - Adaptor for
 F5 Load Balancer 用) 151
 nca.conf (JP1/Cm2/NC - Adaptor for
 GS Series 用) 154
 nca.conf (JP1/Cm2/NC - Adaptor for
 HA8000-ie/Loadflowbal 用) 157
 nca.conf (JP1/Cm2/NC - Adaptor for
 System Traffic Manager 用) 159
 nevdest.conf 138
 mgr_port
 nca.conf (JP1/Cm2/NC - Adaptor for
 AX Series 用) 140
 nca.conf (JP1/Cm2/NC - Adaptor for
 BS Series 用) 144
 nca.conf (JP1/Cm2/NC - Adaptor for
 Cisco Switch 用) 148
 nca.conf (JP1/Cm2/NC - Adaptor for
 F5 Load Balancer 用) 151

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
GS Series 用) 154
nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
HA8000-ie/Loadflowbal 用) 157
nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
System Traffic Manager 用) 160
ncm.conf 136
ncvdest.conf 138

N

nca.conf

JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series
用 139
JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series
用 142
JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco
Switch 用 147
JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load
Balancer 用 150
JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series
用 153
JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-
ie/Loadflowbal 用 156
JP1/Cm2/NC - Adaptor for System
Traffic Manager 用 158

ncaxpwd 93

ncabipwd 98

ncabspwd 102

ncacspwd 107

ncagspwd 111

ncalfpwd 116

ncastpwd 121

ncaswitch.conf

JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series
用 141
JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series
用 144
JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco
Switch 用 148
JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load
Balancer 用 151
JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series
用 154

JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-
ie/Loadflowbal 用 157
JP1/Cm2/NC - Adaptor for System
Traffic Manager 用 160

ncm.conf 135

ncmadpt.conf 135

ncmconvertdb 125

ncmuser 128

ncv.conf 138

ncvdest.conf 137

登録できる接続先マネージャーサーバ
の数 138

[Network Element Configuration - View]

ウィンドウ

表示できるビューと設定用途 61

表示できるビューと表示用途 56

[Notify Event] セクション 137

O

option_string 139

P

printlog_flag

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
AX Series 用) 140

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
BS Series 用) 144

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
Cisco Switch 用) 148

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
F5 Load Balancer 用) 151

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
GS Series 用) 154

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
HA8000-ie/Loadflowbal 用) 157

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
System Traffic Manager 用) 160

ncm.conf 137

ncv.conf 139

process_stop

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
AX Series 用) 140

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
BS Series 用) 143
nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
Cisco Switch 用) 148
nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
F5 Load Balancer 用) 151
nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
GS Series 用) 154
nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
HA8000-ie/Loadflowbal 用) 157
nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
System Traffic Manager 用) 159

Q

QoS 制御 (用語解説) 207
QoS 制御情報 43

R

retry_count

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
AX Series 用) 140
nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
BS Series 用) 144
nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
Cisco Switch 用) 148
nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
F5 Load Balancer 用) 151
nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
GS Series 用) 154
nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
HA8000-ie/Loadflowbal 用) 157
nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
System Traffic Manager 用) 160

retry_interval

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
AX Series 用) 140
nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
BS Series 用) 144
nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
Cisco Switch 用) 148
nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
F5 Load Balancer 用) 151

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
GS Series 用) 154
nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
HA8000-ie/Loadflowbal 用) 157
nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
System Traffic Manager 用) 160

S

SLB (用語解説) 207

SLB 情報

BIG-IP 36
HA8000-ie/Loadflowbal 37
STM 39

SLB ビュー 58

STM

会社情報 39
グループ構成情報 40
ゾーン構成情報 39
バインド構成情報 41
物理サーバ構成情報 40

STM (用語解説) 207

[STM] セクション 161

switch_name

ncaswitch.conf(JP1/Cm2/NC -
Adaptor for AX Series 用) 142
ncaswitch.conf(JP1/Cm2/NC -
Adaptor for BS Series 用) 146
ncaswitch.conf(JP1/Cm2/NC -
Adaptor for Cisco Switch 用) 150
ncaswitch.conf(JP1/Cm2/NC -
Adaptor for F5 Load Balancer 用)
152
ncaswitch.conf(JP1/Cm2/NC -
Adaptor for GS Series 用) 155
ncaswitch.conf(JP1/Cm2/NC -
Adaptor for HA8000-ie/
Loadflowbal 用) 158
ncaswitch.conf(JP1/Cm2/NC -
Adaptor for System Traffic
Manager 用) 161

[System Log] セクション

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
AX Series 用) 140

nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
BS Series 用) 144
nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
Cisco Switch 用) 148
nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
F5 Load Balancer 用) 151
nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
GS Series 用) 154
nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
HA8000-ie/Loadflowbal 用) 157
nca.conf(JP1/Cm2/NC - Adaptor for
System Traffic Manager 用) 160
ncm.conf 137
ncv.conf 139

T

telnet_id

ncaswitch.conf (JP1/Cm2/NC -
Adaptor for AX Series 用) 142
ncaswitch.conf (JP1/Cm2/NC -
Adaptor for BS Series 用) 146
ncaswitch.conf (JP1/Cm2/NC -
Adaptor for Cisco Switch 用) 150
ncaswitch.conf (JP1/Cm2/NC -
Adaptor for F5 Load Balancer 用)
152
ncaswitch.conf (JP1/Cm2/NC -
Adaptor for GS Series 用) 155
ncaswitch.conf (JP1/Cm2/NC -
Adaptor for HA8000-ie/
Loadflowbal 用) 158
ncaswitch.conf (JP1/Cm2/NC -
Adaptor for System Traffic
Manager 用) 161

telnet_port

ncaswitch.conf (JP1/Cm2/NC -
Adaptor for AX Series 用) 142
ncaswitch.conf (JP1/Cm2/NC -
Adaptor for BS Series 用) 146
ncaswitch.conf (JP1/Cm2/NC -
Adaptor for Cisco Switch 用) 150

ncaswitch.conf (JP1/Cm2/NC -
Adaptor for F5 Load Balancer 用)
152
ncaswitch.conf (JP1/Cm2/NC -
Adaptor for GS Series 用) 156
ncaswitch.conf (JP1/Cm2/NC -
Adaptor for HA8000-ie/
Loadflowbal 用) 158
ncaswitch.conf (JP1/Cm2/NC -
Adaptor for System Traffic
Manager 用) 161

telnet サーバのポート番号

JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series
141
JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series
144
JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco
Switch 149
JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series
154
JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-
ie/Loadflowbal 158

telnet でのログイン許可の設定 71

telnet のユーザー ID

JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series
141
JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series
144
JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco
Switch 149
JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series
154
JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-
ie/Loadflowbal 158

V

VLAN (用語解説) 207

VLAN-Tag (用語解説) 207

VLAN 管理ドメイン 18

VLAN 管理ドメイン (用語解説) 208

VLAN 管理ドメインの名称

JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series
141

JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series
144

JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco
Switch 148

JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series
154

VLAN 構成情報

AX2400S・AX3600S・BS2000・
BS320・BS500・BS500 1Gbx40
31

AX5400S・AX7800S・GS3000・
GS4000 33

BS1000 34

Cisco Catalyst 35

VLAN 情報

AX2400S・AX3600S・BS2000・
BS320・BS500・BS500 1Gbx40
30

AX5400S・AX7800S・GS3000・
GS4000 32

BS1000 33

Cisco Catalyst 34

VLAN 定義情報

AX2400S・AX3600S・BS2000・
BS320・BS500・BS500 1Gbx40
30

AX5400S・AX7800S・GS3000・
GS4000 32

BS1000 34

Cisco Catalyst 35

VLAN ビュー 58

VTP (用語解説) 208

あ

アクセス制御 (用語解説) 208

アクセス制御情報

AX2400S・AX3600S・BS2000・
BS320・BS500・BS500 1Gbx40
42

BS1000 43

アクセス制御リスト情報

AX2400S・AX3600S・BS2000・
BS320・BS500・BS500 1Gbx40
41

アクセス用パスワード

JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series
93

JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series
102

JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco
Switch 107

JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load
Balancer 98

JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series
111

JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-
ie/Loadflowbal 116

JP1/Cm2/NC - Adaptor for System
Traffic Manager 121

アダプターサーバ 15

アダプターサーバ (用語解説) 208

アダプターサーバの名称を指定 135

アダプターサーバを識別するための名称を指
定

JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series
140

JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series
143

JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco
Switch 148

JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load
Balancer 151

JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series
153

JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-
ie/Loadflowbal 157

JP1/Cm2/NC - Adaptor for System
Traffic Manager 159

アダプターサーバを定義 135

アップリンクフェイルオーバー (用語解説)
208

アンインストール 67

い

- インストール 67
- インストールとセットアップ
 - ～の流れ 64
 - JP1/Cm2/NC の～ 63
 - 作業項目とマニュアルの参照先 65

う

- 運用上の注意事項 82

か

- 管理対象スイッチ
 - ホスト名または IP アドレスの変更に
ついて 83
- 管理対象スイッチおよびサポート機能 6
- 管理対象ビュー 57
- 管理端末 15
- 管理端末（用語解説）208
- 管理用ネットワーク 82

き

- 機能
 - スイッチにネットワーク構成情報を設
定する 61
 - スイッチのネットワーク構成情報を表
示する 55

く

- クラスタシステム
 - ～で運用する場合の注意事項 189
 - ～での運用 186
 - インストールとセットアップ 187
 - 上書きインストール 188
 - クラスタへの設定 189
 - セットアップ 188
 - 対応するプログラム 186
 - 対象とする～ 186
- クラスタシステム（用語解説）209
- クラッシュダンプ 79
 - 出力設定 80
- グループ（用語解説）209

け

- 系切り替えシステム（用語解説）209

こ

- コマンド
 - hntr2util 91
 - ncaaxpwd 93
 - ncabipwd 98
 - ncabspwd 102
 - ncacspwd 107
 - ncagspwd 111
 - ncalfpwd 116
 - ncastpwd 121
 - ncmconvertdb 125
 - ncmuser 128
 - 一覧 89
 - 記述形式 86
 - 指定形式 86
 - 説明で使用する見出し 86
- コマンド使用時の注意事項 88

さ

- サーバ負荷分散（用語解説）209
- サーバロードバランシング（用語解説）209

し

- システム構成例
 - JP1/IM 連携オプション 166
 - SLB を管理する場合 23
 - VLAN を管理する場合 18
- システム時刻の統一について 82
- 障害発生時に資料を採取する 184
- 資料採取ツールのセットアップ 76
- 資料採取バッチファイル
 - 環境変数のデフォルト値 78
 - 設定 77
- シンタックス運用コマンドモードの設定 72

す

- スイッチが所属する VLAN 管理ドメインの
名称を指定

- JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series 142
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series 146
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch 149
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series 155
- スイッチ構成情報
 - AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 (VLAN 情報) 31
 - AX2400S・AX3600S・BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 (アクセス制御情報) 42
 - AX5400S・AX7800S・GS3000・GS4000 33
 - BS1000 43
 - BS2000・BS320・BS500・BS500 1Gbx40 (アップリンクフェイルオーバー情報) 44
 - Cisco Catalyst 35
 - HA8000-ie/Loadflowbal 37
- スイッチ構成ビュー 59
- スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に設定したスイッチを表示する
 - JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series 93
 - JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series 102
 - JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch 107
 - JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer 98
 - JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series 111
 - JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal 116
 - JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager 121
- スイッチでの設定 69
 - IP アドレスの設定 69
 - telnet でのログイン許可の設定 71
 - シンタックス運用コマンドモードの設定 72
 - 装置管理者のパスワードの設定 70
 - ユーザーの登録 (スイッチへのアクセス用) 70
 - リモートアクセスの許可 71
- スイッチ内に設定しているパスワード
 - JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series 93
 - JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series 102
 - JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch 107
 - JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer 98
 - JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series 111
 - JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal 116
 - JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager 121
- スイッチに同時にログインできるユーザー数 83
- スイッチの構成情報を定義・変更する 69
- スイッチの設定情報とネットワーク構成情報との対応 45
- スイッチのホスト名
 - JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series 144
- スイッチのホスト名または IP アドレス
 - JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series 141
 - JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch 148
 - JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer 151
 - JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series 154
 - JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal 157
 - JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager 160
- スイッチへのアクセス用パスワードを登録

JP1/Cm2/NC - Adaptor 90
 すべてのスイッチを一覧で表示する
 JP1/Cm2/NC - Adaptor 90

せ

制限値一覧 179
 接続先アダプターサーバの定義 72
 接続先マネージャーサーバの定義 73
 接続先マネージャーサーバのホスト名または
 IP アドレスを指定
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series
 140
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series
 143
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco
 Switch 148
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load
 Balancer 151
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series
 154
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-
 ie/Loadflowbal 157
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for System
 Traffic Manager 159
 JP1/Cm2/NC - View 138
 セットアップ
 JP1/Cm2/NC - Adaptor の ~ 74
 JP1/Cm2/NC - Manager の ~ 72
 JP1/Cm2/NC - View の ~ 73
 JP1/IM 連携オプション 166
 資料採取ツールの ~ 76
 スイッチでの設定 69

そ

装置管理者のパスワードの設定 70
 ゾーン (用語解説) 209

た

他製品との連携 163

ち

注意事項 82
 ncaswitch.conf (JP1/Cm2/NC -
 Adaptor for BS Series 用) 147
 システムの運用に関する ~ 82

て

定義ファイル
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series
 132
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series
 132
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco
 Switch 133
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load
 Balancer 133
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series
 133
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-
 ie/Loadflowbal 134
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for System
 Traffic Manager 134
 JP1/Cm2/NC - Manager 132
 JP1/Cm2/NC - View 132
 記述方法 134
 デフォルト VLAN (用語解説) 209
 デフォルトドメイン 18
 名称を指定 136
 デフォルトドメイン (用語解説) 209

と

統合トレースログファイル
 設定 76
 設定を変更する 90
 登録済みのすべてのログインユーザー ID の
 表示 128
 トランクリンク (用語解説) 209

ね

ネットワーク構成情報 30
 ネットワーク構成ツリー (用語解説) 210

ネットワーク構成要素 56
 ネットワーク構成要素（用語解説） 210

は

バインド構成情報
 BIG-IP 37
 HA8000-ie/Loadflowbal 39
 STM 41
 パスワード（JP1/Cm2/NC - Manager へのロ
 ゲイン用）の登録・変更 128
 パスワードに使用できる文字列 129
 バックアップ 81

ふ

ファイアウォールの通過方向 177
 ファイルおよびディレクトリー一覧 170
 プール（用語解説） 210
 フォルダ一覧
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series
 171
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series
 172
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco
 Switch 172
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load
 Balancer 172
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series
 173
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-
 ie/Loadflowbal 173
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for System
 Traffic Manager 173
 JP1/Cm2/NC - Manager 170
 JP1/Cm2/NC - View 171

物理サーバ構成情報
 BIG-IP 37
 HA8000-ie/Loadflowbal 38
 STM 40

プログラム間の互換性 15

ほ

ポート番号一覧 177

ポート番号を指定 136

ま

マネージャーサーバ 15
 マネージャーサーバ（用語解説） 210

め

メモリーダンプ 79
 出力設定 79

も

文字の制限 179
 文字列
 パスワードに使用できる～ 129
 ユーザー名に使用できる～ 129

ゆ

ユーザーの削除 128
 ユーザーの新規登録 128
 ユーザーの登録（スイッチへのアクセス用）
 70
 ユーザーの登録（マネージャーサーバへのロ
 ゲイン用）72
 ユーザー名称を表示 128
 ユーザー名に使用できる文字列 129

よ

用語解説 204

り

リカバリー 81
 リトライ回数
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series
 140
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series
 144
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco
 Switch 148
 JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load
 Balancer 151

JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series
154

JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-
ie/Loadflowbal 157

JP1/Cm2/NC - Adaptor for System
Traffic Manager 160

リトライ間隔

JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series
140

JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series
144

JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco
Switch 148

JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load
Balancer 151

JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series
154

JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-
ie/Loadflowbal 157

JP1/Cm2/NC - Adaptor for System
Traffic Manager 160

リモートアクセスの許可 71

れ

連携

JP1/IM 連携オプション 164

ろ

ロードバランシング方法（用語解説） 210

ログインユーザー ID

JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load
Balancer 151

JP1/Cm2/NC - Adaptor for System
Traffic Manager 160

ログインユーザーのパスワードを変更 128

ログインユーザー名 129

ログインを許可するユーザーを設定する 89

論理サーバ構成情報

BIG-IP 36

HA8000-ie/Loadflowbal 38